

第8回（令和5年度）市民満足度調査報告書

令和6年3月
清 須 市

目次

1 調査概要.....	1
(1)調査の背景と目的	1
(2)調査の実施概要	1
(3)調査項目	1
(4)調査結果報告書の見方	3
(5)発送・回収状況	4
2 調査結果	6
(1)回答者の属性	6
(2)市の施策に関する満足度・重要度	10
(3)市の施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等	26
(4)施策に関する満足度と重要度の相関	41
(5)満足度と重要度の増減率に関する相関	44
3 施策別調査結果の分析	46
1 治水対策の推進	47
2 防災・減災対策の推進.....	48
3 防犯・交通安全対策の推進	49
4 消防・救急医療体制の充実	50
5 母子保健の充実.....	51
6 子育て支援の充実	52
7 学校教育の充実.....	53
8 ひとり親家庭への支援の充実.....	54
9 青少年健全育成の推進.....	55
10 健康づくりの推進.....	56
11 地域福祉の充実.....	57
12 高齢者福祉の充実.....	58
13 障害者(児)福祉の充実.....	59
14 医療保険・年金制度の適正運営.....	60
15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施	61
16 市街地整備の推進.....	62
17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進	63
18 上水道の安定供給・下水道の充実	64
19 水辺空間と緑地の充実.....	65
20 公共交通の充実.....	66
21 ごみの減量化と資源化の推進.....	67
22 環境保全の推進.....	68
23 斎苑施設の整備・運営	69

24	観光の振興	70
25	商業・工業の振興	71
26	都市近郊農業の振興.....	72
27	消費生活の擁護	73
28	生涯学習の充実	74
29	文化・芸術活動の振興	75
30	文化財保護の推進	76
31	スポーツ・レクリエーション活動の振興.....	77
32	国際交流の振興	78
33	男女共同参画社会の推進.....	79
34	市民参加・市民協働の推進.....	80
35	広報・広聴活動の充実	81
36	自治・コミュニティ活動の振興	82
37	市民ニーズに応える行政運営の推進	83
4	参考資料	84
	(1)調査票	84

1 調査概要

(1)調査の背景と目的

本調査は、清須市が取り組む施策に対して、市民の皆様が現在どの程度満足と感じているか、そして今後どれくらい重要と感じているかを統計的に整理するとともに、施策に関連する市民の皆様の生活実感・行動実態・認知度等を把握し、今後のまちづくりに活かしていくことを目的に実施するものである。

(2)調査の実施概要

本調査は、以下の仕様・方法により実施した。

- ・ 調査地域 清須市全域
- ・ 調査対象 市内に居住する満 20 歳以上の個人（令和 5 年 10 月 1 日現在）
- ・ 発 送 数 3,000 人
- ・ 抽出方法 住民基本台帳による単純無作為抽出法
- ・ 調査方法 郵送及びWEB 調査（郵送配布・郵送回収またはWEB 回答）
- ・ 調査期間 令和 5 年 10 月 23 日から 11 月 22 日

(3)調査項目

本調査では、以下の項目に関して調査を行った。

①回答者の属性

性別、年齢、居住地域、職業、家族構成、居住年歴

②市の施策に関する満足度・重要度

「清須市第 2 次総合計画・後期基本計画」に位置付けている施策（37 項目。次ページ参照）に関する「現状の満足度」と「今後の重要度」を 5 段階で評価。

《現状の満足度》

満足／やや満足／どちらともいえない／やや不満／不満

《今後の重要度》

重要／やや重要／どちらともいえない／あまり重要ではない／重要ではない

③市の施策に関する市民の生活実感・行動実態・認知度等

「清須市第 2 次総合計画 後期基本計画」において、施策の達成度指標として設定している市民の生活実感・行動実態・認知度等を調査。

④少子化や若年者のニーズ

「清須市人口ビジョン」を改訂するにあたって、若年層の結婚や子どもを持つことへの考え、清須市の暮らしやすさ等に関する意識を調査。

■清須市第2次総合計画 後期基本計画の政策体系(37 項目)

政策1	安全で安心に暮らせるまちをつくる	
	1	治水対策の推進
	2	防災・減災対策の推進
	3	防犯・交通安全対策の推進
	4	消防・救急医療体制の充実
政策2	子育てのしやすいまちをつくる	
	5	母子保健の充実
	6	子育て支援の充実
	7	学校教育の充実
	8	ひとり親家庭への支援の充実
政策3	誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちをつくる	
	10	健康づくりの推進
	11	地域福祉の充実
	12	高齢者福祉の充実
	13	障害者(児)福祉の充実
	14	医療保険・年金制度の適正運営
	15	生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施
政策4	便利で快適に暮らせるまちをつくる	
	16	市街地整備の推進
	17	道路・橋梁の整備・適正管理の推進
	18	上水道の安定供給・下水道の充実
	19	水辺空間と緑地の充実
	20	公共交通の充実
	21	ごみの減量化と資源化の推進
	22	環境保全の推進
	23	斎苑施設の整備・運営
政策5	魅力に満ちた活力あるまちをつくる	
	24	観光の振興
	25	商業・工業の振興
	26	都市近郊農業の振興
政策6	豊かなところとからだをはぐむまちをつくる	
	28	生涯学習の充実
	29	文化・芸術活動の振興
	30	文化財保護の推進
	31	スポーツ・レクリエーション活動の振興
	32	国際交流の振興
	33	男女共同参画社会の推進
政策7	つながりを大切にすまちをつくる	
	34	市民参加・市民協働の推進
	35	広報・広聴活動の充実
	36	自治・コミュニティ活動の振興
	37	市民ニーズに応える行政運営の推進

■過去(第1～7回)の調査内容

過去の調査は以下のとおりである。

	調査実施時期	調査項目	調査対象(発送数)
第1回	平成 20 年 11 月	第1次総合計画〔前期基本計画〕における施策単位	4,000 人
第2回	平成 22 年6～7月		第1次総合計画〔後期基本計画〕における施策単位
第3回	平成 24 年6～7月		
第4回	平成 26 年7月		
第5回	平成 28 年7～8月	第2次総合計画〔前期基本計画〕における施策単位	3,000 人
第6回	平成 31 年2～3月		
第7回	令和3年 10～11 月		

- ・清須市第1次総合計画 (前期) 平成 19～23 年 (後期) 平成 24～28 年
- ・清須市第2次総合計画 (前期) 平成 29～令和元年 (後期) 令和 2～6 年

(4)調査結果報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果と経年比較の結果を記載している。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表す。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100.0%にならない場合がある。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示す。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載している。

●「無回答」について

図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。

(5) 発送・回収状況

アンケートの性別・年齢別発送・回収状況は以下のとおりである。全体の回収率は、第1回と比較し高くなっているものの、前回と比較するとやや低下している。

回収率は男性よりも女性の方が高く、これは過去の調査と同様である。また、年齢別にはおおむね年齢が低くなるにつれて回収率が低くなる傾向にあり、20歳代の回収率が最も低い。

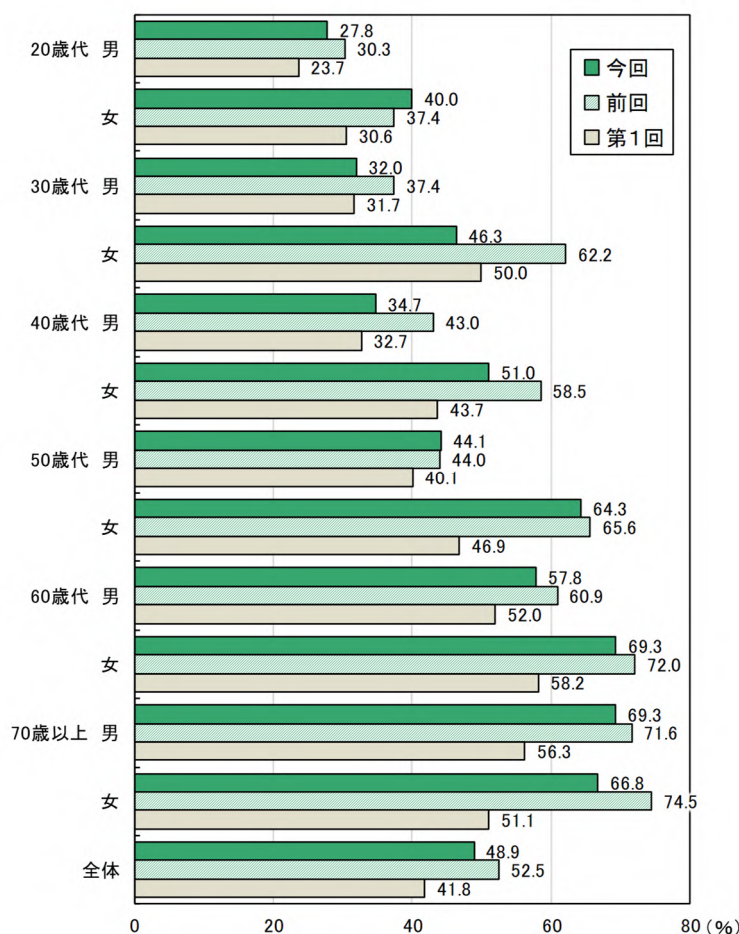
これも過去の調査と同様である。

また、前回と比較して、20歳代の女性、50歳代の男性を除いた各年代で、性別の回収率が低下している。

■性別・年齢別発送・回収状況

年代	性別	今回				前回				第1回			
		発送数	回収数	回収率	回収数の構成比	発送数	回収数	回収率	回収数の構成比	発送数	回収数	回収率	回収数の構成比
20歳代	男	327	91	27.8%	6.2%	333	101	30.3%	6.4%	465	110	23.7%	6.6%
	女	265	106	40.0%	7.2%	262	98	37.4%	6.2%	500	153	30.6%	9.2%
30歳代	男	325	104	32.0%	7.1%	334	125	37.4%	7.9%	357	113	31.7%	6.8%
	女	218	101	46.3%	6.9%	230	143	62.2%	9.1%	386	193	50.0%	11.5%
40歳代	男	311	108	34.7%	7.4%	323	139	43.0%	8.8%	257	84	32.7%	5.0%
	女	241	123	51.0%	8.4%	253	148	58.5%	9.4%	279	122	43.7%	7.3%
50歳代	男	290	128	44.1%	8.7%	266	117	44.0%	7.4%	309	124	40.1%	7.4%
	女	213	137	64.3%	9.3%	192	126	65.6%	8.0%	335	157	46.9%	9.4%
60歳代	男	147	85	57.8%	5.8%	156	95	60.9%	6.0%	273	142	52.0%	8.5%
	女	137	95	69.3%	6.5%	143	103	72.0%	6.5%	294	171	58.2%	10.2%
70歳以上	男	231	160	69.3%	10.9%	222	159	71.6%	10.1%	263	148	56.3%	8.9%
	女	295	197	66.8%	13.4%	286	213	74.5%	13.5%	282	144	51.1%	8.6%
属性不明			32		2.2%		7		0.4%		11		0.7%
合計		3,000	1,467	48.9%	100.0%	3,000	1,574	52.5%	100.0%	4,000	1,672	41.8%	100.0%

■性別・年齢別回収率



■標本誤差について

【標本誤差とは】

第8回（令和5年度）市民満足度調査は、20歳以上の市民を対象として、単純無作為抽出法により3,000人を抽出して調査を実施した。

無作為抽出により実施した調査を標本調査と言い、標本調査では抽出者が偶然によって左右されることから誤差が存在し、これを標本誤差という。

「標本調査」では、推計値の前後それぞれに標本誤差をとった幅の中に、真の値があるといえる。

一般的には、95%の信頼度で、標本誤差が±3%程度であれば、信頼できる統計結果とされている。

【第8回(令和5年度)市民満足度調査における標本誤差】

「標本誤差（真の値と調査結果との差）」を直接的に測ることは困難である。そのため、次の理論式に基づいて標本誤差の大きさを推定する方法が一般的とされている。

信頼度 95% の場合の係数
(100 回中 95 回、同様の結果が見込まれることを意味する)

↓

標本誤差 =

$$\pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

← 回答率の割合
(誤差 1 % 又は 99% が最も小さく、50% が最も大きい)

↑

母集団の大きさに対する標本の大きさの割合
(割合が高いほど誤差は小さい)

N = 母集団数（清須市の 20 歳以上の住民基本台帳人口〔令和 5 年 10 月 1 日現在〕
56,042 人

n = 回答者数
1,467 人

p = 回答の比率（%）

理論式に基づいた第8回（令和5年度）市民満足度調査の標本誤差は次のとおり。

回答比率	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
標本誤差	±1.1%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%

（小数点以下第2位を四捨五入）

見方としては、例えばある設問に1,467人が回答し、その設問中の選択肢の回答比率が80%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±2.0%以内（78.0%～82.0%）とみることができる。

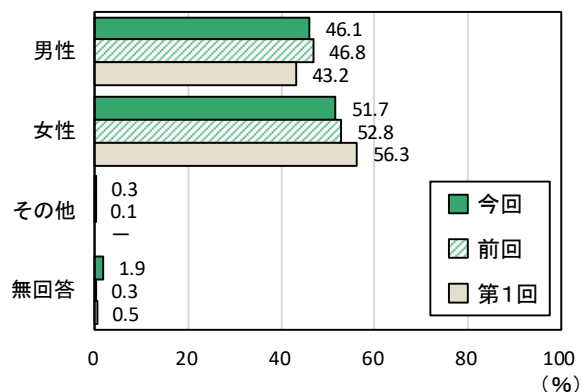
2 調査結果

(1)回答者の属性

①性別

性別の構成比は女性の割合が高く、51.7%を占めている。これは過去の調査と同様である。

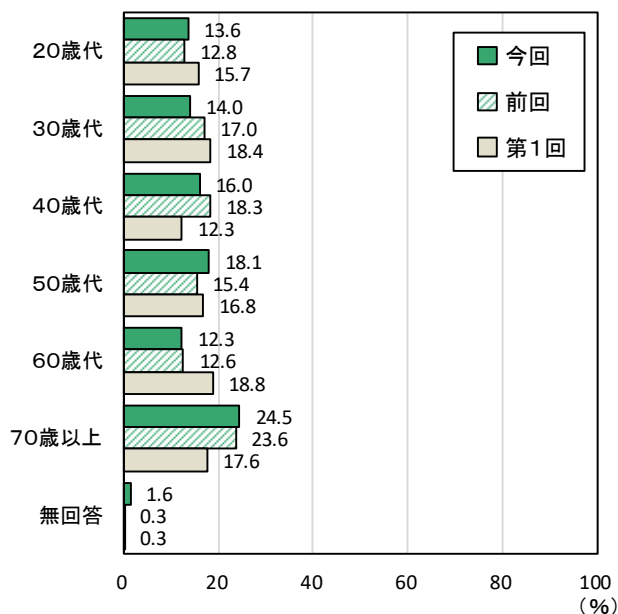
区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
男性	46.1	46.8	43.2
女性	51.7	52.8	56.3
その他	0.3	0.1	—
無回答	1.9	0.3	0.5
計	100.0	100.0	100.0



②年齢

年齢階層別の構成比は、前回と同様 70 歳以上の割合が最も高くなっている。また、20 歳代の割合が前回よりも増加している。

区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
20歳代	13.6	12.8	15.7
30歳代	14.0	17.0	18.4
40歳代	16.0	18.3	12.3
50歳代	18.1	15.4	16.8
60歳代	12.3	12.6	18.8
70歳以上	24.5	23.6	17.6
無回答	1.6	0.3	0.3
計	100.0	100.0	100.0



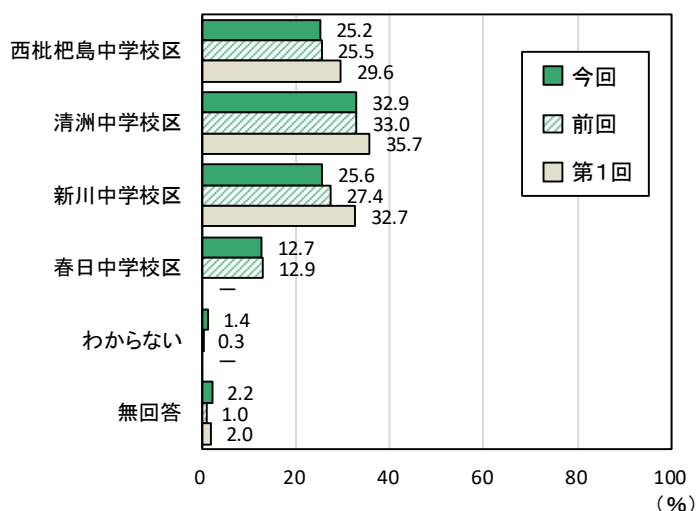
③居住地域

居住地区別の構成比は、前回の調査とほぼ同様の割合となっている。

区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
西枇杷島中学校区	25.2	25.5	29.6
清洲中学校区	32.9	33.0	35.7
新川中学校区	25.6	27.4	32.7
春日中学校区	12.7	12.9	—
わからない	1.4	0.3	—
無回答	2.2	1.0	2.0
計	100.0	100.0	100.0

※第1回の小学校区は中学校区にまとめました。

西枇杷島中学校区 : 古城、西枇杷島小学校区
 清洲中学校区 : 清洲、清洲東小学校区
 新川中学校区 : 新川、星の宮、桃栄小学校区
 春日中学校区 : 春日小学校区



④職業

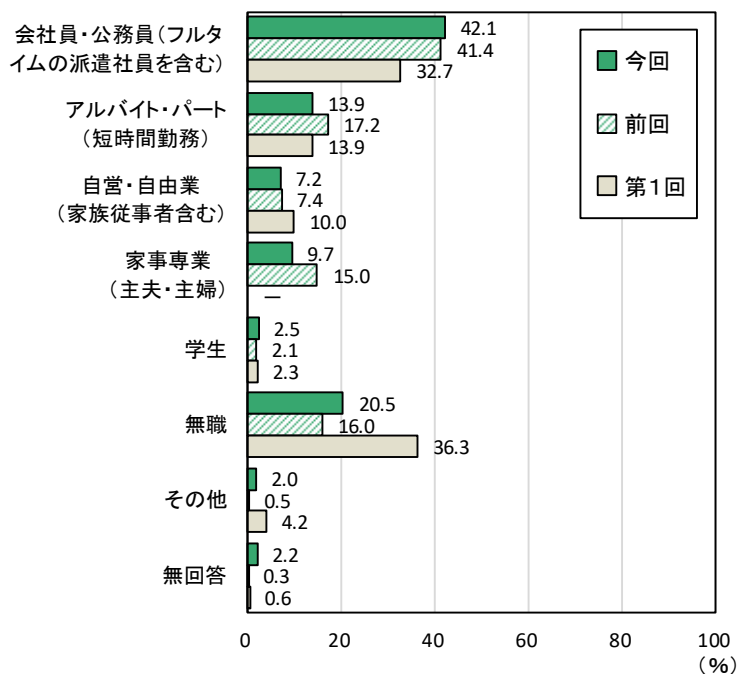
職業別の構成比は、会社員・公務員（フルタイムの派遣社員を含む）の割合が最も高くなっている。これは前回の調査と同様である。

区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
会社員・公務員(フルタイムの派遣社員を含む)	42.1	41.4	32.7
アルバイト・パート(短時間勤務)	13.9	17.2	13.9
自営・自由業(家族従事者含む)	7.2	7.4	10.0
家事専業(主夫・主婦)	9.7	15.0	—
学生	2.5	2.1	2.3
無職	20.5	16.0	36.3
その他	2.0	0.5	4.2
無回答	2.2	0.3	0.6
計	100.0	100.0	100.0

※第1回の職業区分は下記の区分に含めました。

会社員・団体職員 ⇒ 会社員・公務員
 公務員 ⇒ 会社員・公務員
 農業 ⇒ 自営・自由業

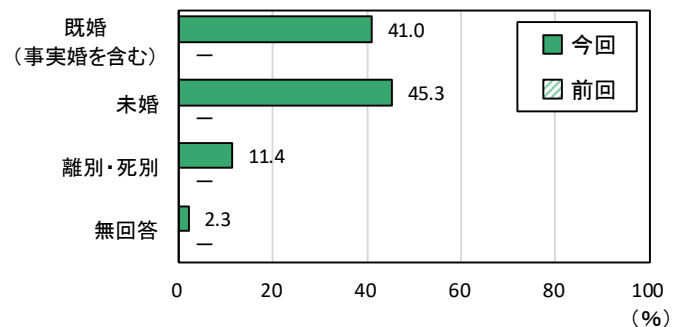
※第1回には「家事専業(主夫・主婦)」はなかったため、「—」と表記しています。



⑤婚姻状況

婚姻状況の構成比は未婚の割合が最も高く、45.3%を占めている。

区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
既婚 (事実婚を含む)	41.0	-	-
未婚	45.3	-	-
離別・死別	11.4	-	-
無回答	2.3	-	-
計	100.0	-	-



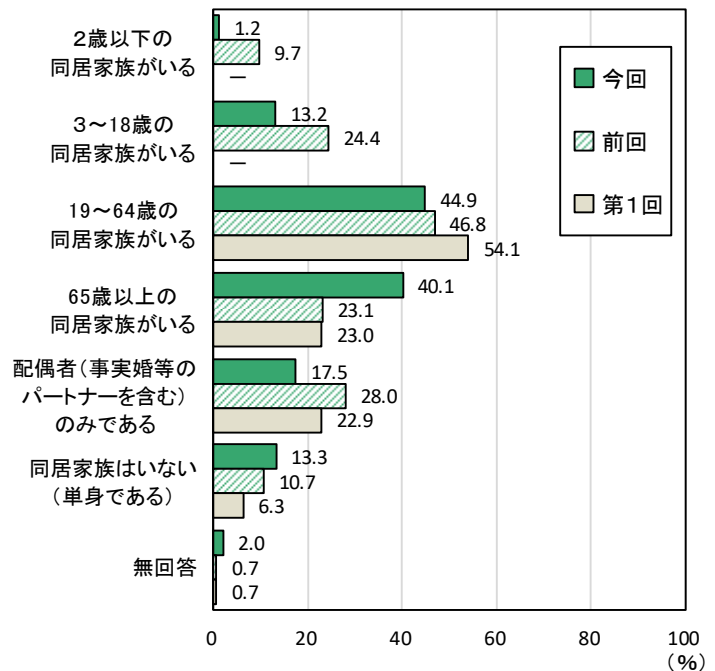
⑥家族構成

家族構成別の構成比は、19～64歳の同居家族がいる方の割合が半数近くを占めており、最も高くなっている。

また、前回と比較して、65歳以上の同居家族がいる方の割合が17.0ポイントと大きく増加している。

区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
2歳以下の同居家族がいる	1.2	9.7	-
3～18歳の同居家族がいる	13.2	24.4	-
19～64歳の同居家族がいる	44.9	46.8	54.1
65歳以上の同居家族がいる	40.1	23.1	23.0
配偶者(事実婚等のパートナーを含む)のみである	17.5	28.0	22.9
同居家族はいない(単身である)	13.3	10.7	6.3
無回答	2.0	0.7	0.7
計	132.2	143.4	-

※複数回答のため、構成比の合計は100.0にはなりません。
※第1回になかった区分は「-」と表記しています。



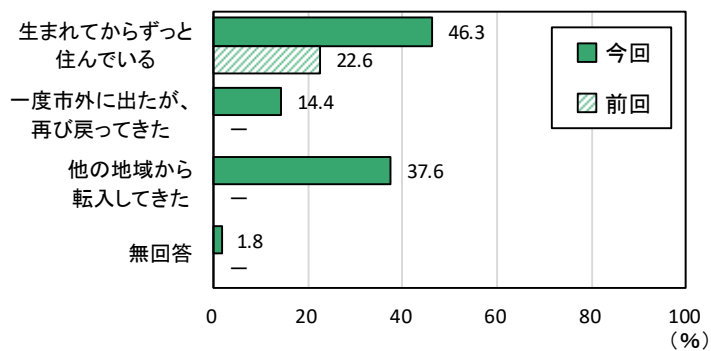
⑦居住歴

居住歴別の構成比では、生まれてからずっと住んでいる方が46.3%と最も高い一方で、他の地域から転入してきた方も37.6%となっている。

また、前回と比較して、生まれてからずっと住んでいる方は23.7ポイント増加している。

区分	構成比(%)		
	今回	前回	第1回
生まれてからずっと住んでいる	46.3	22.6	-
一度市外に出たが、再び戻ってきた	14.4	-	-
他の地域から転入してきた	37.6	-	-
無回答	1.8	-	-
計	100.0	-	-

※前回になかった区分は「-」と表記しています。



(2)市の施策に関する満足度・重要度

①施策別満足度の推移

施策別の満足度の集計結果は以下のとおりである。

(単位: %)		満足している			やや満足している			どちらともいえない			やや不満である			不満である			無回答		
		今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回
安全・安心	1 治水対策の推進	4.8	5.2	6.0	20.9	25.3	28.5	52.6	48.7	41.3	14.0	11.5	12.3	4.8	5.9	7.5	2.8	3.3	4.4
	2 防災・減災対策の推進	3.7	4.4	4.6	16.5	22.4	27.9	61.5	57.7	43.2	12.0	9.3	14.5	3.3	3.2	6.0	2.9	3.1	3.8
	3 防犯・交通安全対策の推進	4.2	5.8	4.5	18.5	25.4	27.5	50.0	48.1	32.3	18.3	12.4	24.3	6.4	5.3	8.5	2.6	3.0	2.9
	4 消防・救急医療体制の充実	7.6	10.2	5.9	24.9	27.0	29.0	53.0	49.9	52.5	8.8	6.9	6.5	2.9	2.7	2.1	2.8	3.2	4.0
子育て	5 母子保健の充実	15.3	8.0		17.1	21.1		51.7	57.1		3.1	3.0		1.3	1.7		11.5	9.0	
	6 子育て支援の充実	14.6	8.1	4.9	19.8	20.9	17.4	49.8	54.8	54.2	3.6	4.8	12.6	1.1	2.5	6.2	11.2	9.0	4.7
	7 学校教育の充実	16.3	7.4	4.5	19.2	18.2	19.4	48.3	57.9	60.0	3.5	4.8	7.8	1.9	2.7	2.7	10.8	9.0	5.5
	8 ひより親家庭への支援の充実	13.9	5.7		16.2	10.4		53.5	69.4		3.6	3.7		1.8	1.5		11.0	9.2	
健康やか	9 青少年健全育成の推進	2.3	4.5	4.0	9.8	12.0	16.4	70.3	69.4	65.6	4.2	4.0	7.4	2.1	1.3	2.4	11.2	8.8	4.2
	10 健康づくりの推進	3.9	7.3	6.6	17.9	23.8	28.7	64.3	58.8	43.4	5.8	4.6	13.2	2.2	1.5	4.9	5.9	3.9	3.1
	11 地域福祉の充実	3.2	5.4	5.2	15.7	17.9	21.8	64.8	64.7	58.4	6.7	5.3	8.3	3.3	2.5	2.8	6.3	4.2	3.5
	12 高齢者福祉の充実	3.4	6.7	3.2	16.8	20.1	18.5	62.8	60.2	58.5	8.2	6.3	11.4	3.3	2.5	5.1	5.6	4.1	3.2
	13 障害者(児)福祉の充実	2.7	6.4	3.3	10.2	14.2	14.5	73.4	66.0	65.7	4.0	6.0	8.3	2.2	2.2	4.1	7.4	5.3	4.1
	14 医療保険・年金制度の適正運営	12.5	7.1	3.1	20.0	18.0	14.4	50.9	54.6	57.4	7.8	10.3	14.1	2.9	5.9	7.8	5.8	4.2	3.2
	15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施	12.8	5.4		13.3	12.3		62.2	68.7		2.7	5.8		2.0	2.8		7.0	5.0	
	16 市街地整備の推進	14.4	6.4	5.3	19.8	23.4	16.0	46.4	43.1	41.0	10.0	17.5	23.0	4.8	6.4	11.0	4.6	3.2	3.7
便利・快適	17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進	11.7	7.1	4.1	23.2	22.2	19.9	46.4	44.2	44.6	9.3	16.6	19.9	5.2	6.7	7.4	4.2	3.2	4.2
	18 上水道の安定供給・下水道の充実	13.0	9.8	8.4	23.0	24.0	24.4	48.7	44.5	37.0	7.0	12.3	15.9	4.0	6.5	11.5	4.4	3.0	2.8
	19 水辺空間と緑地の充実	4.6	7.4	7.7	20.4	23.0	34.5	59.0	48.9	30.6	8.7	12.6	18.5	3.1	4.5	5.7	4.3	3.6	3.0
	20 公共交通の充実	4.2	8.0	7.8	17.5	21.1	22.1	59.0	45.6	50.8	10.3	14.5	10.1	5.2	7.8	5.7	3.7	3.0	3.3
	21 ごみの減量化と資源化の推進	7.2	9.0	12.9	24.7	28.0	35.5	53.9	50.1	26.1	7.7	7.0	15.8	2.7	3.0	7.0	3.8	3.0	2.7
	22 環境保全の推進	3.3	6.9	4.2	16.0	22.6	25.9	66.5	57.6	46.5	7.0	6.6	15.0	2.8	2.5	4.1	4.3	3.8	4.2
	23 斎苑施設の整備・運営	10.4	14.9	4.1	20.1	21.6	9.3	57.1	55.7	64.2	5.7	3.0	9.2	2.5	1.6	8.5	4.2	3.3	4.8
	24 観光の振興	2.9	3.9	2.6	12.7	13.8	12.9	65.7	52.2	65.6	10.2	19.1	9.7	4.3	7.7	4.2	4.2	3.4	4.9
魅力・活力	25 商業・工業の振興	9.5	3.2	1.7	17.2	12.4	8.4	59.4	62.0	60.9	6.8	13.5	18.1	2.2	5.3	6.0	5.0	3.6	5.0
	26 都市近郊農業の振興	8.2	3.3	2.0	14.8	10.5	9.9	64.1	69.0	67.0	5.8	9.7	11.1	2.2	3.7	4.7	4.9	3.9	5.3
	27 消費生活の擁護	10.0	3.3	2.3	14.2	12.9	8.9	64.8	67.0	76.4	3.9	9.6	5.9	1.9	3.4	1.7	5.2	3.7	5.0
	28 生涯学習の充実	9.8	5.0	3.6	20.9	17.2	16.9	58.0	66.3	65.3	4.2	5.1	7.5	1.6	2.1	1.4	5.6	4.3	5.3
こころと豊かなからだ	29 文化・芸術活動の振興	13.4	4.6	7.1	18.0	16.5	26.4	57.6	66.4	54.8	4.1	6.0	5.7	1.2	2.3	2.1	5.7	4.2	3.8
	30 文化財保護の推進	10.7	6.4	6.0	21.3	20.3	22.3	56.2	62.8	61.9	4.0	4.4	3.7	1.8	1.8	1.3	6.1	4.3	4.8
	31 スポーツ・レクリエーション活動の振興	4.2	4.9	4.9	18.1	18.4	19.5	58.4	63.9	56.8	10.1	6.7	11.0	4.0	2.3	3.5	5.2	3.9	4.3
	32 国際交流の振興	2.9	3.2	3.1	13.4	10.7	12.4	66.9	72.9	71.8	7.0	6.5	5.4	3.7	2.0	2.5	6.0	4.6	4.7
つながり	33 男女共同参画社会の推進	4.2	2.7	2.6	11.4	11.8	7.5	69.7	72.0	78.9	5.6	6.3	5.0	3.0	2.5	1.3	6.1	4.7	4.7
	34 市民参加・市民協働の推進	3.5	3.8	5.9	12.3	13.6	24.6	68.9	70.5	54.1	6.4	6.3	8.7	2.9	1.8	2.7	5.9	4.0	4.0
	35 広報・広聴活動の充実	5.1	5.7		18.0	20.4		58.1	60.5		9.0	7.1		4.2	2.4		5.5	4.0	
	36 自治・コミュニティ活動の振興	4.6	4.1	3.8	16.1	16.1	16.1	64.1	65.6	67.7	6.1	7.5	6.0	3.1	2.7	2.0	6.1	4.1	4.4
	37 市民ニーズに応える行政運営の推進	3.4	4.5	2.5	14.0	15.4	11.4	66.3	64.9	59.7	7.2	7.6	14.0	3.0	3.4	8.1	6.1	4.2	4.4

※第1回調査は第1次総合計画の施策により調査を実施しているため、第2次総合計画の施策に対応する施策が第1次総合計画にない場合は、該当の欄を空欄としている。(11 ページも同様)。

②施策別重要度の推移

施策別の重要度の集計結果は以下のとおりである。

(単位: %)		重要である			やや重要である			どちらともいえない			あまり重要ではない			重要ではない			無回答		
		今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回	今回	第7回	第1回
1 安全・安心	1 治水対策の推進	42.2	67.5	57.0	24.5	18.0	27.4	26.3	7.7	8.0	1.6	0.2	1.0	0.7	0.3	0.2	4.7	6.3	6.4
	2 防災・減災対策の推進	46.3	56.3	46.7	28.0	27.3	32.8	18.5	9.5	12.8	1.7	0.3	1.1	0.4	0.3	0.3	5.0	6.4	6.3
	3 防犯・交通安全対策の推進	46.7	53.1	53.3	29.9	28.0	31.4	17.0	11.8	8.4	1.2	0.6	0.6	0.3	0.4	0.2	4.8	6.2	6.0
	4 消防・救急医療体制の充実	45.9	53.3	39.5	27.6	27.6	33.3	19.8	12.1	19.6	1.0	0.4	0.7	0.4	0.3	0.4	5.2	6.2	6.6
2 子育て	5 母子保健の充実	29.2	43.8		28.4	24.9		28.2	19.3		2.0	0.4		0.5	0.4		11.7	11.1	
	6 子育て支援の充実	31.7	47.6	37.0	27.9	23.6	28.1	26.4	17.0	26.5	1.6	0.5	1.1	0.8	0.4	0.4	11.5	10.7	6.9
	7 学校教育の充実	33.6	49.5	25.7	29.3	21.7	28.4	24.3	17.2	36.8	1.1	0.8	1.2	0.5	0.4	0.7	11.2	10.5	7.2
	8 ひとり親家庭への支援の充実	27.5	37.6		28.2	25.3		30.3	23.6		1.6	1.8		0.8	0.9		11.5	10.8	
	9 青少年健全育成の推進	20.4	34.4	17.4	24.3	27.1	30.3	38.7	25.2	39.7	3.3	1.8	4.5	1.6	0.8	1.6	11.8	10.7	6.5
3 健やか	10 健康づくりの推進	21.5	35.3	31.6	29.9	31.8	35.4	32.2	22.5	25.0	5.9	1.3	1.1	3.5	0.6	0.2	6.9	8.4	6.5
	11 地域福祉の充実	17.9	32.6	19.3	25.4	29.7	31.8	39.3	26.2	37.5	6.7	2.2	3.4	3.3	0.8	1.3	7.4	8.6	6.7
	12 高齢者福祉の充実	27.7	40.6	36.0	25.6	27.1	31.5	34.1	20.5	25.0	3.7	2.7	1.2	2.2	0.8	0.6	6.7	8.3	5.7
	13 障害者(児)福祉の充実	22.8	37.9	29.5	22.6	28.2	28.9	42.2	23.1	33.6	2.3	1.2	1.2	1.8	0.6	0.6	8.2	9.0	6.2
	14 医療保険・年金制度の適正運営	37.7	49.5	36.5	28.9	25.8	29.3	24.0	15.2	26.9	1.4	0.8	0.7	1.2	0.5	0.5	6.8	8.3	6.0
4 便利・快適	15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施	25.4	31.3		27.6	28.0		35.4	27.1		2.2	3.1		1.8	2.0		7.6	8.6	
	16 市街地整備の推進	25.9	35.3	28.3	33.0	33.3	34.0	32.0	20.3	26.3	2.0	1.7	3.8	1.0	0.4	1.6	6.1	9.0	6.1
	17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進	28.9	42.2	24.4	34.3	30.6	37.1	28.8	17.5	29.3	2.0	0.8	2.5	0.4	0.2	0.8	5.7	8.8	5.9
	18 上水道の安定供給・下水道の充実	27.0	41.0	40.6	26.8	29.1	34.0	35.7	19.6	17.5	3.4	1.0	1.7	1.2	0.3	0.5	6.0	9.0	5.8
	19 水辺空間と緑地の充実	16.8	28.6	22.0	27.5	29.9	43.4	43.8	28.8	25.1	4.4	2.8	2.7	1.7	1.0	1.0	5.9	8.9	5.9
	20 公共交通の充実	22.4	32.4	14.8	26.9	29.0	29.1	40.5	25.5	37.9	3.2	3.2	8.3	1.4	1.0	4.4	5.7	9.0	5.4
	21 ごみの減量化と資源化の推進	23.6	36.2	42.6	28.8	31.1	36.5	37.8	21.8	14.0	2.7	1.5	0.8	1.1	0.6	0.4	5.9	8.9	5.6
	22 環境保全の推進	17.4	31.5	21.6	27.3	31.1	41.1	45.9	25.7	27.5	2.6	1.7	2.3	1.1	0.5	0.7	5.7	9.5	6.8
	23 斎苑施設の整備・運営	15.3	23.9	19.0	22.5	23.1	22.4	51.7	37.7	44.1	3.6	4.2	4.8	1.7	2.0	2.8	5.2	9.2	6.9
5 魅力・活力	24 観光の振興	16.6	21.9	13.5	32.2	30.2	25.4	39.5	32.9	45.5	4.5	4.3	5.9	1.8	3.1	3.1	5.4	7.6	6.6
	25 商業・工業の振興	16.7	23.3	20.2	29.9	31.4	33.1	41.6	34.0	36.1	4.2	2.5	2.8	1.8	1.1	1.4	5.8	7.8	6.4
	26 都市近郊農業の振興	18.8	18.7	17.4	27.7	27.1	29.1	43.1	41.9	42.6	3.1	2.9	2.9	1.4	1.3	1.4	5.8	8.1	6.7
	27 消費生活の擁護	15.9	20.5	12.5	25.3	29.0	24.7	48.2	38.6	50.1	3.5	2.9	3.7	1.1	1.1	1.6	6.0	7.8	7.4
6 こころと豊かな	28 生涯学習の充実	13.9	20.1	10.4	29.0	28.9	27.6	44.2	38.1	49.6	4.0	4.0	4.4	1.8	1.2	1.3	7.0	7.8	6.6
	29 文化・芸術活動の振興	13.5	16.9	11.1	25.5	26.4	29.7	46.5	42.1	45.0	5.1	4.8	5.8	2.2	1.9	2.5	7.2	7.9	5.9
	30 文化財保護の推進	11.8	20.1	15.9	25.2	26.9	29.1	48.9	39.8	43.6	5.5	3.8	3.3	1.2	1.5	2.0	7.4	7.9	6.2
	31 スポーツ・レクリエーション活動の振興	9.9	18.2	13.0	24.6	28.3	29.8	49.2	39.0	45.0	7.0	4.7	4.0	2.3	1.8	1.9	7.0	7.9	6.3
	32 国際交流の振興	8.1	14.9	8.7	19.2	24.3	23.1	56.0	44.0	51.1	6.5	6.0	7.2	2.8	2.5	3.8	7.4	8.4	6.1
	33 男女共同参画社会の推進	10.0	18.9	9.6	20.4	24.3	18.4	53.9	42.2	56.7	5.4	4.1	5.6	2.9	2.0	2.9	7.3	8.5	6.9
7 つながり	34 市民参加・市民協働の推進	11.1	16.3	15.7	21.9	26.0	34.0	52.6	42.4	39.4	5.6	4.8	3.4	1.6	2.2	1.3	7.2	8.4	6.2
	35 広報・広聴活動の充実	17.3	20.2		28.6	29.5		41.6	36.3		4.1	4.0		1.6	1.7		6.8	8.3	
	36 自治・コミュニティ活動の振興	13.3	17.8	11.3	24.8	26.5	25.7	48.6	39.1	49.2	4.3	5.0	5.1	2.4	3.4	1.7	6.6	8.3	7.0
	37 市民ニーズに応える行政運営の推進	22.8	27.4	32.5	28.7	25.9	26.0	39.3	35.1	33.9	1.6	2.2	1.3	1.2	1.2	0.6	6.5	8.3	5.8

③政策別にみた満足度・重要度の結果

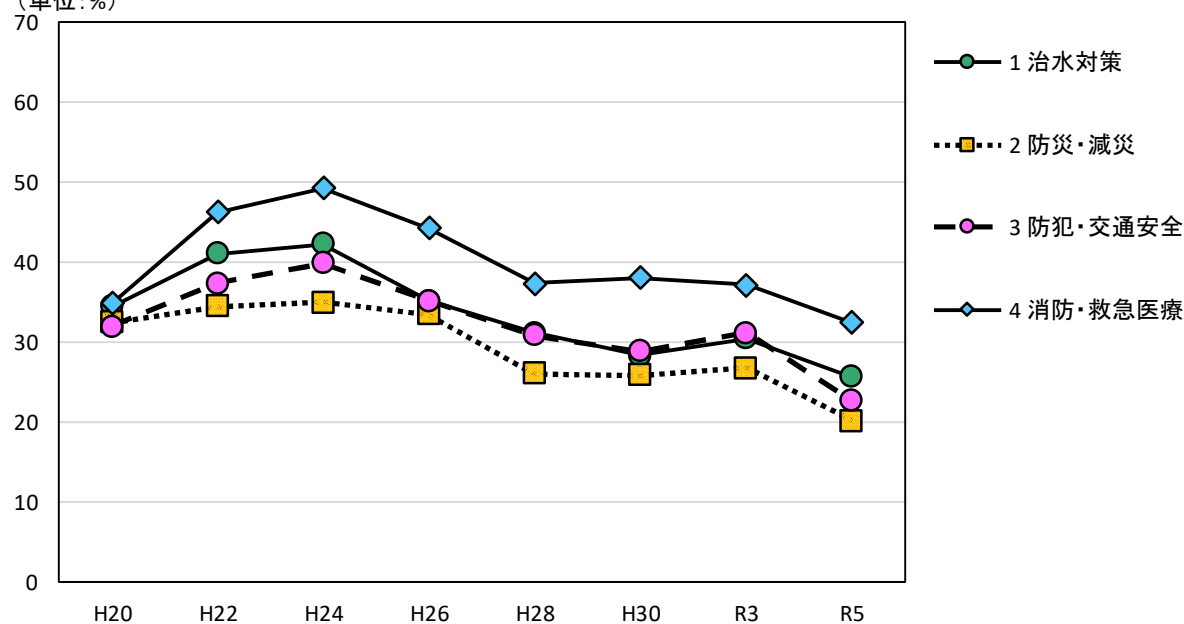
政策1 安全で安心して暮らせるまちをつくる(安全・安心)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「消防・救急医療体制の充実」(32.5%)となっており、次いで「治水対策の推進」(25.7%)、「防犯・交通安全対策の推進」(22.7%)となっている。

前回との比較では、いずれの施策も「満足・やや満足」の合計値が減少している。

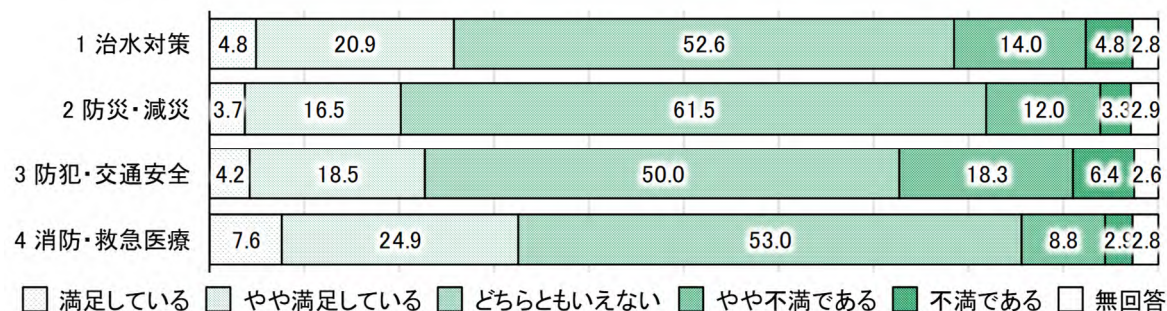
■施策別満足度^{※1}の時系列推移

(単位: %)



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

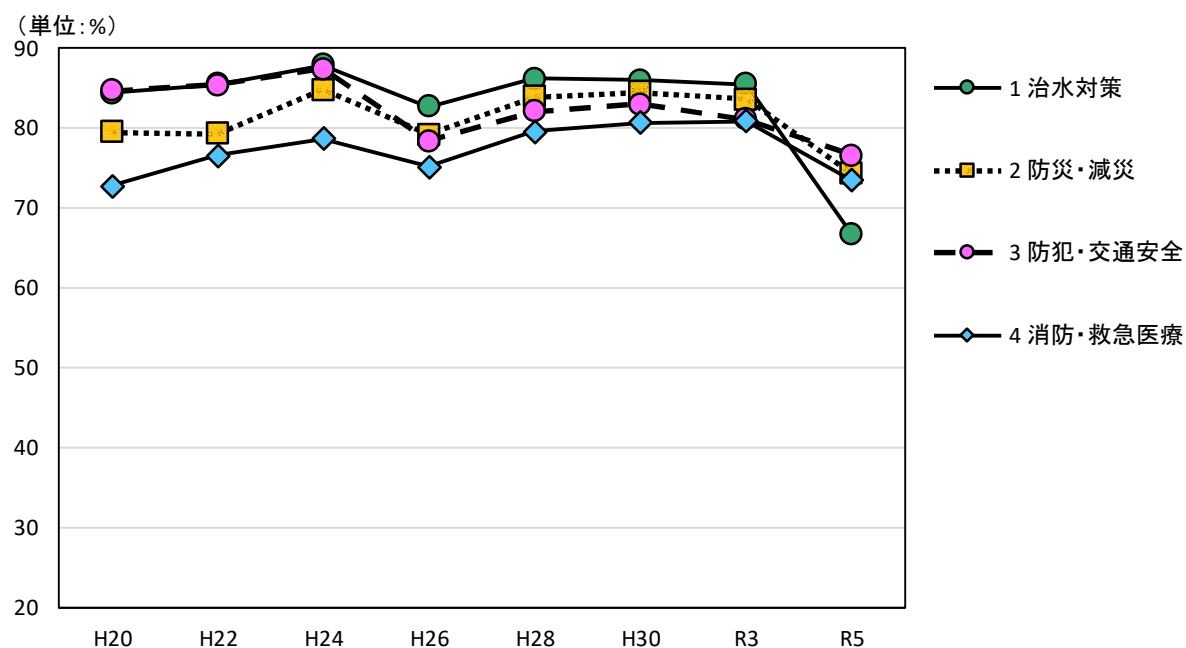


¹ ※「満足」と「やや満足」の割合の合計値で計算。以下、24 ページまで同様。

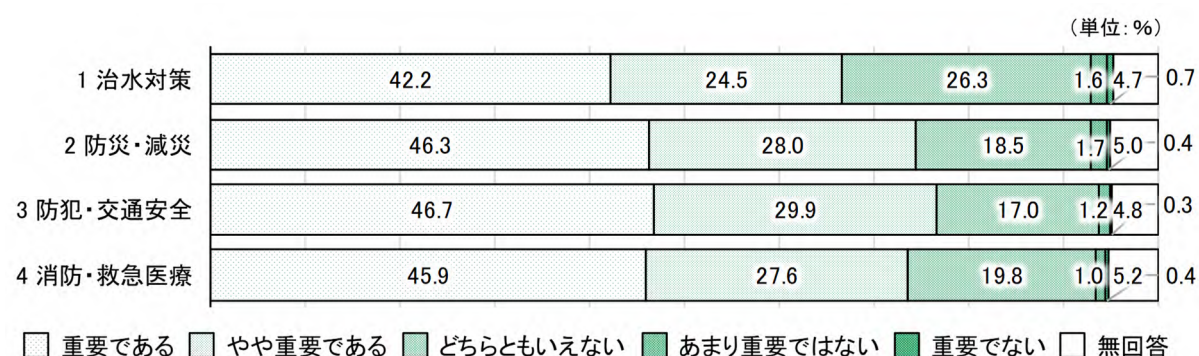
今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「防犯・交通安全対策の推進」(76.6%)となっており、次いで「防災・減災対策の推進」(74.3%)、「消防・救急医療体制の充実」(73.5%)となっている。

前回との比較では、いずれの施策も「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度※2の時系列推移



■施策別重要度の構成比



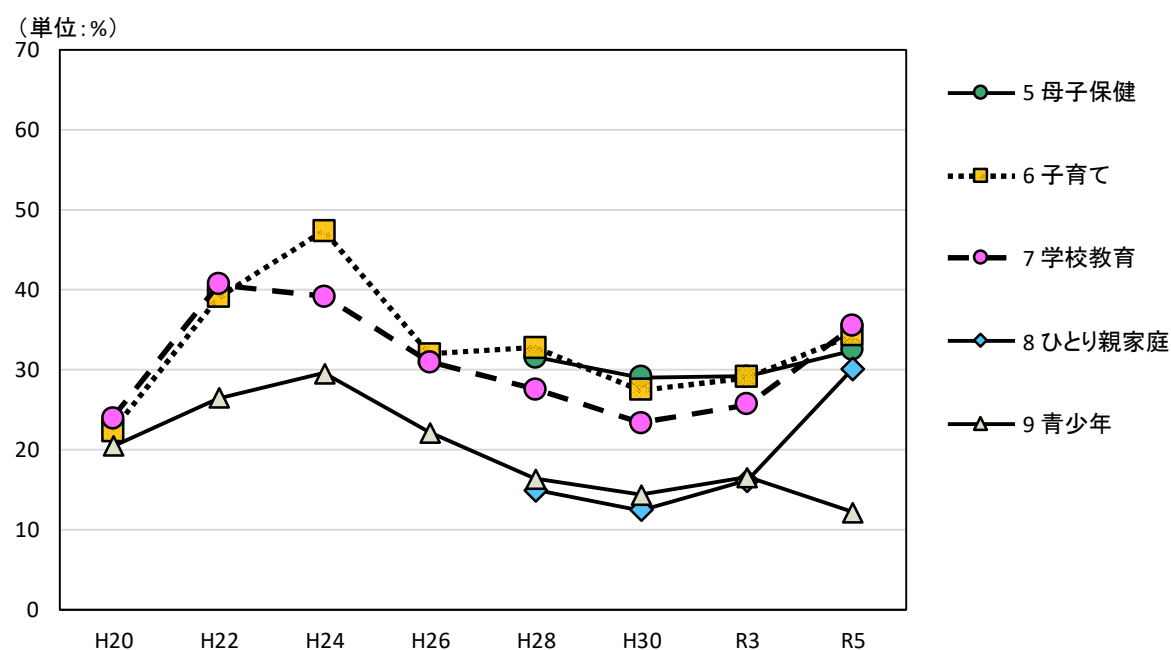
※2 「重要」と「やや重要」の割合の合計値で計算。以下、25 ページまで同様。

政策2 子育てのしやすいまちをつくる(子育て)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「学校教育の充実」(35.5%)となっており、次いで「子育て支援の充実」(34.4%)、「母子保健の充実」(32.4%)となっている。

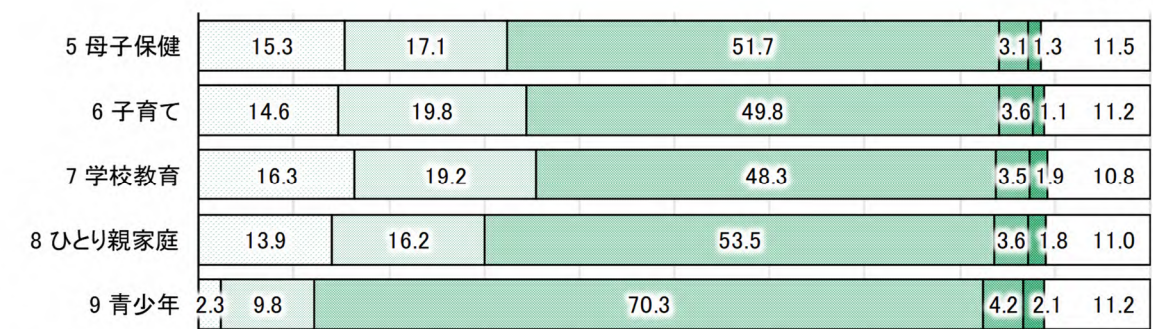
前回との比較では、「青少年健全育成の推進」を除いた他の施策において「満足・やや満足」の合計値が増加している。特に、「ひとり親家庭への支援の充実」は、前回から 14.0 ポイント増加している。

■施策別満足度の時系列推移



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

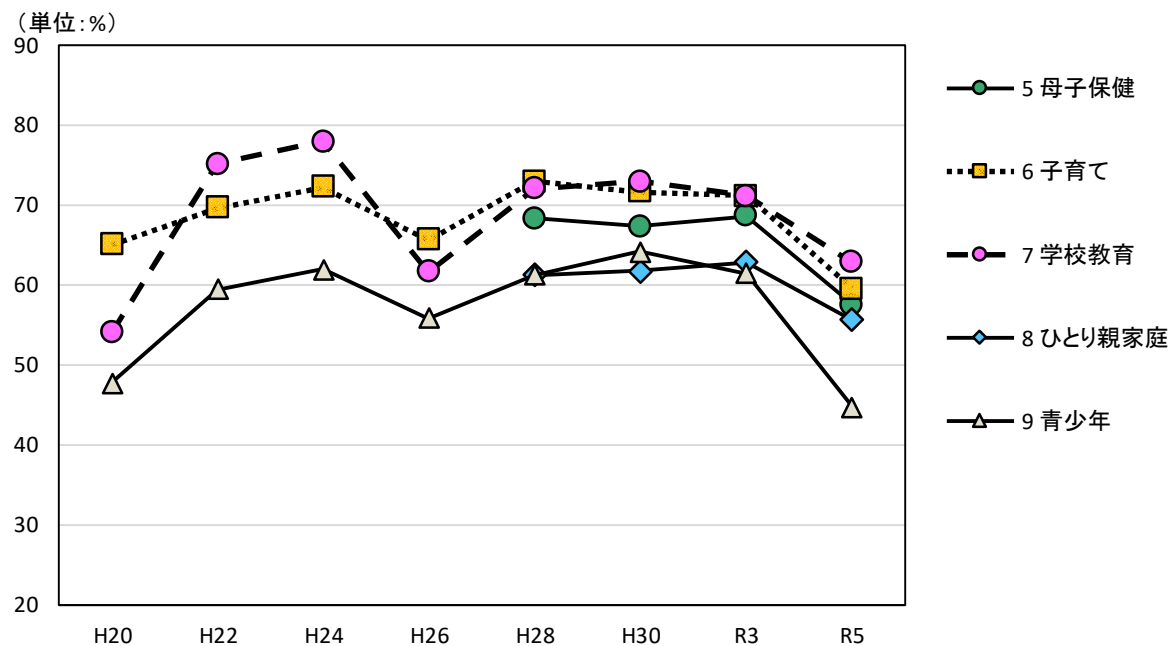


□ 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない □ やや不満である □ 不満である □ 無回答

今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「学校教育の充実」(62.9%)となっており、次いで「子育て支援の充実」(59.6%)、「母子保健の充実」(57.6%)となっている。

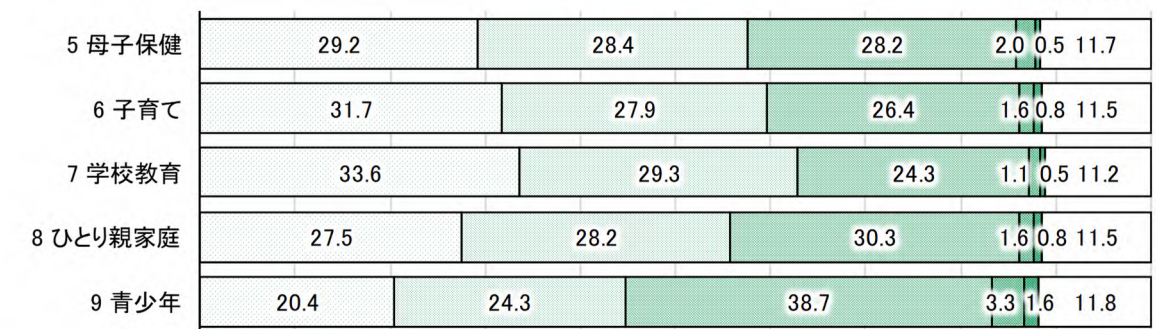
前回との比較では、いずれの施策も「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度の時系列推移



■施策別重要度の構成比

(単位: %)



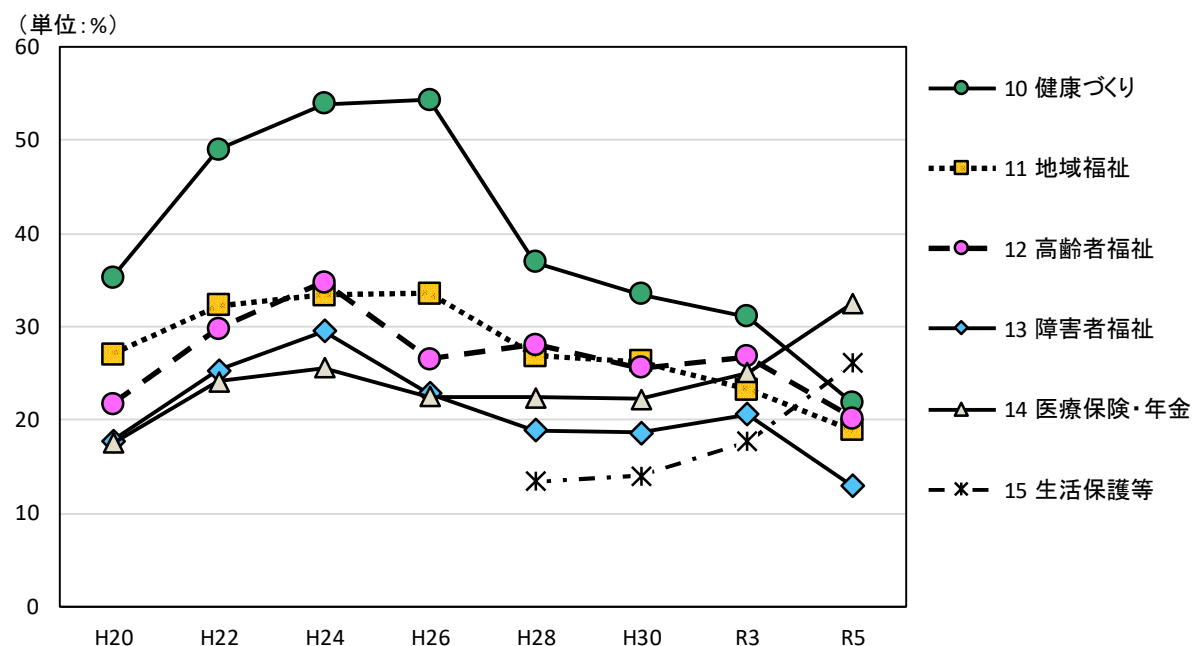
□ 重要である □ やや重要である □ どちらともいえない □ あまり重要ではない □ 重要でない □ 無回答

政策3 誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちをつくる(健やか)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「医療保険・年金制度の適正運営」(32.5%)となっており、次いで「生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施」(26.1%)、「健康づくりの推進」(21.8%)となっている。

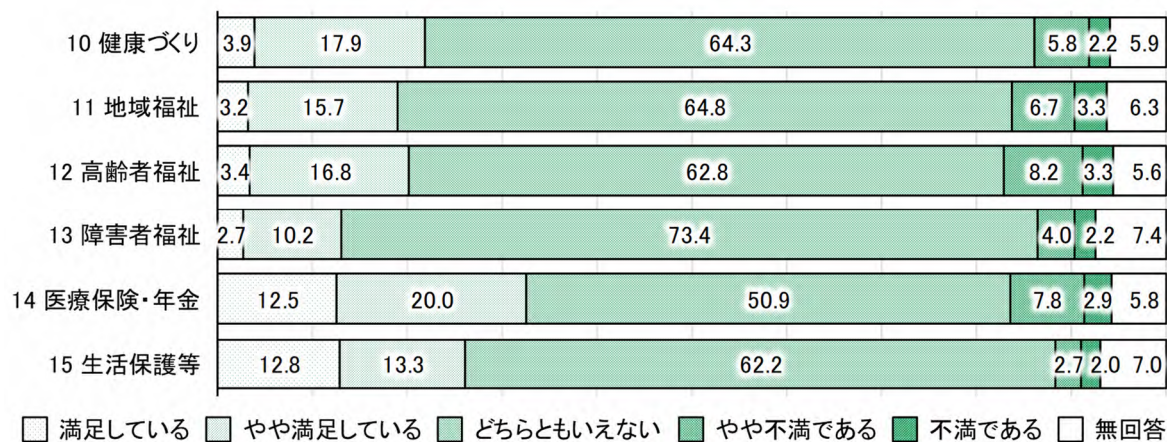
前回との比較では、「生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施」「医療保険・年金制度の適正運営」において「満足・やや満足」の合計値が増加している。

■施策別満足度の時系列推移



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

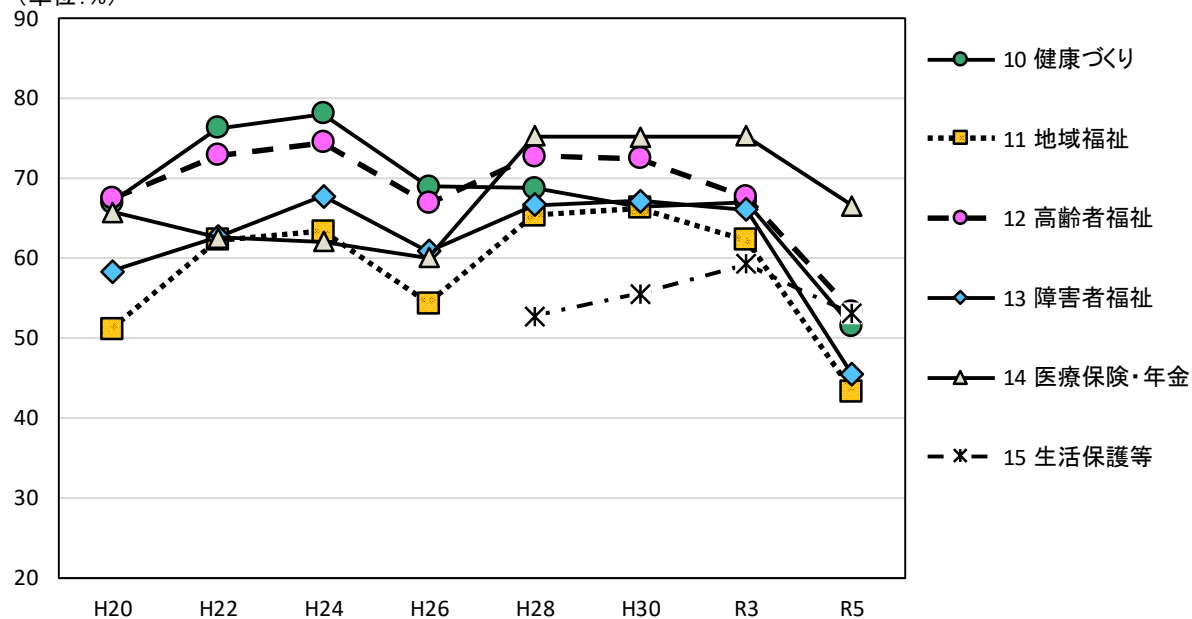


今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「医療保険・年金制度の適正運営」(66.6%)となっており、次いで「高齢者福祉の充実」(53.3%)、「生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正運営」(53.0%)となっている。

前回との比較では、いずれの施策も「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度の時系列推移

(単位: %)



■施策別重要度の構成比

(単位: %)

10 健康づくり	21.5	29.9	32.2	5.9	3.5	6.9
11 地域福祉	17.9	25.4	39.3	6.7	3.3	7.4
12 高齢者福祉	27.7	25.6	34.1	3.7	2.2	6.7
13 障害者福祉	22.8	22.6	42.2	2.3	1.8	8.2
14 医療保険・年金	37.7	28.9	24.0	1.4	1.2	6.8
15 生活保護等	25.4	27.6	35.4	2.2	1.8	7.6

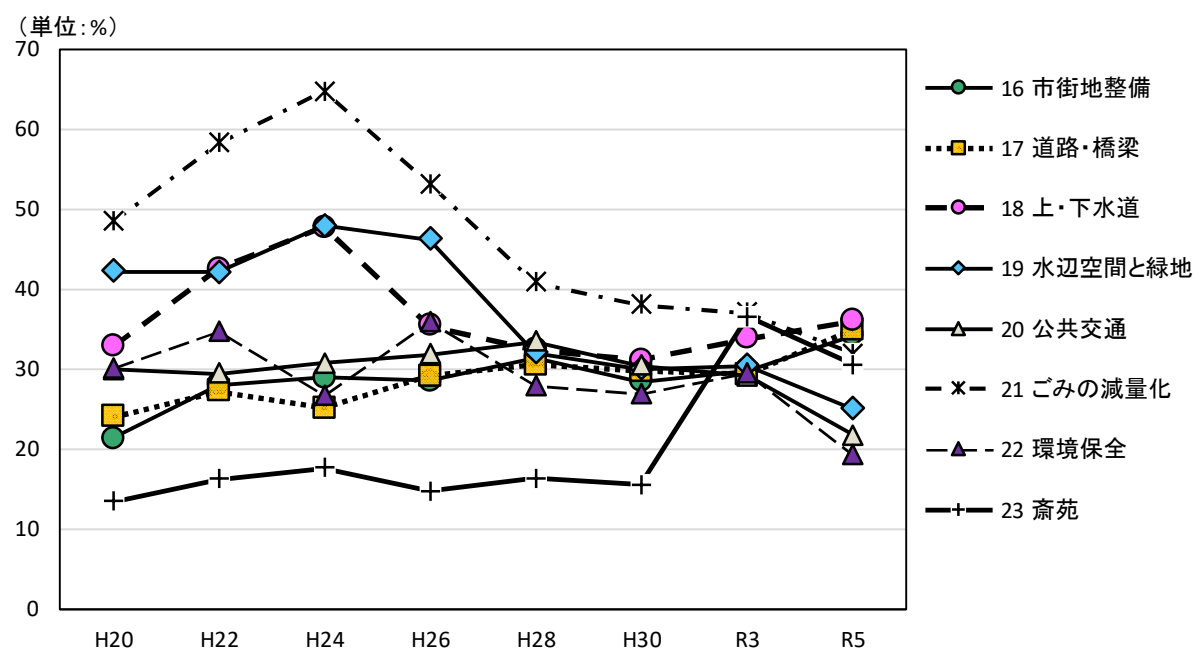
□ 重要である □ やや重要である □ どちらともいえない □ あまり重要ではない □ 重要でない □ 無回答

政策4 便利で快適に暮らせるまちをつくる(便利・快適)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「上水道の安定供給・下水道の充実」(36.0%)となっており、次いで「道路・橋梁の整備・適正管理の推進」(34.9%)、「市街地整備の推進」(34.2%)となっている。

前回との比較では、「道路・橋梁の整備・適正管理の推進」「市街地整備の推進」「上水道の安定供給・下水道の充実」において、「満足・やや満足」の合計値が他の施策に比べて増加している。

■施策別満足度の時系列推移



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

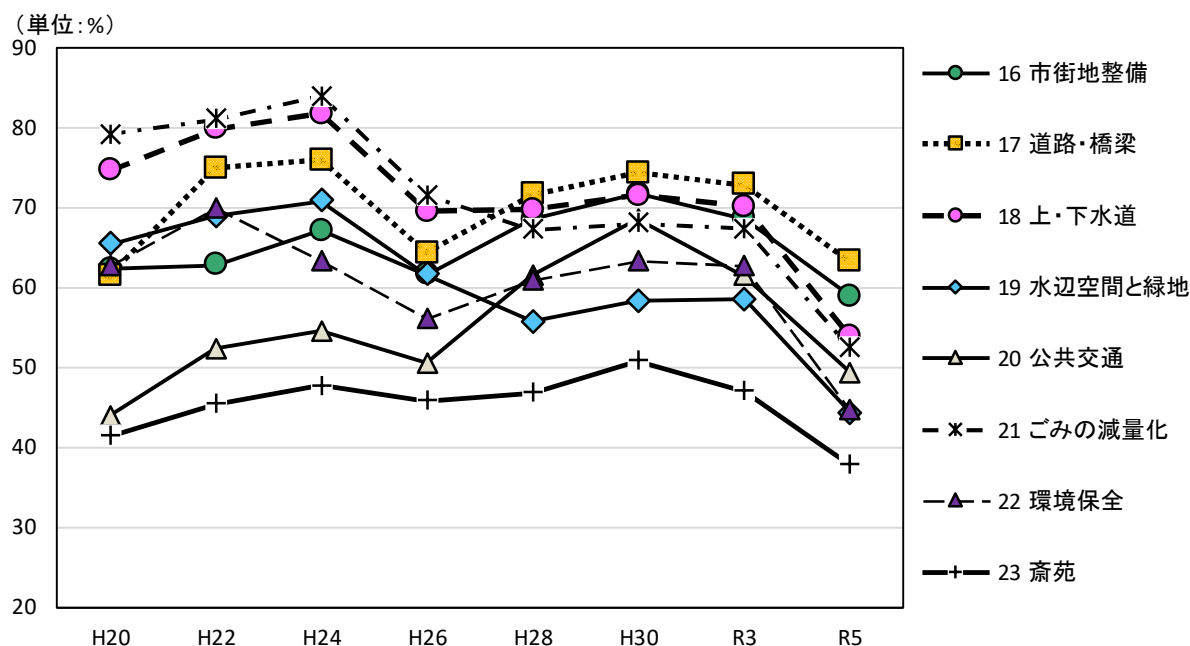
16 市街地整備	14.4	19.8	46.4	10.0	4.8	4.6
17 道路・橋梁	11.7	23.2	46.4	9.3	5.2	4.2
18 上・下水道	13.0	23.0	48.7	7.0	4.0	4.4
19 水辺空間と緑地	4.6	20.4	59.0	8.7	3.1	4.3
20 公共交通	4.2	17.5	59.0	10.3	5.2	3.7
21 ごみの減量化	7.2	24.7	53.9	7.7	2.7	3.8
22 環境保全	3.3	16.0	66.5	7.0	2.8	4.3
23 斎苑	10.4	20.1	57.1	5.7	2.5	4.2

□ 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない □ やや不満である □ 不満である □ 無回答

今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「道路・橋梁の整備・適正管理」(63.2%)となっており、次いで「市街地整備の推進」(58.9%)、「上水道の安定供給・下水道の充実」(53.8%)となっている。一方、「斎苑施設の整備」(37.8%)は、他の施策に比べて割合が低くなっている。

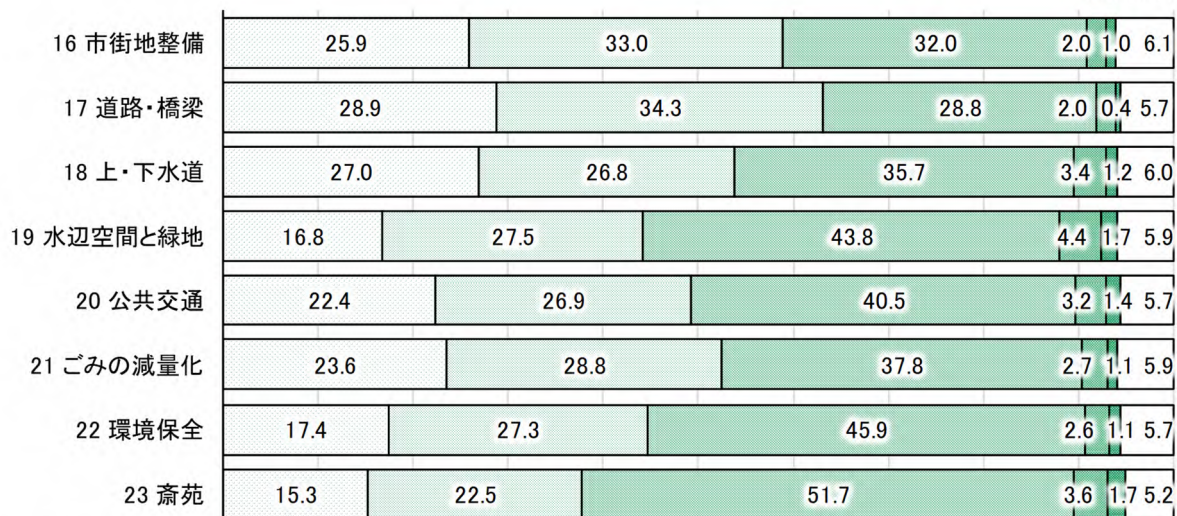
前回との比較では、いずれの施策も「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度の時系列推移



■施策別重要度の構成比

(単位: %)



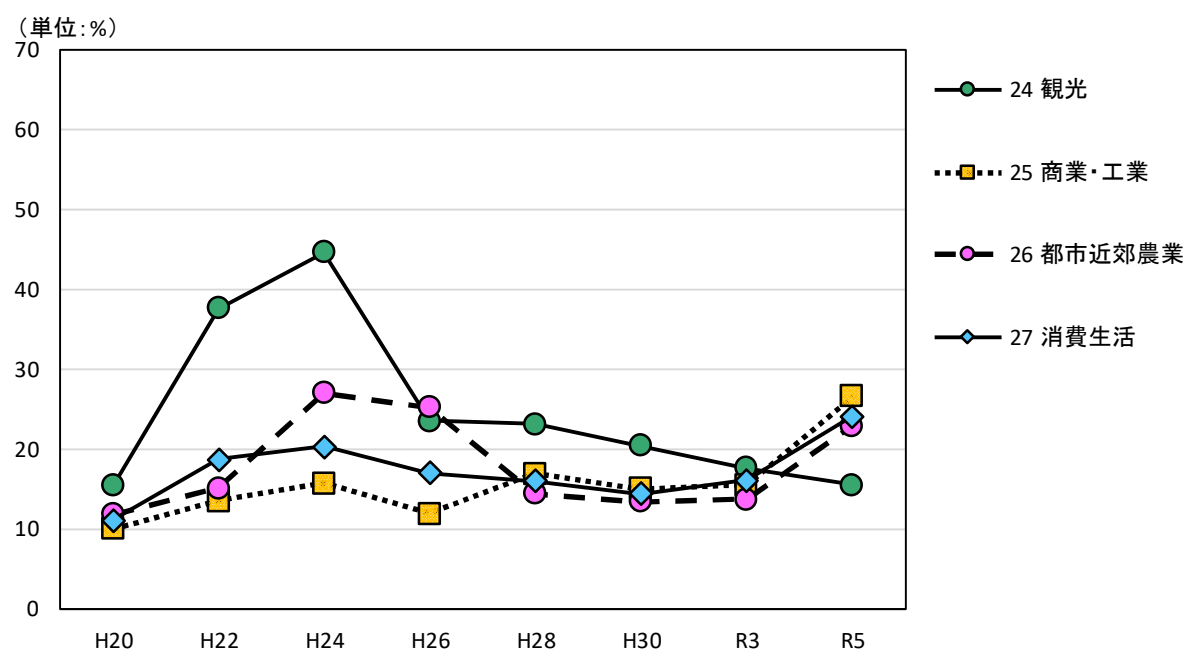
□ 重要である □ やや重要である □ どちらともいえない □ あまり重要ではない □ 重要でない □ 無回答

政策5 魅力に満ちた活力あるまちをつくる(魅力・活力)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「商業・工業の振興」(26.7%)となっており、次いで「消費生活の擁護」(24.2%)、「都市近郊農業の振興」(23.0%)となっている。

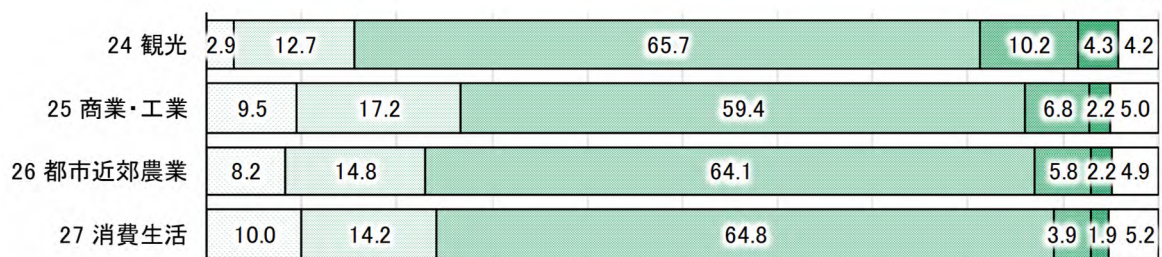
前回との比較では、「観光の振興」を除く施策で「満足・やや満足」の合計値が増加している。

■施策別満足度の時系列推移



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

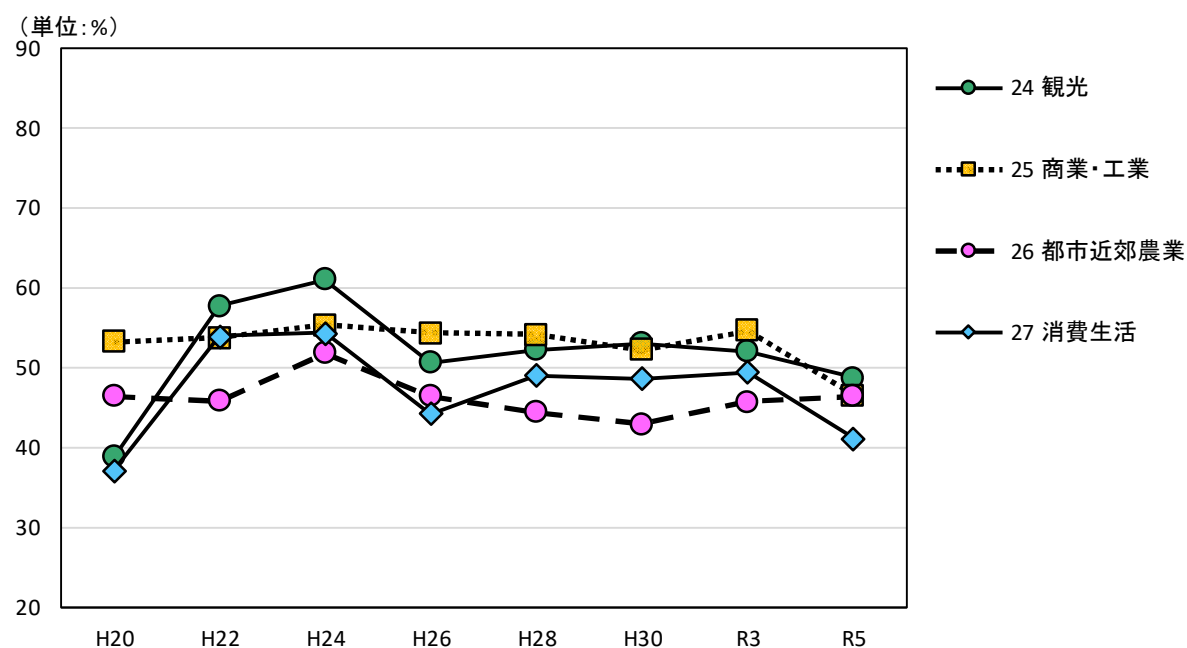


□ 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない □ やや不満である □ 不満である □ 無回答

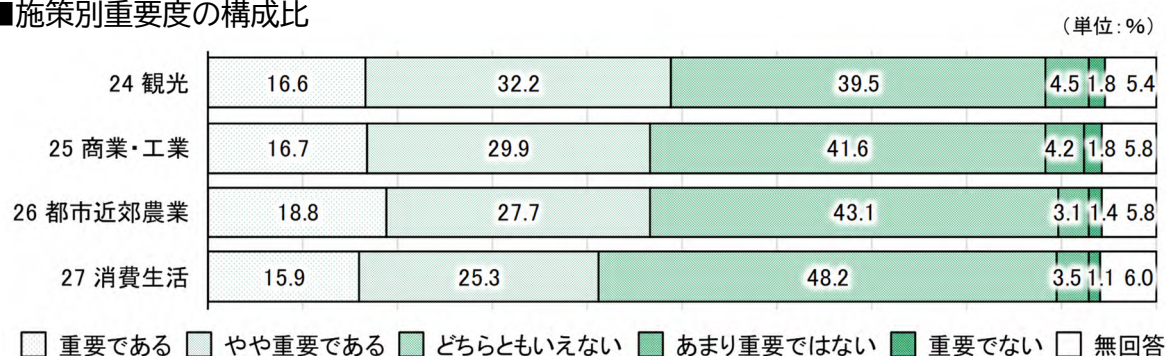
今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「観光の振興」（48.8％）となっており、次いで「商業・工業の振興」（46.6％）、「都市近郊農業の振興」（46.5％）となっている。

前回との比較では、「都市近郊農業の振興」を除く施策で「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度の時系列推移



■施策別重要度の構成比

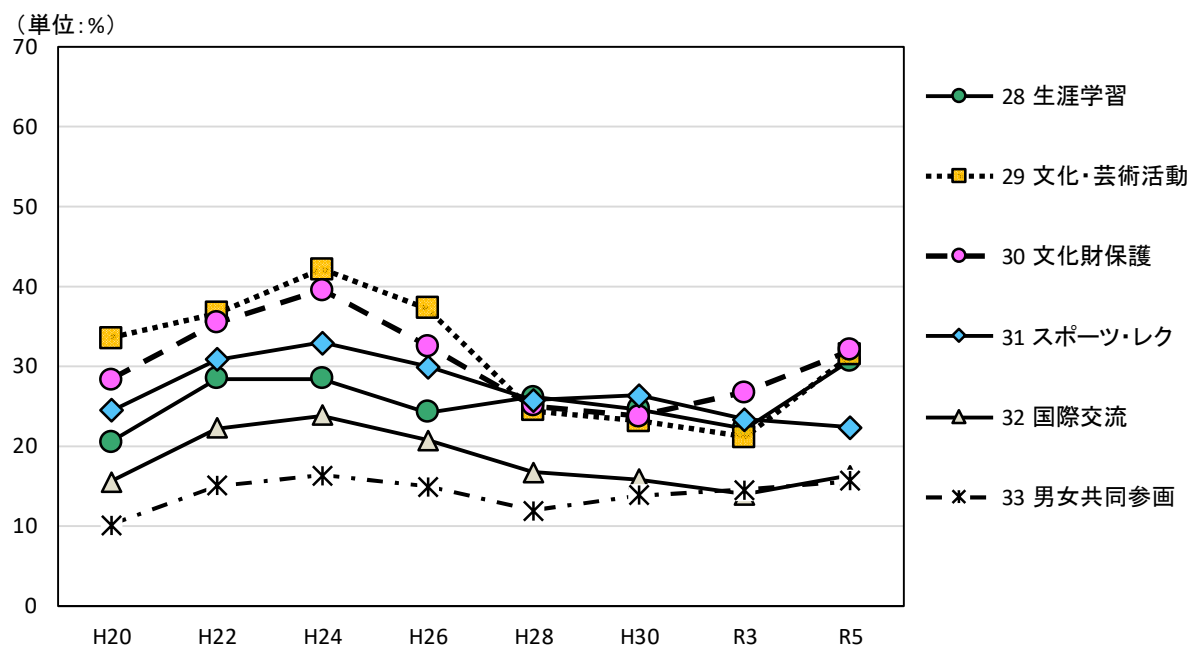


政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる(豊かなところとからだ)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「文化財保護の推進」(32.0%)となっており、次いで「文化・芸術活動の振興」(31.4%)、「生涯学習の充実」(30.7%)となっている。

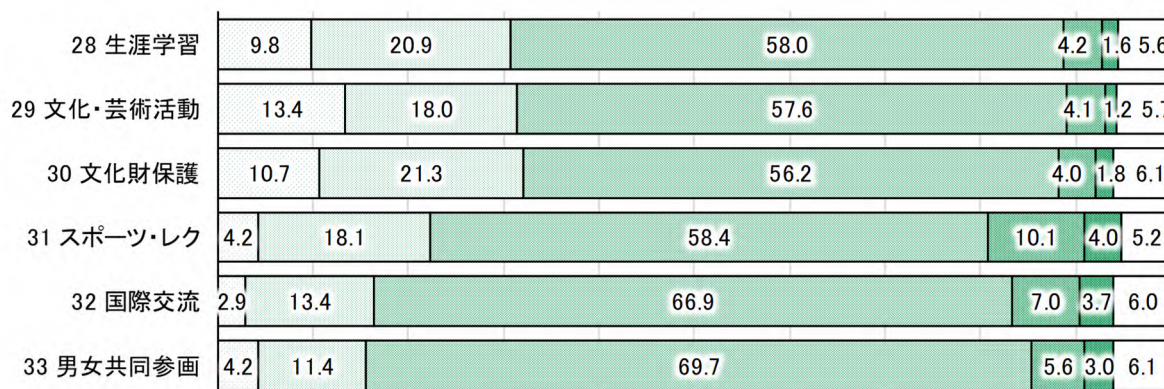
前回との比較では、「スポーツ・レクリエーション活動の振興」を除く施策で「満足・やや満足」の合計値が増加している。

■施策別満足度の時系列推移



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

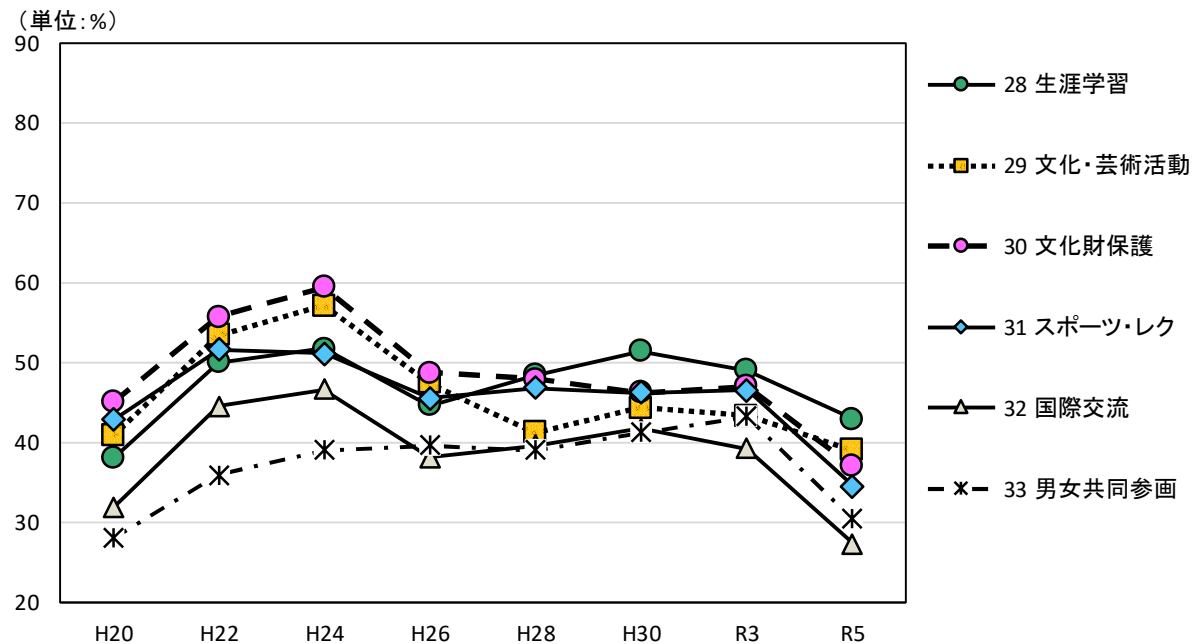


□ 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない □ やや不満である □ 不満である □ 無回答

今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「生涯学習の充実」(42.9%)となっており、次いで「文化・芸術活動の振興」(39.0%)、「文化財保護の推進」(37.0%)となっている。

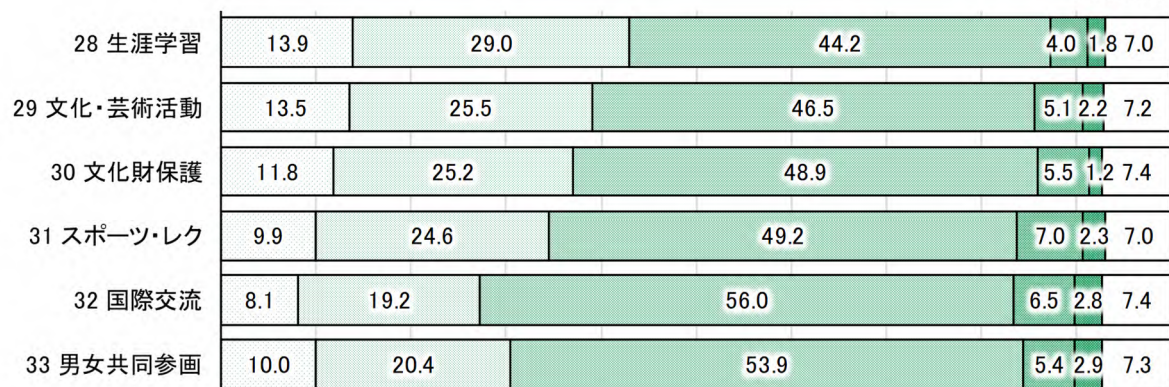
前回との比較では、いずれの施策も「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度の時系列推移



■施策別重要度の構成比

(単位: %)



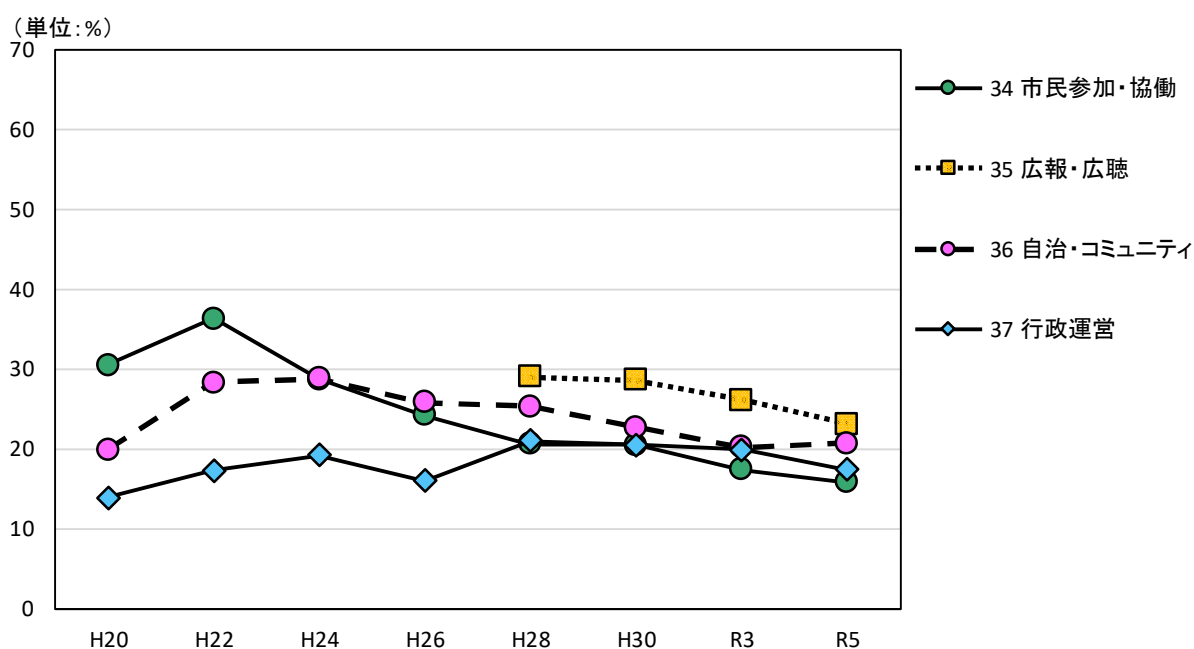
□ 重要である □ やや重要である □ どちらともいえない □ あまり重要ではない □ 重要でない □ 無回答

政策7 つながり大切にまちをつくる(つながり)

今回の調査で「満足・やや満足」の合計値が最も高い施策は「広報・広聴活動の充実」(23.1%)となっており、次いで「自治・コミュニティ活動の振興」(20.7%)、「市民ニーズに応える行政運営の推進」(17.4%)となっている。

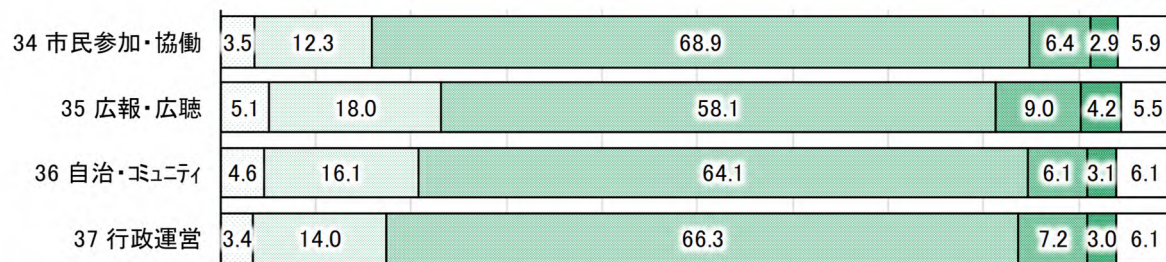
前回との比較では、「自治・コミュニティ活動の振興」を除く施策で「満足・やや満足」の合計値が減少している。

■施策別満足度の時系列推移



■施策別満足度の構成比

(単位: %)

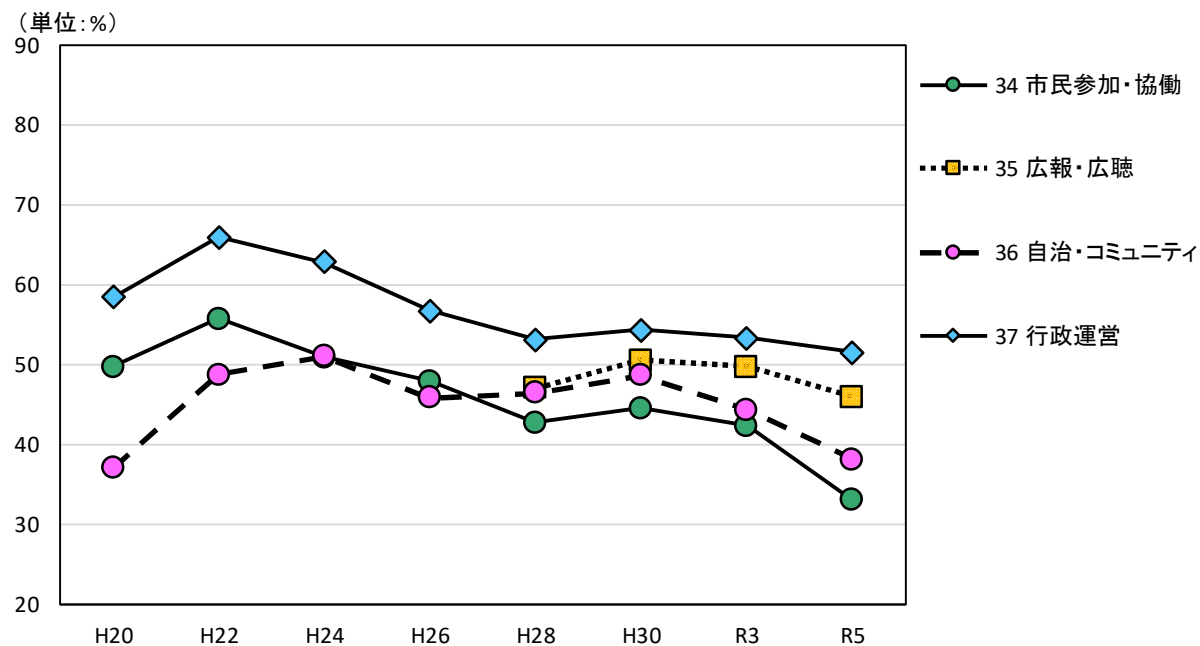


□ 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない □ やや不満である □ 不満である □ 無回答

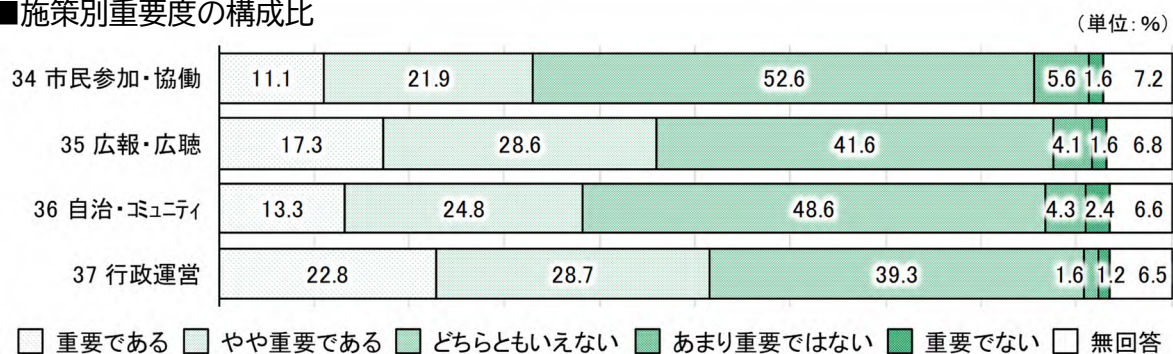
今回の調査で「重要・やや重要」の合計値が最も高い施策は「市民ニーズに応える行政運営の推進」(51.5%)となっており、次いで「広報・広聴活動の充実」(45.9%)、「自治・コミュニティ活動の振興」(38.1%)となっている。

前回との比較では、いずれの施策も「重要・やや重要」の合計値が減少している。

■施策別重要度の時系列推移



■施策別重要度の構成比

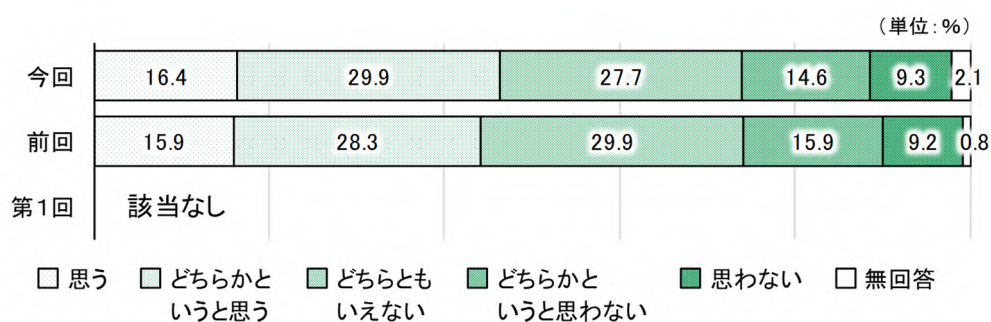


(3)市の施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等

①市民の生活実感等

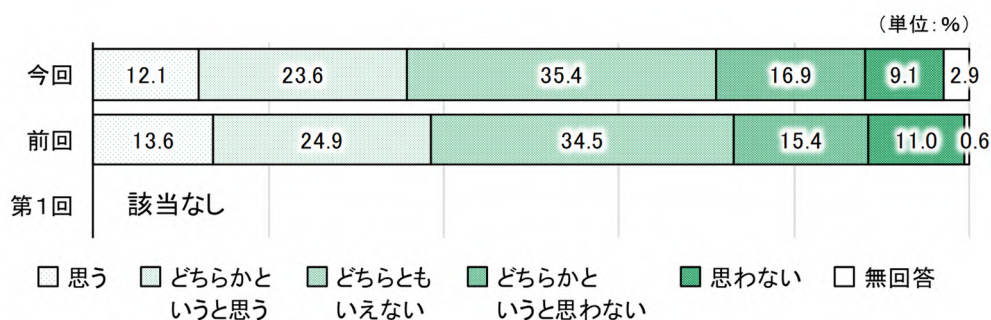
ア. 市内の道路網の充実感

市内の道路網が充実していると思う回答者は16.4%で、「どちらかという思う」(29.9%)と合わせた割合は、46.3%を占めている。



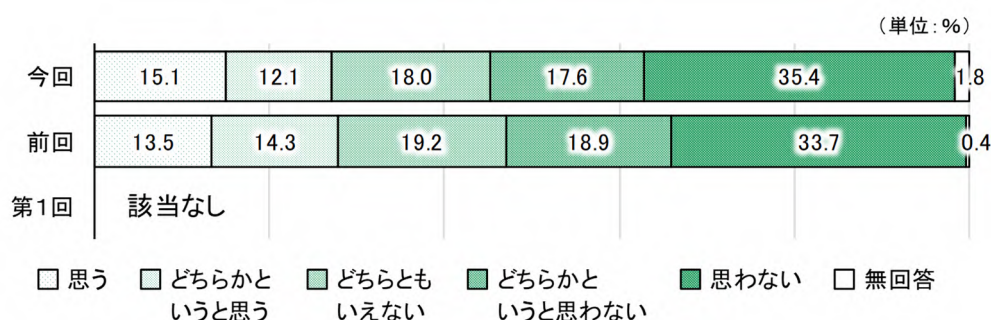
イ. 良好な水辺空間の保全

市内には良好な水辺空間が保たれていると思う回答者は12.1%で、「どちらかという思う」(23.6%)と合わせた割合は、35.7%を占めている。



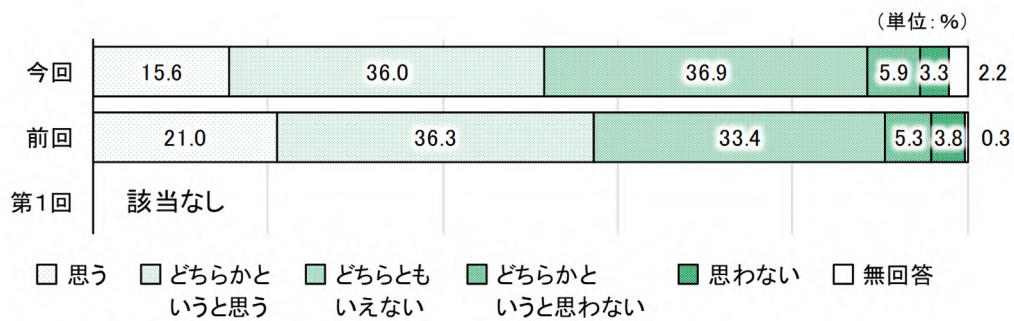
ウ. 大雨による自宅への浸水の心配がない

大雨でも自宅には浸水の心配がないと思う回答者は15.1%で、「どちらかという思う」(12.1%)と合わせた割合は、27.2%を占めている。



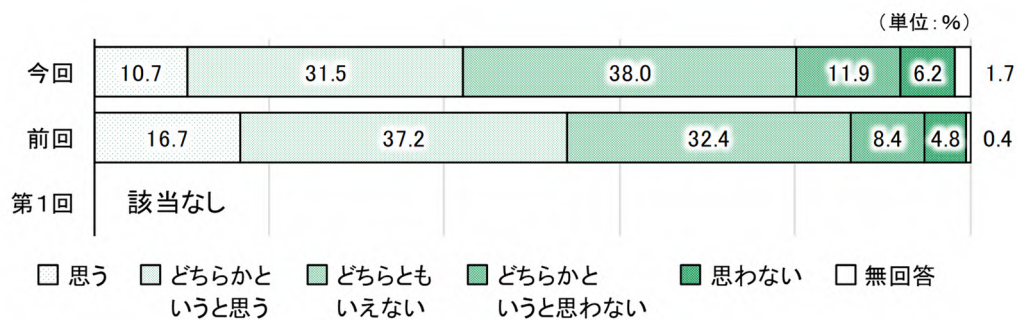
工. 広報清須が読みやすい

「広報清須」の紙面は読みやすいと思う回答者は 15.6%で、「どちらかという思う」(36.0%) と合わせた割合は、51.6%を占めている。



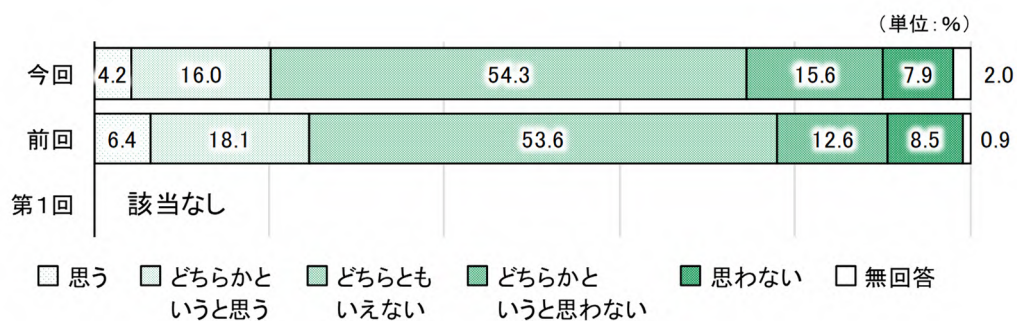
オ. 市から必要な情報が発信されている

市から市民への必要な情報が発信されていると思う回答者は 10.7%で、「どちらかという思う」(31.5%) と合わせた割合は、42.2%を占めている。



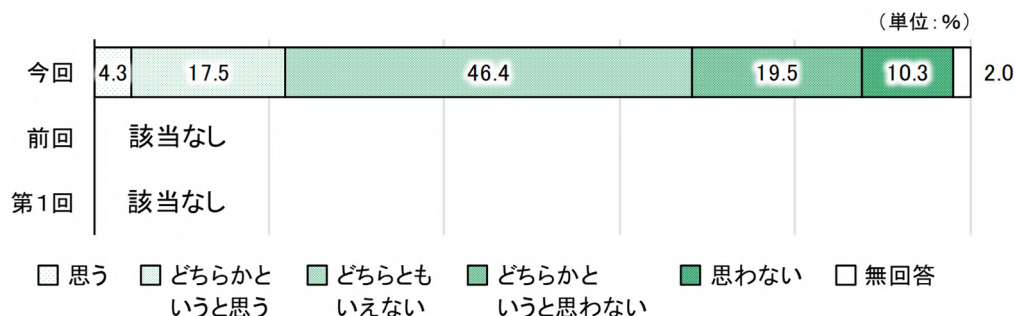
カ. 市の施策が工夫できている

市の施策全般について、事業効果を高める工夫や、効率的な事業実施の工夫ができていると思う回答者は 4.2%で、「どちらかという思う」(16.0%) と合わせた割合は、20.2%を占めている。



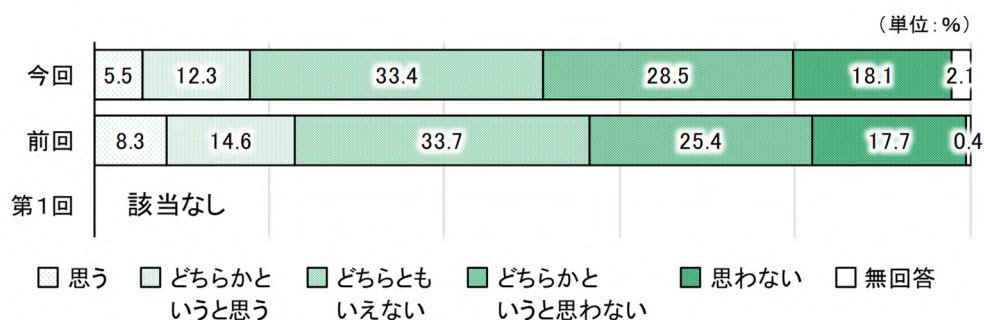
キ. デジタル技術活用による行政サービス向上

市の施策全般について、デジタル技術を活用して市民の利便性の向上・行政サービスの質の向上ができていると思う回答者は4.3%で、「どちらかという思う」(17.5%)と合わせた割合は、21.8%を占めている。



ク. 社会全体で男女が平等である

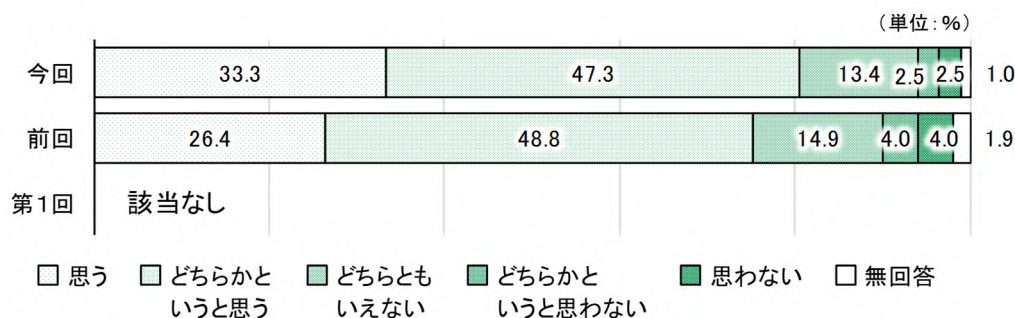
社会全体で男女が平等であると思う回答者は5.5%で、「どちらかという思う」(12.3%)と合わせた割合は、17.8%を占めている。



ケ. 青少年が健全に成長している

18歳以下の家族がいる方で、身近にいる18歳以下の方が健やかに成長していると思う回答者は33.3%で、「どちらかという思う」(47.3%)と合わせた割合は、80.6%を占めている。

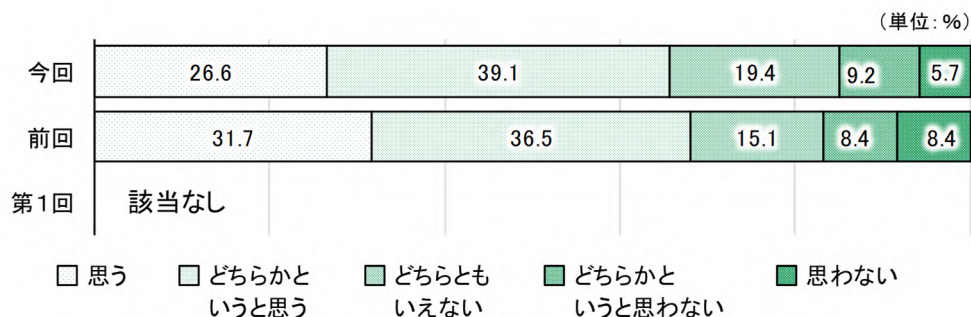
※回答割合は、全回答数(1,467)から18歳以下の家族がいる方の数(201)で算出。



コ. ご自身が元気である

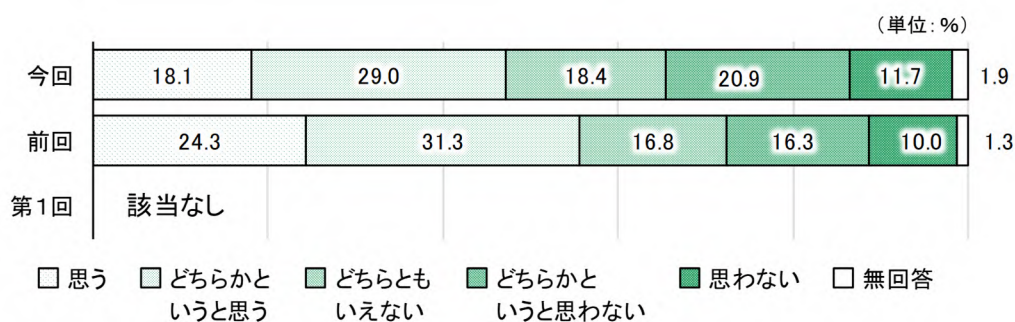
65 歳以上の方で、ご自身が元気であると思う回答者は 26.6%で、「どちらかというと思う」(39.1%) と合わせた割合は、65.7%を占めている。

※回答割合は、全回答数（1,467）から無回答の数（925）を除いた値（542）を分母として算出。



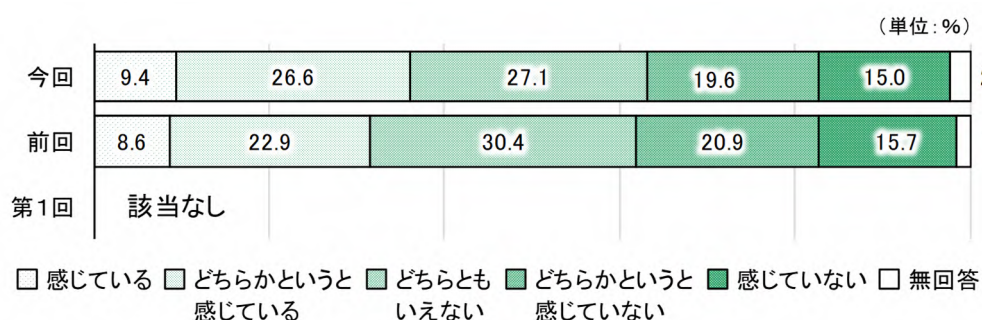
サ. 睡眠による休養が十分である

ふだんから睡眠による休養が十分にとれていると思う回答者は 18.1%で、「どちらかというと思う」(29.0%) と合わせた割合は、47.1%を占めている。



シ. 地域のつながりを感じている

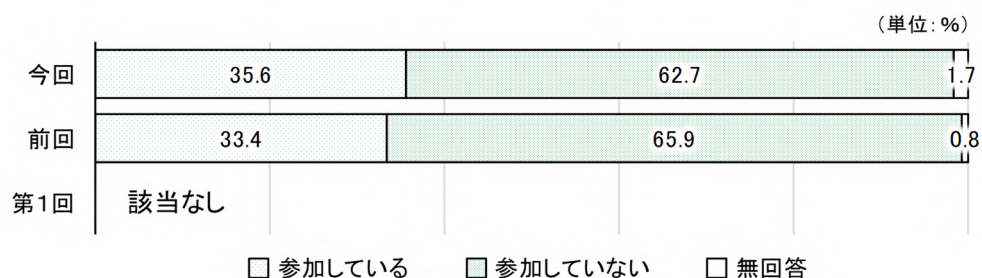
ふだんから地域のつながりを感じている回答者は 9.4%で、「どちらかというと思う」(26.6%) と合わせた割合は、36.0%を占めている。



②ふだんの行動や意識等

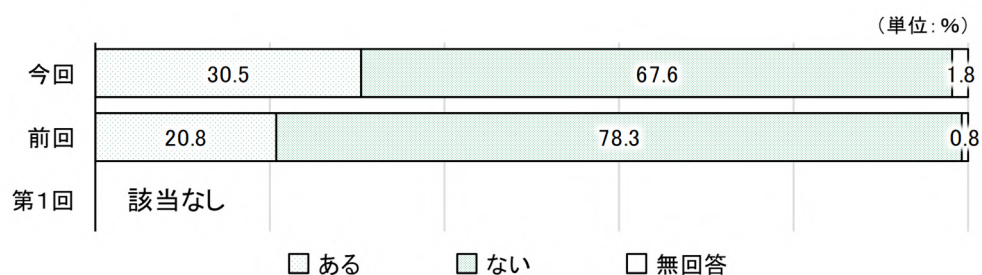
ア. ブロック・自治会活動への参加

住んでいる地域でのブロックや自治会等の活動に参加している回答者は35.6%となっている。



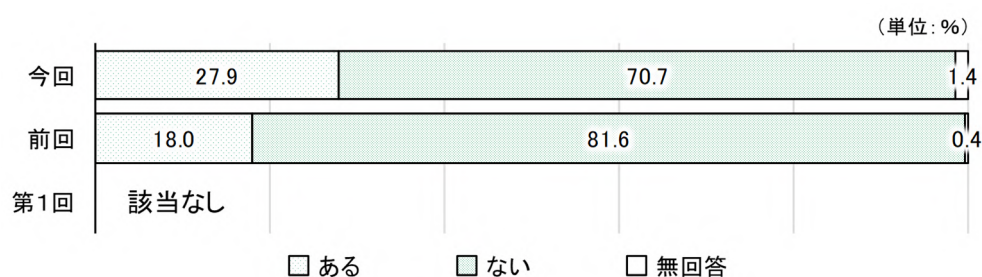
イ. 市の取り組みへの参加

これまでボランティアや会議等を通じて、市の取組みに参加したことがある回答者は30.5%となっている。



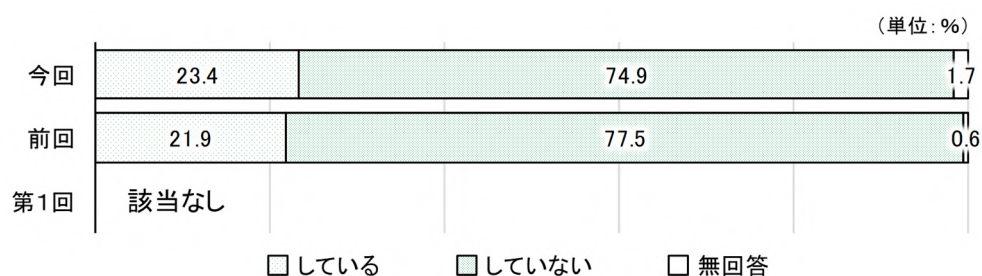
ウ. 「きよす あしがるバス」の利用

「きよす あしがるバス」を利用したことがある回答者は27.9%となっている。



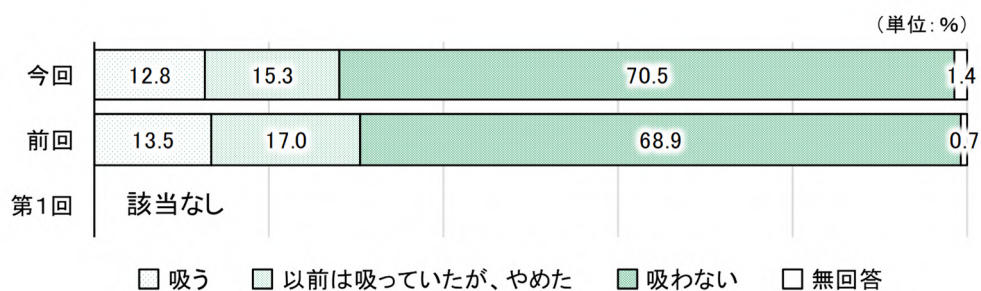
エ. 週1回以上のスポーツ・レク活動

週に1回以上のスポーツ・レクリエーション活動をしている回答者は23.4%となっている。



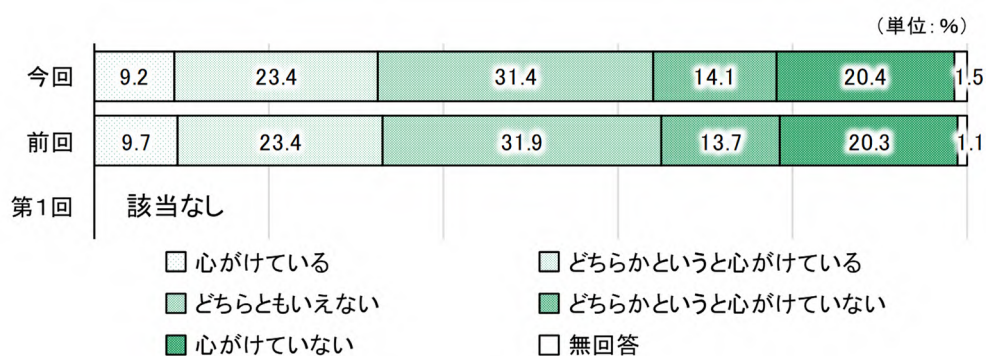
オ. たばこ

たばこを吸う回答者は 12.8% となっている。



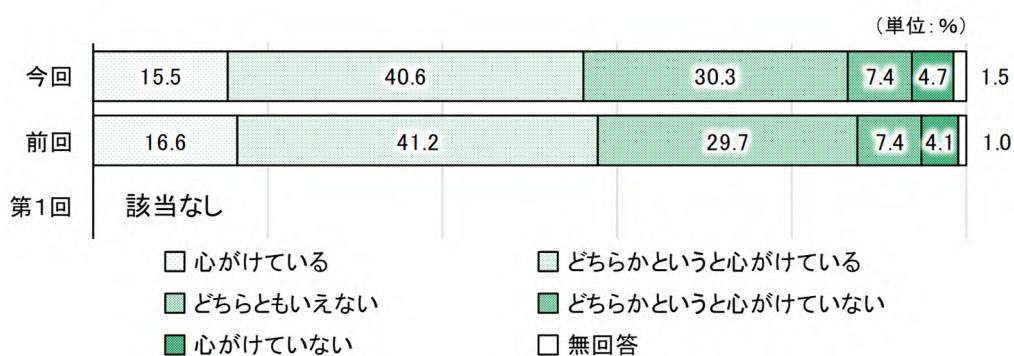
カ. 地産地消

ふだんから地産地消を心がけている回答者は 9.2% で、「どちらかというとき心がけている」(23.4%) と合わせた割合は、32.6% を占めている。



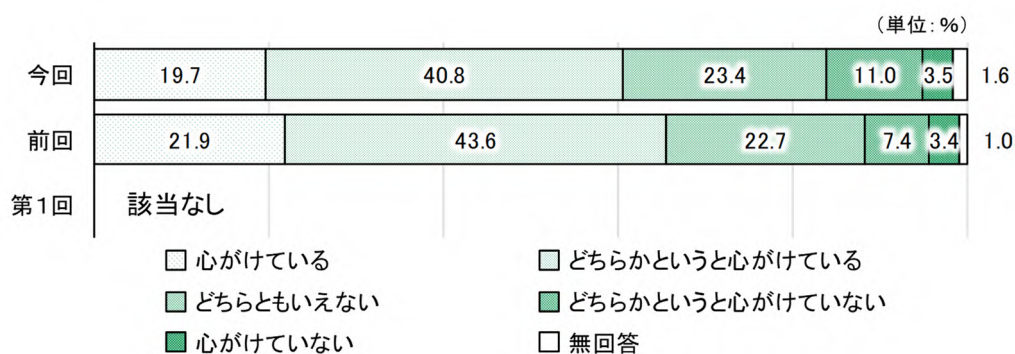
キ. 地球環境への負担軽減

ふだんから地球環境に負担をかけないように心がけている回答者は 15.5% で、「どちらかというとき心がけている」(40.6%) と合わせた割合は、56.1% を占めている。



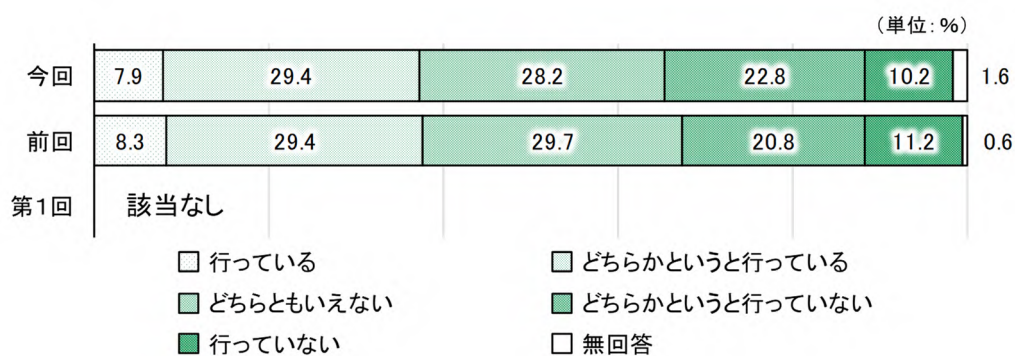
ク. 健康的な生活習慣を心がけている

ふだんから健康的な生活習慣を心がけている回答者は 19.7%で、「どちらかという心がけている」(40.8%)と合わせた割合は、60.5%を占めている。



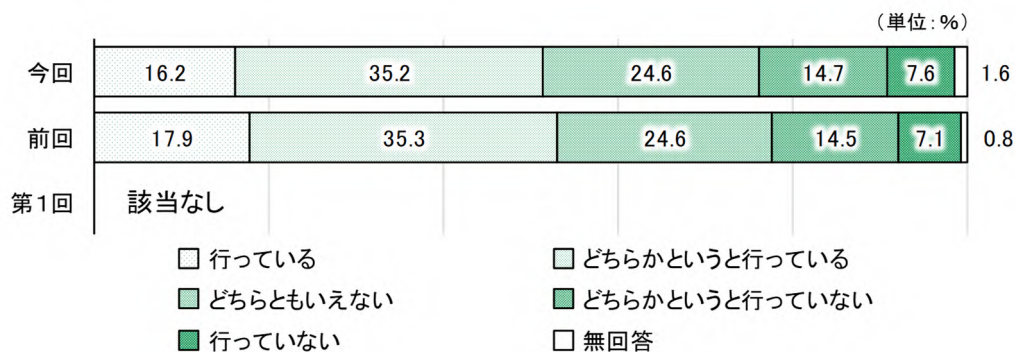
ケ. 日頃から災害への備えを行っている

日頃から災害への備えを行っている回答者は 7.9%で、「どちらかというを行っている」(29.4%)と合わせた割合は、37.3%を占めている。



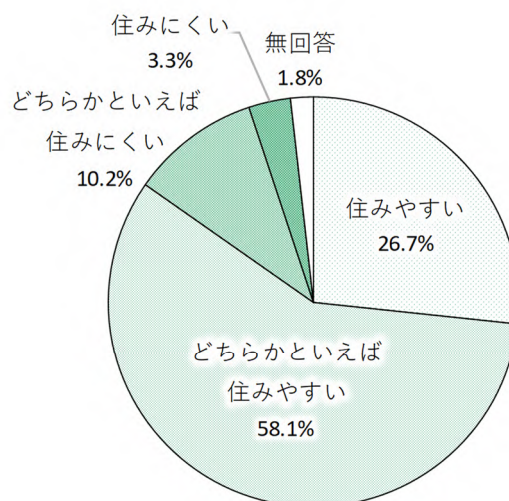
コ. 日頃から住宅侵入への備えを行っている

日頃から住宅侵入盗への備えを行っている回答者は 16.2%で、「どちらかというを行っている」(35.2%)と合わせた割合は、51.4%を占めている。



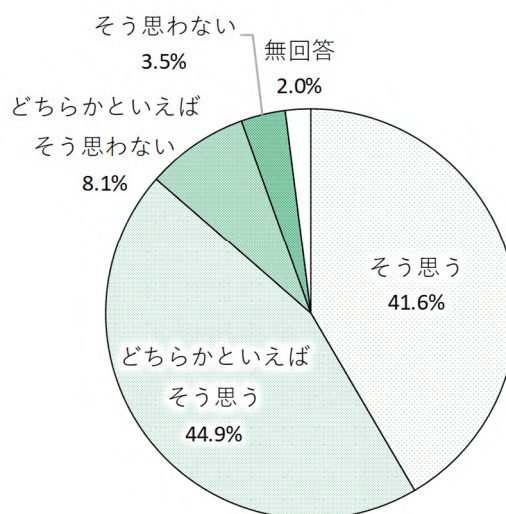
サ. 清須市が住みよいまちだと感じている

清須市が住みやすいまちだと感じている回答者は26.7%で、「どちらかというに住みやすい」(58.1%)と合わせた割合は、84.8%を占めている。



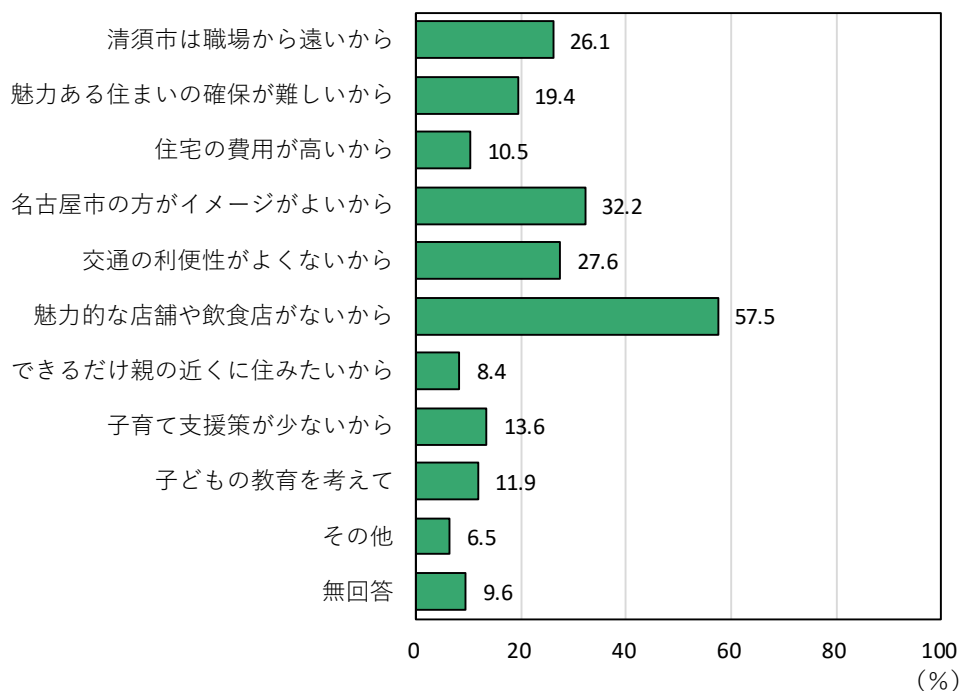
シ. 今後も清須市に住み続けたいと思う

今後も清須市に住み続けたいと思う回答者は41.6%で、「どちらかというと思う」(44.9%)と合わせた割合は、86.5%を占めている。



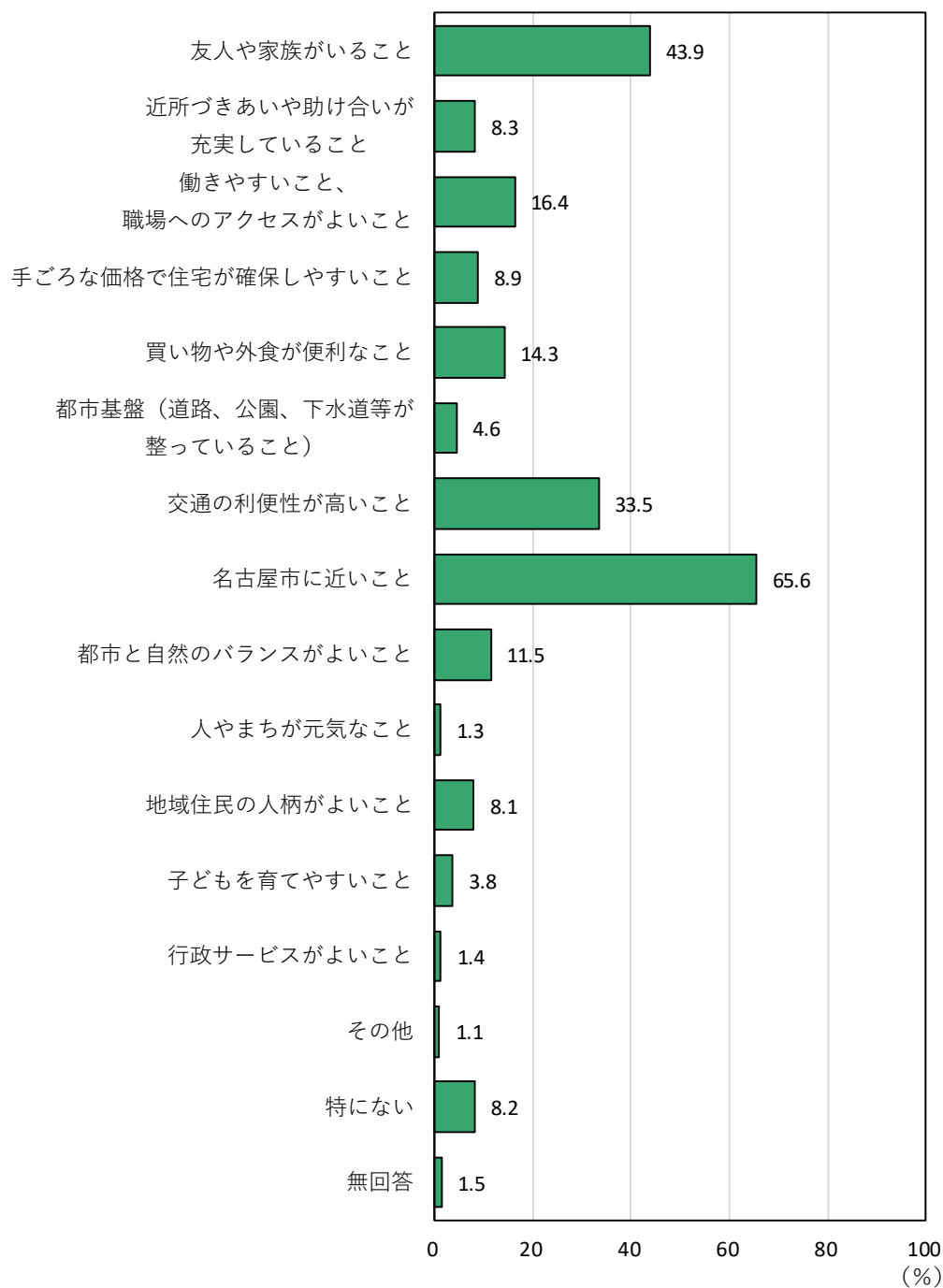
ス. 20歳代後半から30歳代が近隣市に転出する理由として考えられること(複数回答)

20歳代後半から30歳代が近隣市に転出する理由として考えられることは、「魅力的な店舗や飲食店がないから」の割合が57.5%と最も高くなっている。



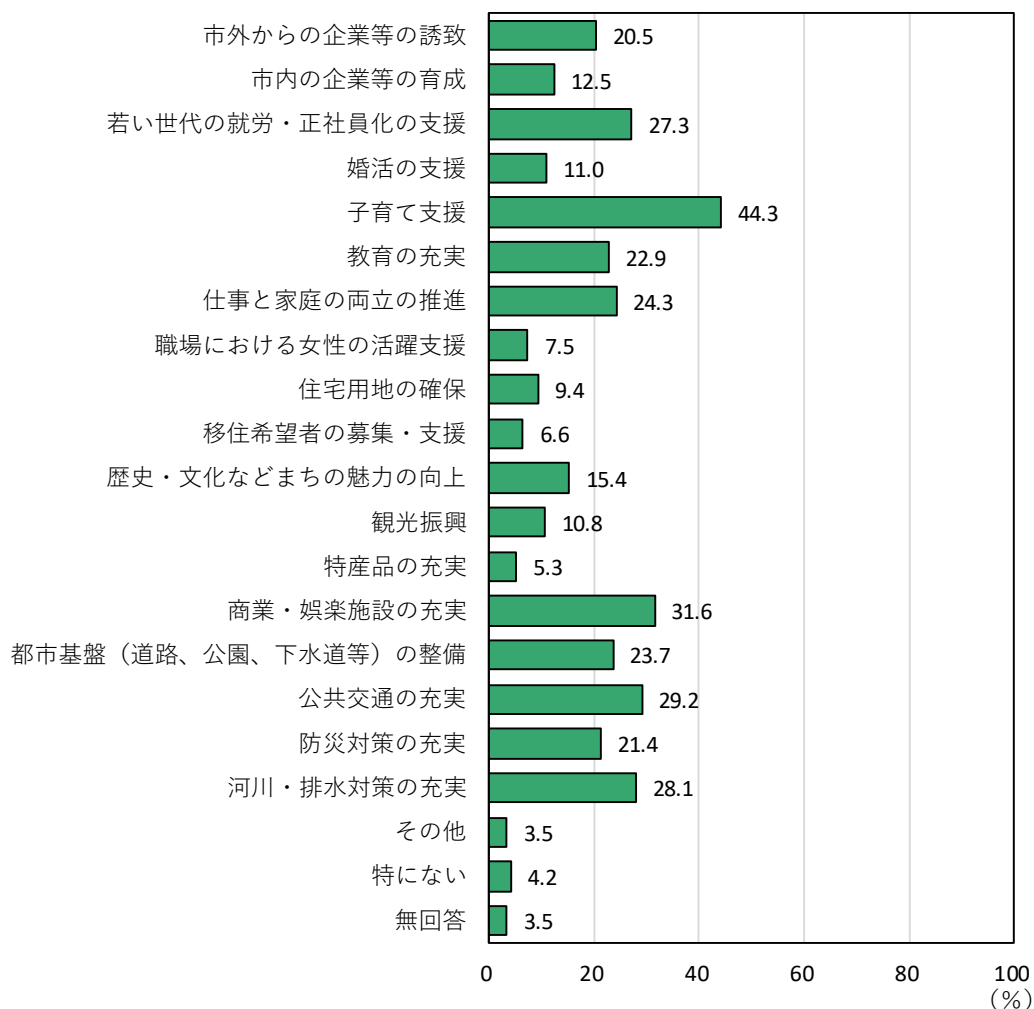
セ. 清須市で暮らすことの魅力(複数回答)

清須市で暮らすことの魅力は、「名古屋市に近いこと」の割合が 65.6%と最も高くなっている。



ソ. 若い世代にとって暮らしやすい清須市をつくるために市が充実させる必要があると思うこと
(複数回答)

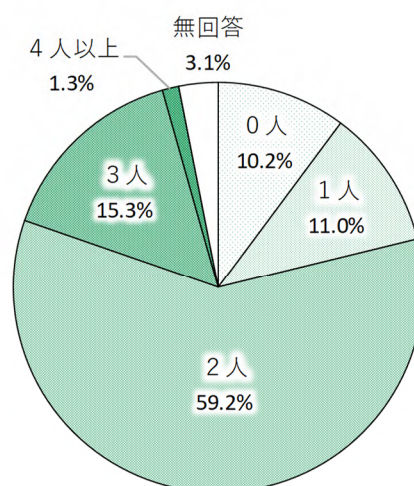
若い世代にとって暮らしやすい清須市をつくるために市が充実させる必要があると思うことは、「子育て支援」の割合が 44.3%と最も高くなっている。



タ. 理想の子どもの人数

理想の子どもの人数は、「2人」の割合が 59.2%と最も高くなっている。

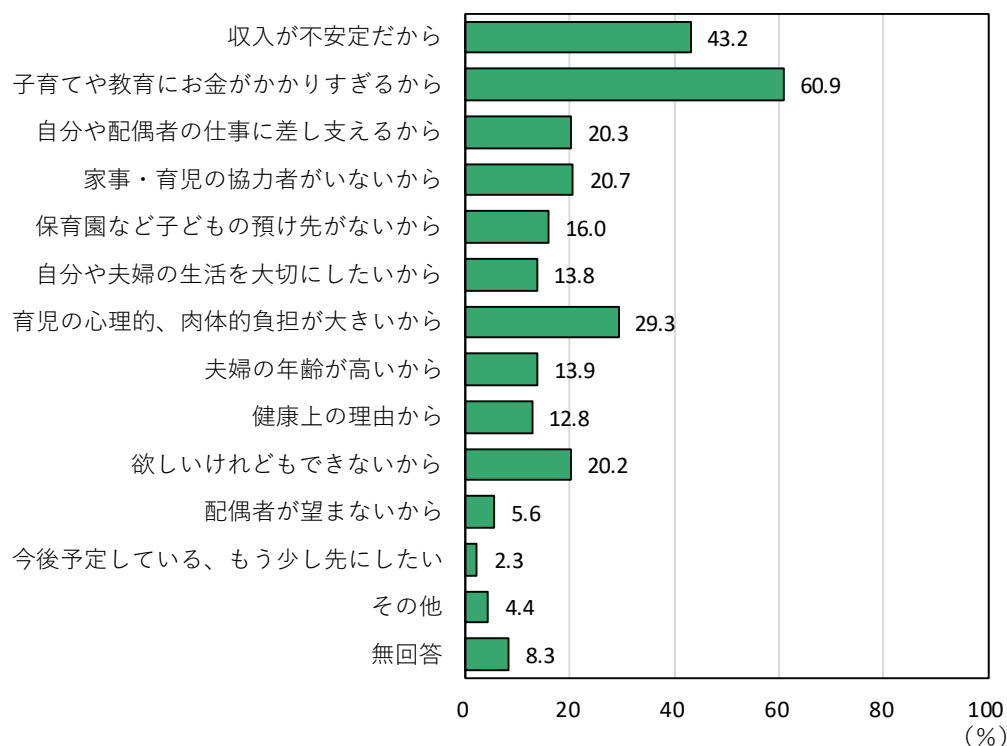
※回答割合は、全回答数（1,467）のうち、20歳代、30歳代及び40歳代の方の数（639）で算出。



チ. 理想の子どもの数を持てなかった場合に考えられる原因(複数回答)

理想のお子さんの数を結果的に持てなかった場合、考えられる原因は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が 60.9%と最も高くなっている。

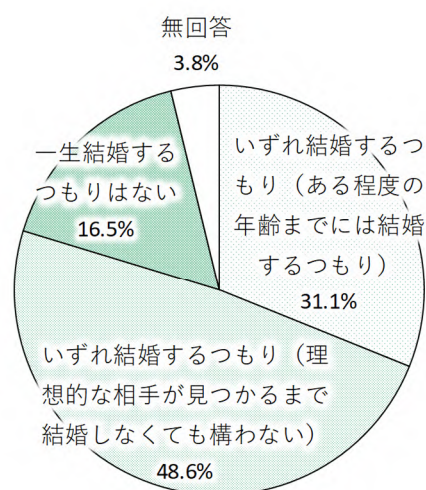
※回答割合は、全回答数（1,467）のうち、20 歳代、30 歳代及び 40 歳代の方の数（639）で算出。



ツ. 結婚についての考え

結婚についての考えは、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまで結婚しなくても構わない）」の割合が 48.6%と最も高くなっている。

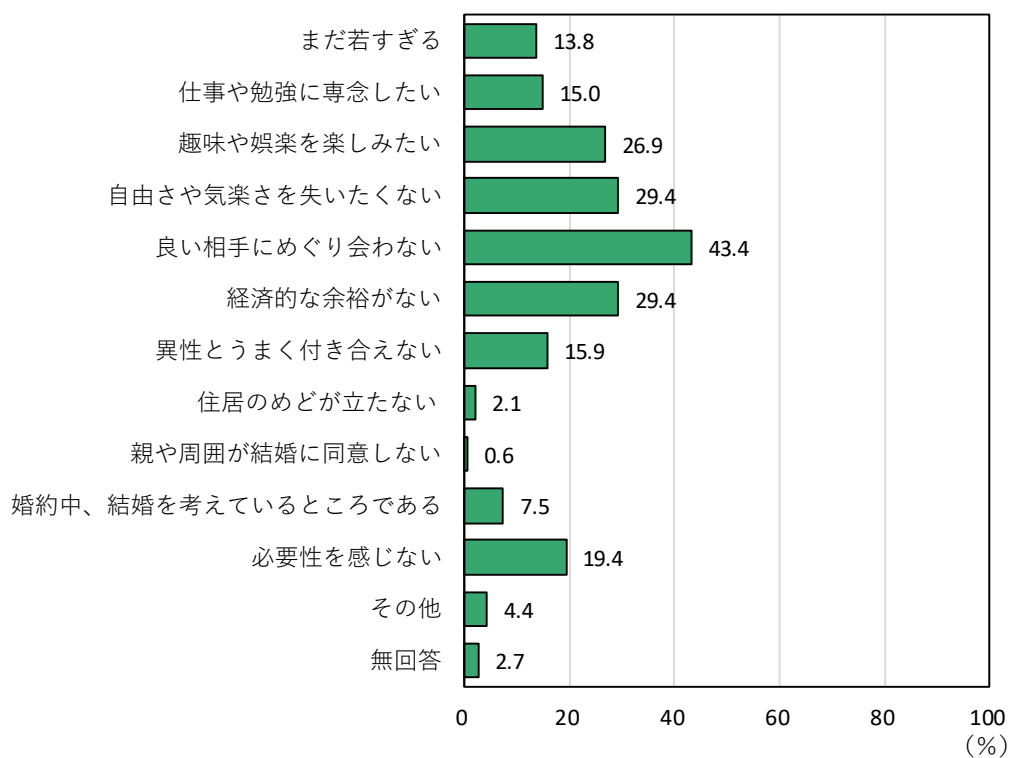
※回答割合は、全回答数（1,467）のうち、20 歳代、30 歳代及び 40 歳代の方で未婚の方の数（479）で算出。



テ. 結婚していない理由(複数回答)

現在、結婚していない理由は、「良い相手にめぐり会わない」の割合が 43.4%と最も高くなっている。

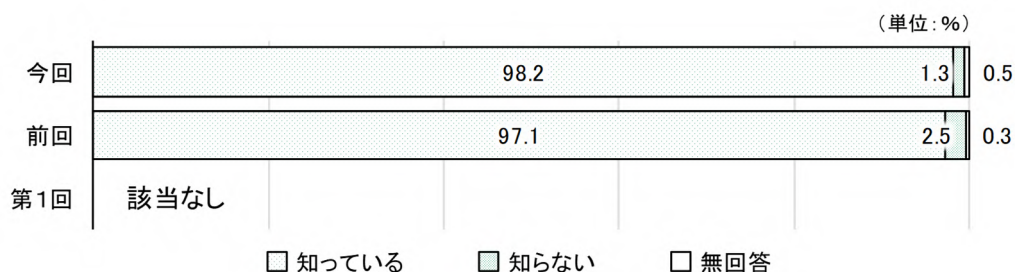
※回答割合は、全回答数（1,467）のうち、20 歳代、30 歳代及び 40 歳代の方で未婚の方の数（479）で算出。



③市民の認知度

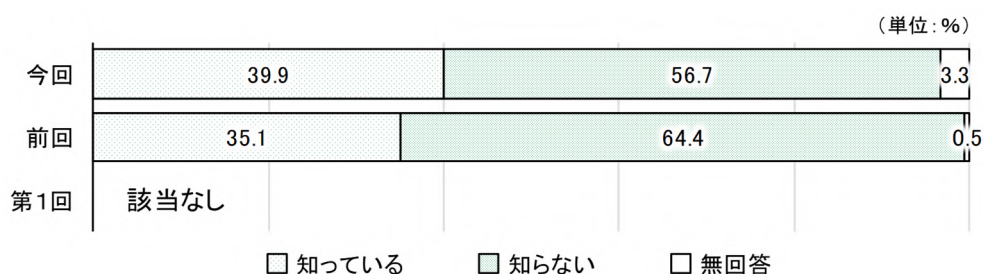
ア. きよす あしがるバス

「きよす あしがるバス」を知っている回答者の割合は、98.2%となっている。



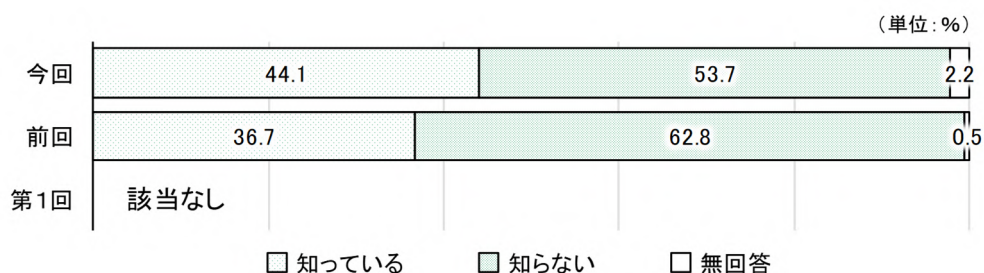
イ. 市の消費生活相談窓口

市の消費生活窓口を知っている回答者の割合は、39.9%となっている。



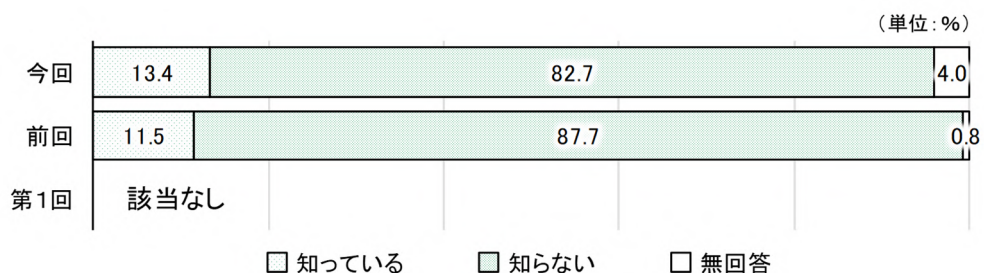
ウ. 民生委員・児童委員の活動

住んでいる地域での民生委員や児童委員の活動を知っている回答者の割合は、44.1%となっている。



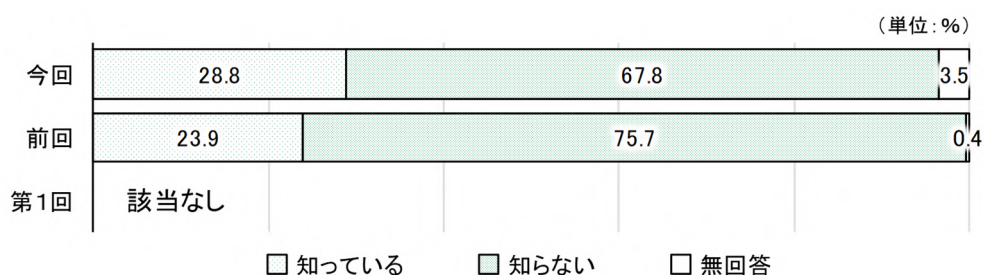
エ. 人権擁護委員の活動

住んでいる地域での人権擁護委員の活動を知っている回答者の割合は、13.4%となっている。



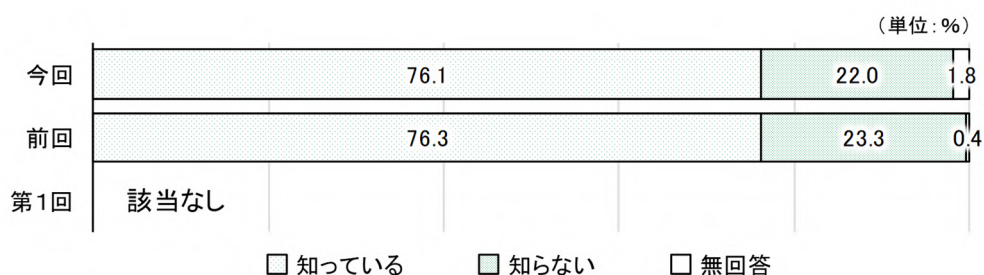
オ. 国際交流の講座・イベント等

市や市国際交流協会が実施する国際交流に関する講座・イベント等を知っている回答者の割合は、28.8%となっている。



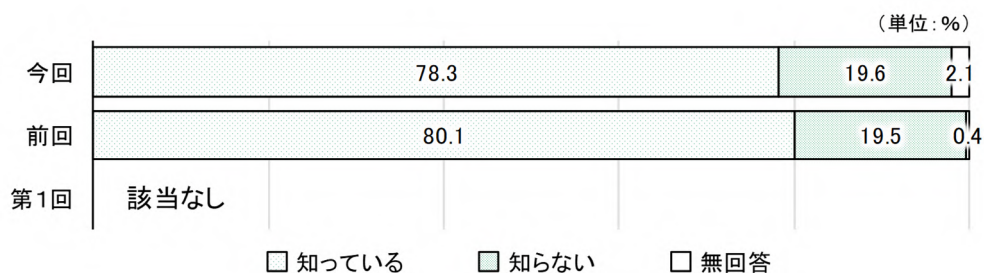
カ. 水害対応ガイドブック

市が作成・配布している水害対応ハンドブックを知っている回答者の割合は、76.1%となっている。



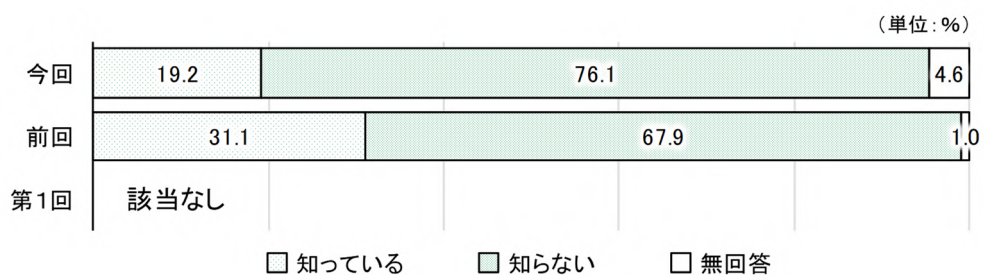
キ. 地震防災ハザードマップ

市が作成・配布している地震防災ハザードマップを知っている回答者の割合は、78.3%となっている。



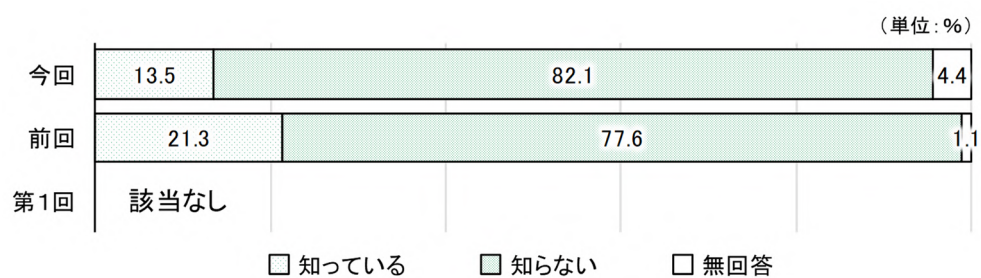
ク. 子育て世代包括支援センター

妊娠・出産期から子育て期にわたる相談や支援をワンストップで行う、市の子育て世代包括支援センターを知っている回答者の割合は、19.2%となっている。



ケ. 子育て情報発信プロジェクト「キヨスマ」

子育てアプリ・Webサイト・ガイドブックによる市の子育て情報発信プロジェクト「キヨスマ」を知っている回答者の割合は、13.5%となっている。



(4)施策に関する満足度と重要度の相関

施策別の満足度及び重要度について、下表のルールに従って得点付けを行い、回答者の平均として数値化した（無回答については除外とした）。

満足度	重要度	得点
満足している	重要である	5点
やや満足している	やや重要である	4点
どちらともいえない	どちらともいえない	3点
やや不満である	あまり重要ではない	2点
不満である	重要ではない	1点

○満足度・重要度平均値の算出方法

「満足している（重要である）」を5点、「やや満足している（やや重要である）」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満である（あまり重要ではない）」を2点、「不満である（重要ではない）」を1点として、各選択項目の点数に回答数（割合）を掛け、その合計を回答実数で割って求めている。

数値化した満足度得点及び重要度得点の平均値は、次ページの表のとおりである。

■満足度・重要度の得点表(平均値、順位、増減)

政策	施策	満足度							重要度						
		今回の結果		過去の調査結果との比較			参考		今回の結果		過去の調査結果との比較			参考	
		平均値	順位	対前回比	対第1回比	増減	前回	第1回	平均値	順位	対前回比	対第1回比	増減	前回	第1回
安全・安心	1 治水対策の推進	3.07	30	-0.06	-0.07	↓	3.13	3.14	4.10	4	-0.52	-0.40	↓	4.62	4.50
	2 防災・減災対策の推進	3.06	33	-0.10	-0.05	↓	3.16	3.11	4.24	2	-0.25	-0.09	↓	4.48	4.33
	3 防犯・交通安全対策の推進	2.95	37	-0.19	0.00	↗	3.14	2.95	4.28	1	-0.14	-0.19	↓	4.42	4.46
	4 消防・救急医療体制の充実	3.26	17	-0.10	-0.05	↓	3.36	3.31	4.23	3	-0.19	0.04	↗	4.42	4.19
子育て	5 母子保健の充実	3.48	3	0.14	—	↘	3.34	—	3.94	8	-0.31	—	↓	4.25	—
	6 子育て支援の充実	3.49	2	0.19	0.47	↑	3.30	3.02	3.99	7	-0.33	-0.09	↓	4.32	4.08
	7 学校教育の充実	3.50	1	0.25	0.34	↑	3.25	3.16	4.06	6	-0.27	0.23	↗	4.33	3.83
	8 ひとり親家庭への支援の充実	3.42	4	0.25	—	↘	3.17	—	3.90	10	-0.19	—	↓	4.09	—
	9 青少年健全育成の推進	3.07	32	-0.09	-0.07	↓	3.16	3.13	3.66	19	-0.38	0.05	↗	4.04	3.61
健やか	10 健康づくりの推進	3.17	19	-0.15	-0.03	↓	3.32	3.20	3.64	20	-0.45	-0.40	↓	4.09	4.04
	11 地域福祉の充実	3.10	24	-0.10	-0.09	↓	3.19	3.19	3.51	29	-0.49	-0.18	↓	4.00	3.69
	12 高齢者福祉の充実	3.09	25	-0.14	0.06	↗	3.23	3.03	3.77	14	-0.37	-0.30	↓	4.13	4.07
	13 障害者(児)福祉の充実	3.08	28	-0.09	0.03	↗	3.17	3.05	3.67	18	-0.44	-0.24	↓	4.12	3.91
	14 医療保険・年金制度の適正運営	3.34	10	0.24	0.43	↑	3.10	2.91	4.07	5	-0.27	0.00	↗	4.34	4.07
便利・快適	15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施	3.36	8	0.23	—	↘	3.12	—	3.78	13	-0.13	—	↓	3.91	—
	16 市街地整備の推進	3.31	12	0.25	0.50	↑	3.06	2.81	3.86	11	-0.26	-0.03	↓	4.11	3.89
	17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進	3.29	13	0.22	0.36	↑	3.07	2.93	3.94	9	-0.31	0.07	↗	4.25	3.87
	18 上水道の安定供給・下水道の充実	3.36	7	0.17	0.34	↑	3.19	3.02	3.79	12	-0.41	-0.40	↓	4.21	4.19
	19 水辺空間と緑地の充実	3.15	20	-0.01	-0.05	↓	3.17	3.20	3.56	26	-0.34	-0.32	↓	3.90	3.88
	20 公共交通の充実	3.05	35	-0.02	-0.12	↓	3.07	3.17	3.69	17	-0.28	0.25	↗	3.97	3.44
	21 ごみの減量化と資源化の推進	3.27	15	-0.07	-0.05	↓	3.34	3.32	3.75	15	-0.36	-0.52	↓	4.11	4.27
	22 環境保全の推進	3.10	23	-0.15	-0.02	↓	3.26	3.12	3.60	24	-0.41	-0.26	↓	4.01	3.86
	23 畜産施設の整備・運営	3.32	11	-0.15	0.41	↗	3.47	2.91	3.48	30	-0.21	-0.06	↓	3.69	3.54
魅力・活力	24 観光の振興	3.00	36	0.13	0.00	↘	2.87	3.00	3.60	22	-0.08	0.17	↗	3.69	3.43
	25 商業・工業の振興	3.27	16	0.32	0.46	↑	2.94	2.81	3.58	25	-0.21	-0.15	↓	3.79	3.73
	26 都市近郊農業の振興	3.22	18	0.22	0.29	↑	3.00	2.93	3.63	21	-0.01	0.01	↗	3.64	3.62
	27 消費生活の擁護	3.28	14	0.25	0.24	↑	3.03	3.04	3.55	27	-0.16	0.09	↗	3.70	3.46
豊かなところから	28 生涯学習の充実	3.35	9	0.17	0.20	↑	3.19	3.15	3.52	28	-0.16	0.08	↗	3.68	3.44
	29 文化・芸術活動の振興	3.41	5	0.25	0.09	↑	3.16	3.32	3.46	31	-0.10	0.02	↗	3.56	3.44
	30 文化財保護の推進	3.38	6	0.11	0.08	↑	3.26	3.30	3.43	33	-0.22	-0.14	↓	3.65	3.57
	31 スポーツ・レクリエーション活動の振興	3.09	26	-0.09	-0.03	↓	3.18	3.12	3.34	35	-0.27	-0.17	↓	3.61	3.51
	32 国際交流の振興	3.05	34	-0.02	-0.04	↓	3.07	3.09	3.24	37	-0.23	-0.03	↓	3.47	3.27
	33 男女共同参画社会の推進	3.09	26	0.03	0.04	↑	3.06	3.05	3.31	36	-0.28	0.03	↗	3.59	3.28
つながり	34 市民参加・市民協働の推進	3.07	31	-0.04	-0.16	↓	3.12	3.23	3.38	34	-0.16	-0.25	↓	3.54	3.63
	35 広報・広聴活動の充実	3.11	22	-0.09	—	↓	3.21	—	3.60	23	-0.08	—	↓	3.68	—
	36 自治・コミュニティ活動の振興	3.14	21	0.02	0.00	↘	3.12	3.14	3.45	32	-0.10	0.02	↗	3.55	3.43
	37 市民ニーズに応える行政運営の推進	3.08	29	-0.03	0.22	↗	3.11	2.86	3.75	16	-0.08	-0.19	↓	3.83	3.94
平均値の計／施策項目数		3.21	—	0.05	0.13	↑	3.16	3.08	3.71	—	-0.26	-0.08	↓	3.97	3.79

※順位は、今回の平均値の順位を示す。

※増減の凡例

↑：前回よりも上回っていて、かつ、第1回よりも上回っている。

↗：前回よりも下回っているが、第1回よりも上回っている。

↘：前回よりも上回っているが、第1回よりも下回っている。

↓：前回よりも下回っていて、かつ、第1回よりも下回っている。

また、「学校教育の充実」「子育て支援の充実」「母子保健の充実」などの 11 施策が、重要度と満足度がともに高くなっている。そのうち、満足度が最も高かったのは「学校教育の充実」という結果となっている。

(5)満足度と重要度の増減率に関する相関

■満足度・重要度の得点表(平均値、順位、増減)《再掲》

政策	施策	満足度							重要度						
		今回の結果		過去の調査結果との比較			参考(平均値)		今回の結果		過去の調査結果との比較			参考(平均値)	
		平均値	順位	対前回比	対第1回比	増減	前回	第1回	平均値	順位	対前回比	対第1回比	増減	前回	第1回
1 安全・安心	1 治水対策の推進	3.07	30	-0.06	-0.07	↓	3.13	3.14	4.10	4	-0.52	-0.40	↓	4.62	4.50
	2 防災・減災対策の推進	3.06	33	-0.10	-0.05	↓	3.16	3.11	4.24	2	-0.25	-0.09	↓	4.48	4.33
	3 防犯・交通安全対策の推進	2.95	37	-0.19	0.00	↗	3.14	2.95	4.28	1	-0.14	-0.19	↓	4.42	4.46
	4 消防・救急医療体制の充実	3.26	17	-0.10	-0.05	↓	3.36	3.31	4.23	3	-0.19	0.04	↗	4.42	4.19
2 子育て	5 母子保健の充実	3.48	3	0.14	—	↘	3.34	—	3.94	8	-0.31	—	↓	4.25	—
	6 子育て支援の充実	3.49	2	0.19	0.47	↑	3.30	3.02	3.99	7	-0.33	-0.09	↓	4.32	4.08
	7 学校教育の充実	3.50	1	0.25	0.34	↑	3.25	3.16	4.06	6	-0.27	0.23	↗	4.33	3.83
	8 ひとり親家庭への支援の充実	3.42	4	0.25	—	↘	3.17	—	3.90	10	-0.19	—	↓	4.09	—
	9 青少年健全育成の推進	3.07	32	-0.09	-0.07	↓	3.16	3.13	3.66	19	-0.38	0.05	↗	4.04	3.61
3 健やか	10 健康づくりの推進	3.17	19	-0.15	-0.03	↓	3.32	3.20	3.64	20	-0.45	-0.40	↓	4.09	4.04
	11 地域福祉の充実	3.10	24	-0.10	-0.09	↓	3.19	3.19	3.51	29	-0.49	-0.18	↓	4.00	3.69
	12 高齢者福祉の充実	3.09	25	-0.14	0.06	↗	3.23	3.03	3.77	14	-0.37	-0.30	↓	4.13	4.07
	13 障害者(児)福祉の充実	3.08	28	-0.09	0.03	↗	3.17	3.05	3.67	18	-0.44	-0.24	↓	4.12	3.91
	14 医療保険・年金制度の適正運営	3.34	10	0.24	0.43	↑	3.10	2.91	4.07	5	-0.27	0.00	↗	4.34	4.07
	15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施	3.36	8	0.23	—	↘	3.12	—	3.78	13	-0.13	—	↓	3.91	—
4 便利・快適	16 市街地整備の推進	3.31	12	0.25	0.50	↑	3.06	2.81	3.86	11	-0.26	-0.03	↓	4.11	3.89
	17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進	3.29	13	0.22	0.36	↑	3.07	2.93	3.94	9	-0.31	0.07	↗	4.25	3.87
	18 上水道の安定供給・下水道の充実	3.36	7	0.17	0.34	↑	3.19	3.02	3.79	12	-0.41	-0.40	↓	4.21	4.19
	19 水辺空間と緑地の充実	3.15	20	-0.01	-0.05	↓	3.17	3.20	3.56	26	-0.34	-0.32	↓	3.90	3.88
	20 公共交通の充実	3.05	35	-0.02	-0.12	↓	3.07	3.17	3.69	17	-0.28	0.25	↗	3.97	3.44
	21 ごみの減量化と資源化の推進	3.27	15	-0.07	-0.05	↓	3.34	3.32	3.75	15	-0.36	-0.52	↓	4.11	4.27
	22 環境保全の推進	3.10	23	-0.15	-0.02	↓	3.26	3.12	3.60	24	-0.41	-0.26	↓	4.01	3.86
	23 斎苑施設の整備	3.32	11	-0.15	0.41	↗	3.47	2.91	3.48	30	-0.21	-0.06	↓	3.69	3.54
5 魅力・活力	24 観光の振興	3.00	36	0.13	0.00	↘	2.87	3.00	3.60	22	-0.08	0.17	↗	3.69	3.43
	25 商業・工業の振興	3.27	16	0.32	0.46	↑	2.94	2.81	3.58	25	-0.21	-0.15	↓	3.79	3.73
	26 都市近郊農業の振興	3.22	18	0.22	0.29	↑	3.00	2.93	3.63	21	-0.01	0.01	↗	3.64	3.62
	27 消費生活の擁護	3.28	14	0.25	0.24	↑	3.03	3.04	3.55	27	-0.16	0.09	↗	3.70	3.46
6 豊かなところからだ	28 生涯学習の充実	3.35	9	0.17	0.20	↑	3.19	3.15	3.52	28	-0.16	0.08	↗	3.68	3.44
	29 文化・芸術活動の振興	3.41	5	0.25	0.09	↑	3.16	3.32	3.46	31	-0.10	0.02	↗	3.56	3.44
	30 文化財保護の推進	3.38	6	0.11	0.08	↑	3.26	3.30	3.43	33	-0.22	-0.14	↓	3.65	3.57
	31 スポーツ・レクリエーション活動の振興	3.09	26	-0.09	-0.03	↓	3.18	3.12	3.34	35	-0.27	-0.17	↓	3.61	3.51
	32 国際交流の振興	3.05	34	-0.02	-0.04	↓	3.07	3.09	3.24	37	-0.23	-0.03	↓	3.47	3.27
	33 男女共同参画社会の推進	3.09	26	0.03	0.04	↑	3.06	3.05	3.31	36	-0.28	0.03	↗	3.59	3.28
7 つながり	34 市民参加・市民協働の推進	3.07	31	-0.04	-0.16	↓	3.12	3.23	3.38	34	-0.16	-0.25	↓	3.54	3.63
	35 広報・広聴活動の充実	3.11	22	-0.09	—	↓	3.21	—	3.60	23	-0.08	—	↓	3.68	—
	36 自治・コミュニティ活動の振興	3.14	21	0.02	0.00	↘	3.12	3.14	3.45	32	-0.10	0.02	↗	3.55	3.43
	37 市民ニーズに応える行政運営の推進	3.08	29	-0.03	0.22	↗	3.11	2.86	3.75	16	-0.08	-0.19	↓	3.83	3.94
平均値の計／施策項目数		3.21	—	0.05	0.13	↑	3.16	3.08	3.71	—	-0.26	-0.08	↓	3.97	3.79

※順位は、今回の平均値の順位を示す。

※増減の凡例

↑：前回よりも上回っていて、かつ、第1回よりも上回っている。

↗：前回よりも下回っているが、第1回よりも上回っている。

↘：前回よりも上回っているが、第1回よりも下回っている。

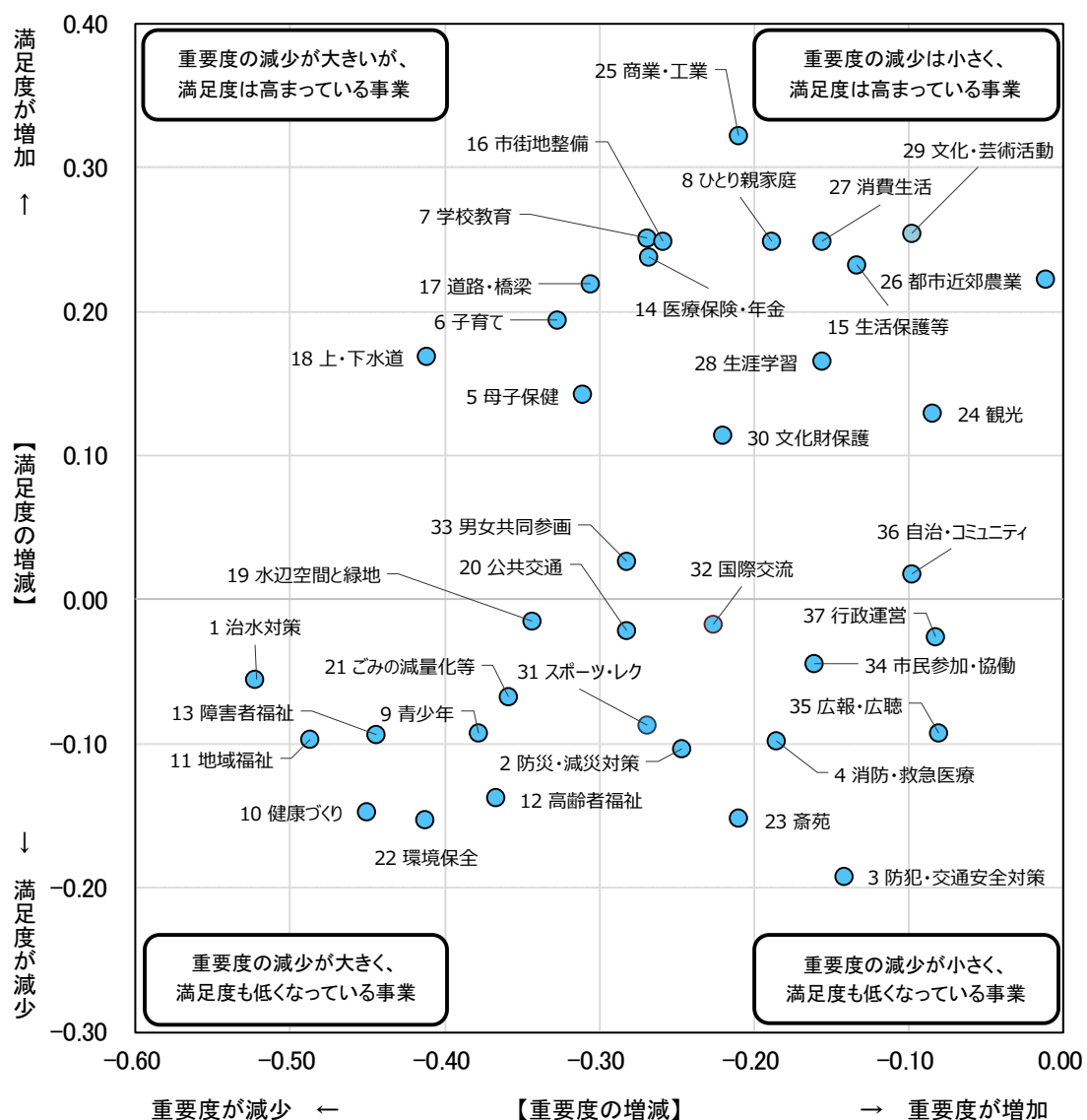
↓：前回よりも下回っていて、かつ、第1回よりも下回っている。

施策別の満足度及び重要度について、前回調査との比較を行い、各施策の増減について満足度を縦軸、重要度得点を横軸として位置を表したものが下の相関図である。

今回の調査結果としては、すべての施策において重要度が低下しているが、重要度の減少が比較的小さく満足度が高まっている施策としては「26 都市近郊農業の振興」「25 商業・工業の振興」「27 消費生活の擁護」「24 観光の振興」などの産業関係や「29 文化・芸術活動の振興」となっている。

一方で、重要度の減少が大きく、かつ満足度の減少も大きい施策は「10 健康づくりの推進」「13 障害者福祉の推進」「11 地域福祉の充実」などの保健・福祉分野の関連施策のほか、「1 治水対策の推進」「22 環境保全の推進」の生活環境分野の関連施策となっている。

■相関図(前回調査比較の増減)



3 施策別調査結果の分析

施策別調査結果の分析については、次のとおり記載している。

○第8回（令和5年度）市民満足度調査において調査対象とした「第2次総合計画 後期基本計画」の施策名、施策の【目指す姿】と【具体的な取組】を記載している。

(1)満足度・重要度調査結果

- 本アンケート調査において、回答理由の記入者数は125人で、有効回収数1,467人に対する記入率は8.5%であった。回答理由の記入総数は675件あった。
- 「順位」は、下記により得点化した満足度・重要度の回答者平均値が、各調査での全37項目（第1回は全36項目）中で何番目にあるかを示している。

グラフ色	満足度	重要度	得点
	満足している	重要である	5点
	やや満足している	やや重要である	4点
	どちらともいえない	どちらともいえない	3点
	やや不満である	あまり重要ではない	2点
	不満である	重要ではない	1点

(2)主な回答理由

施策ごとの主な回答理由を記載。

(3)所見

満足度・重要度調査結果の所見を記載。

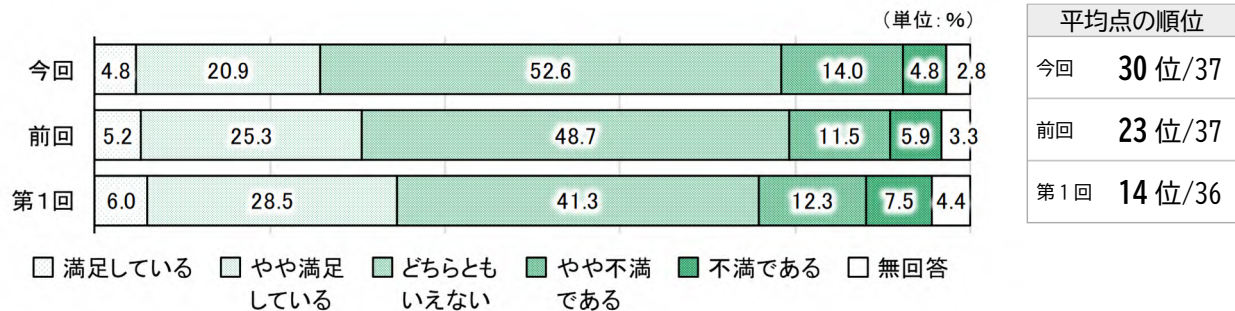
1 治水対策の推進

【目指す姿】 総合的な治水対策が着実に進展し、浸水被害の軽減が図られています。

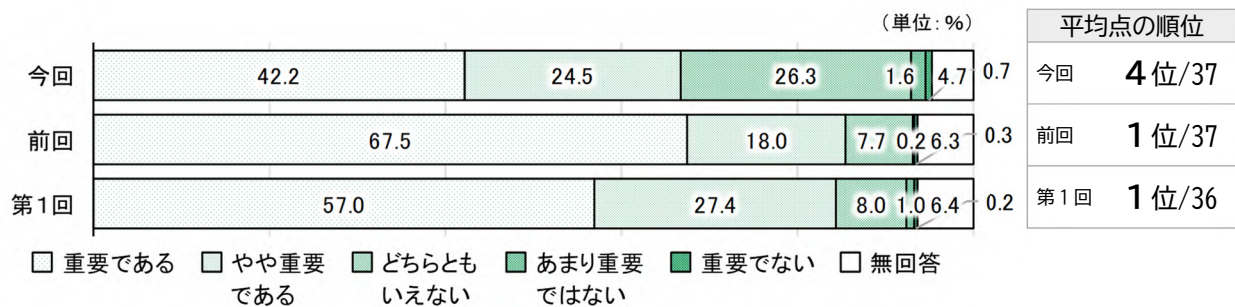
【具体的な取組】 市民に分かりやすい水害対応情報の発信、排水ポンプ場・雨水幹線等の整備・管理、水害に強い安全な河川づくり、雨水貯留施設の整備・管理、民間雨水貯留浸透施設の設置支援、水防施設の管理・運営

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○大雨が降ると五条川や新川が氾濫しそうで怖い。五条川堤防が危ない。

○市内はどこでも川が近く、住宅購入の際ハザードマップで二の足をふみます。浸水対策は重要だと思いますし、やっているならもっとアピールするべきかと思う。

○過去に東海集中豪雨が発生し、河川（新川）が氾濫した。その後、工事が行われたが、どこまで対策が取れたか分からない。近年、災害級の大雨が降ることが多くなっているため、重視して欲しい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 4.8 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 1.4 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 23 位から 30 位に後退している。

重要度は、「重要」と評価する割合が約 3 分の 2 を占めているものの、平均点の順位は第 1 回及び前回調査の 1 位から 4 位に後退している。

回答理由には、大雨の際の冠水、河川決壊による氾濫・浸水被害に対する不満・不安の意見、東海豪雨の経験から不安があるという意見や、治水対策とともに自転車・歩行者が安全に通行できる施設・設備についての意見が多くみられる。

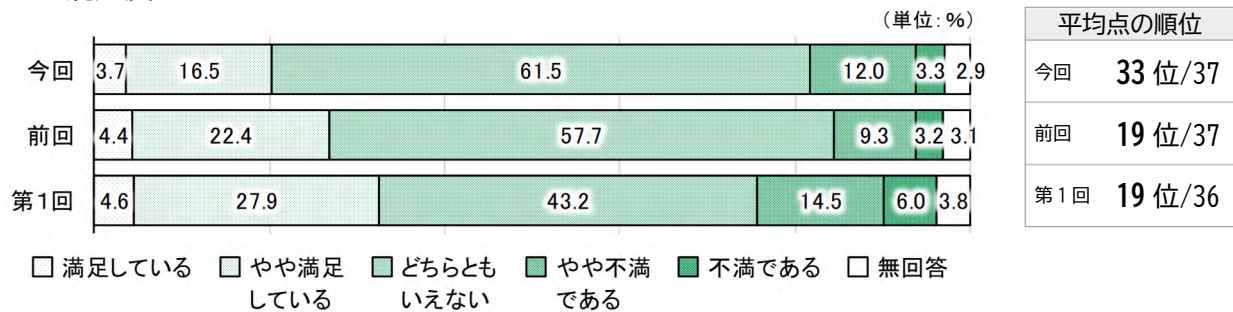
2 防災・減災対策の推進

【目指す姿】 「減災」の理念が行政・市民へ徹底され、災害への備えが充実しています。

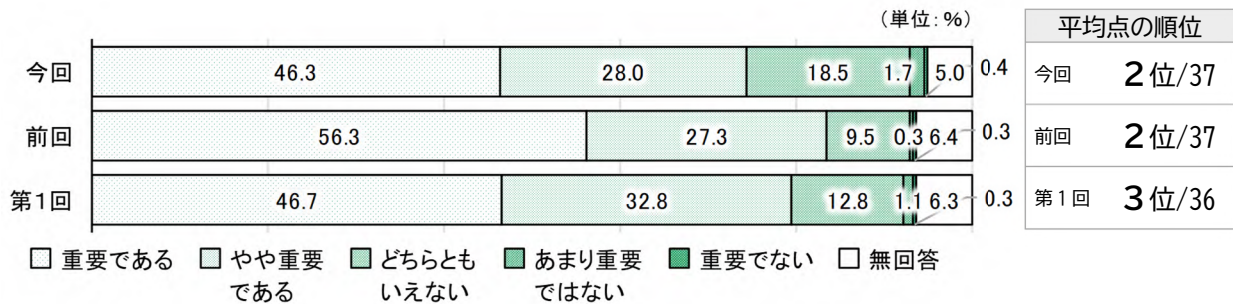
【具体的な取組】 防災体制の強化、市民に分かりやすい防災情報の発信、多様な媒体による防災情報の発信、地域防災リーダー養成講座の開催、市民が行う防災活動への支援、民間住宅耐震化等の啓発・支援、防災施設の管理・運営、避難行動要支援者名簿の管理等、災害時支援の実施、空家等対策の推進

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○防災無線が窓を開けないと聞こえない時がある。声の大きさや話し方を工夫して欲しいです。

○避難所である学校が低地であり心配。もし浸水してしまうと避難所に行けなくなるのではないかと。

○防災訓練は年1回行われるが、地域住民の意識がうすいと思う。毎年マンネリにならないよう進めてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 6.6 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 2.8 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 19 位から 33 位に後退している。

重要度は、「重要」と評価する割合が 37 施策の中で 2 番目に高くなっている。平均点の順位も前回調査同様に 2 位となっている。

回答理由には、防災・減災対策の強化を望む意見が多く、防災行政無線の音声の改善や、各地域の避難場所の位置について、防災意識の向上などの意見がみられる。

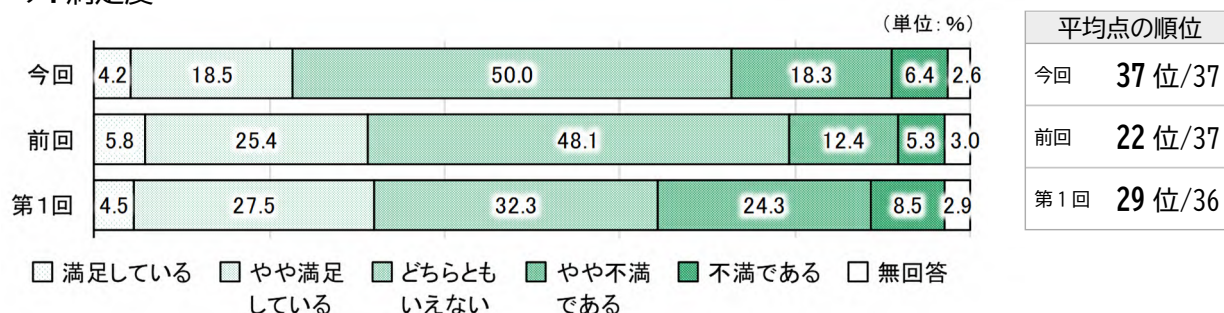
3 防犯・交通安全対策の推進

【目指す姿】 関係機関との連携により総合的な防犯・交通安全対策が展開され、犯罪や交通事故が減少しています。

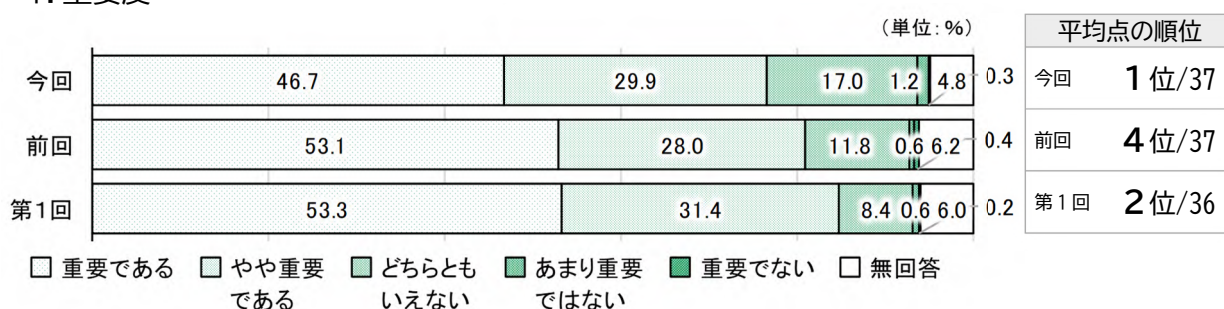
【具体的な取組】 街路灯（防犯灯）の整備・管理、見守りカメラの設置支援、多様な媒体による防犯情報の発信、防犯活動等を行う団体への支援、交通安全活動の実施、放置自転車等防止対策の実施、交通安全活動を行う団体への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○街路灯の少ない地域があるので地域差がないようにしていただきたいです。

○詐欺対策も重要だと思います。防犯カメラの設置も多くできると良いと思います。

○街路灯はまだまだ少なすぎる。住宅街への街路灯も増やしてほしい。空き巣などの詳細地区や防犯情報をスマホでいち早く知らせしてほしい。防犯カメラの補助か配布をしてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 8.5 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 7.0 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 22 位から 37 位（最下位）に後退している。

重要度は、「重要」と評価する割合が 37 施策の中で最も高く、平均点の順位は前回の 4 位から 1 位に上昇している。

回答理由には、街路灯や道路の整備、防犯カメラの設置を求める意見が多くみられる。また、不審者情報の多さや交通マナーに対する不安から、取り締まり等の対策強化を求める意見もみられる。

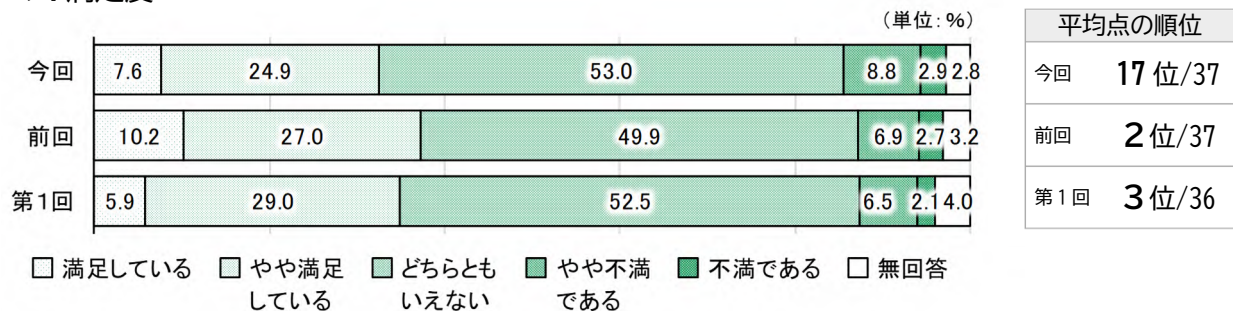
4 消防・救急医療体制の充実

【目指す姿】 広域的な連携が強化されるとともに、非常備消防力が安定的に確保され、市民が安心できる消防・救急医療体制が整っています。

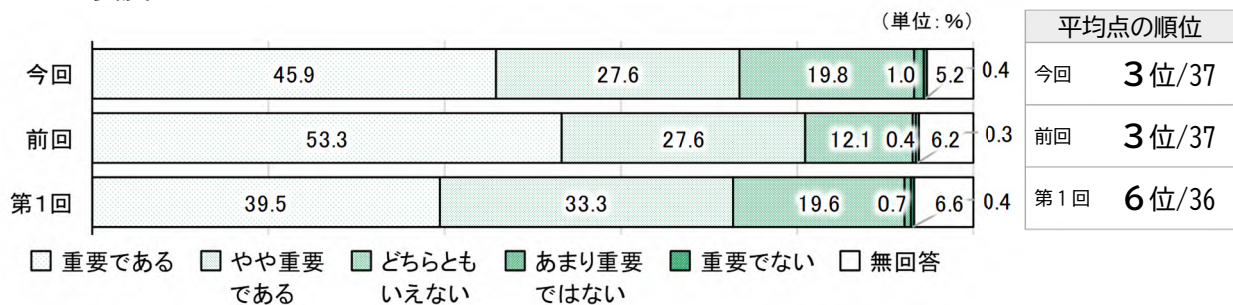
【具体的な取組】 常備消防力・救急機能の確保、非常備消防力の確保、防火の啓発、救急医療体制の確保、応急手当技能の普及

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○救急医療を行う病院が少なすぎる。医療体制を充実させてほしい。

○夜間、休日の急病時に頼れる医療機関が市外にしかない。

○もう少し応急手当技能を得られる機会が欲しい。講習をしているのかどうかの情報も知らない為に情報公開を広げて欲しい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 4.7 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 2.1 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 2 位から 17 位に後退している。

重要度は、「重要」と評価する割合が 37 施策の中で 3 番目に高く、平均点の順位は前回調査同様の 3 位となっている。

回答理由には、市内の医療施設の整備、夜間・休日診療を行う医療機関の整備を望む意見が多くみられる。

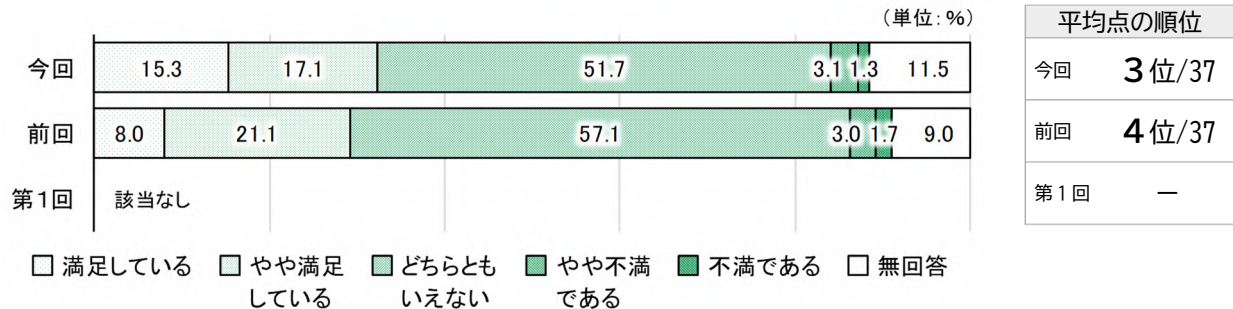
5 母子保健の充実

【目指す姿】 子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠前から子育て期にわたる切れ目ない支援が提供され、安心して妊娠・出産・育児ができる環境がつくられています。

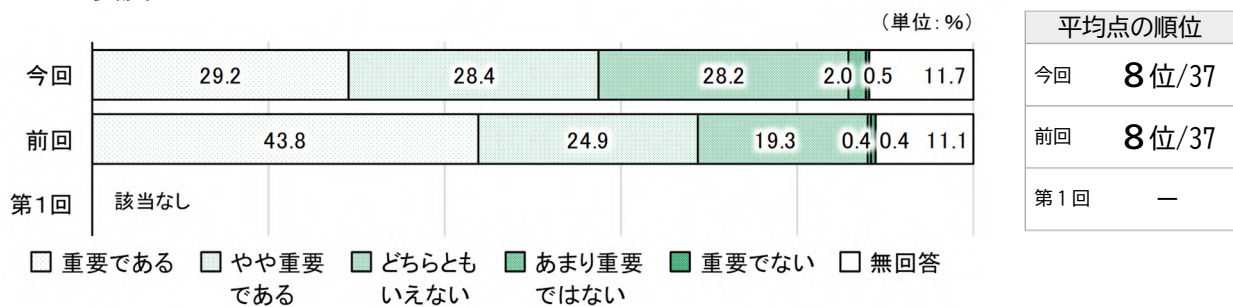
【具体的な取組】 子育て世代包括支援センターの運営、一般不妊治療への支援、妊婦等健診の実施、乳幼児健診等の実施、乳幼児訪問指導等の実施、母子の健康教育・健康相談の充実、ホームヘルパーの派遣、母子保健推進員との連携

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○そもそも清須市に産婦人科がない。検査等をしたくても、市外の産婦人科も車がないと行けない場所が多い。清須市内に産婦人科があればあしがるバスで通う等できるかもしれないのと思う。

○乳幼児健診にとっても時間がかかる為、できれば事前に順番を決めるなどして時間を区切り実施してほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 3.3 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 0.3 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 4 位から 3 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 11.1 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査と同じ 8 位となっている。

回答理由には、市内に産婦人科のある病院がないことに対する不満の意見や、乳幼児健診に対する支援についての意見がみられる。

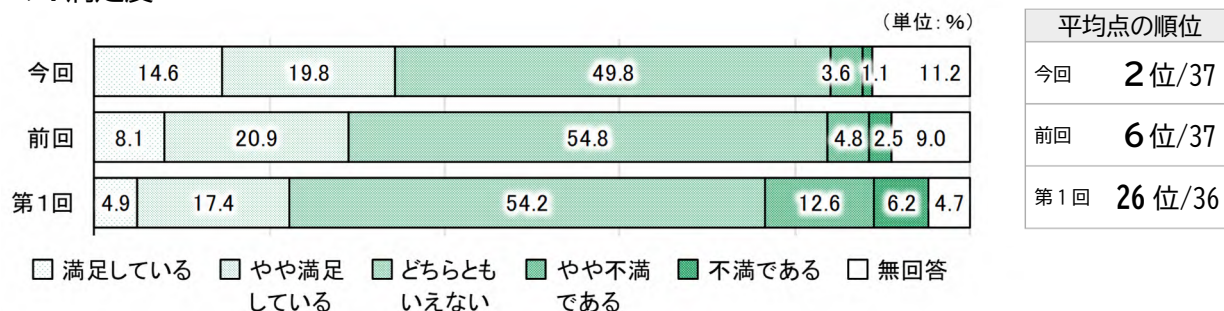
6 子育て支援の充実

【目指す姿】 市民ニーズに応じた子育て支援が充実し、安心して子育てと仕事・社会活動が両立できるまちになっています。

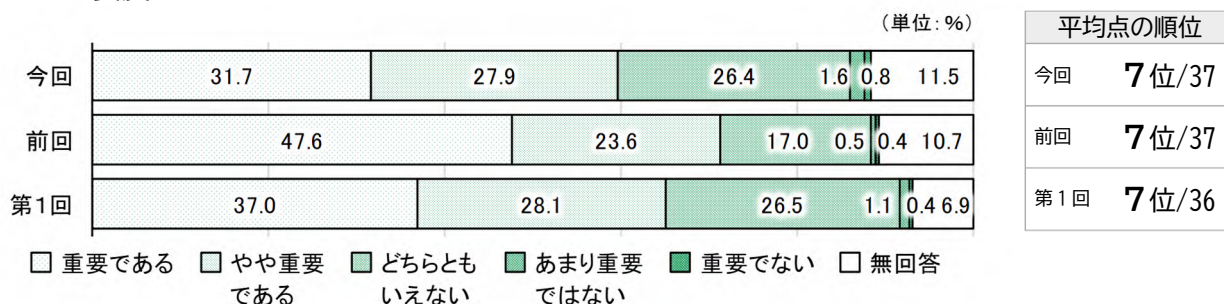
【具体的な取組】 保育・幼児教育の充実、多様化する保育ニーズへの対応、子育て支援サービスの充実、放課後等における活動の場の充実、子育て世代包括支援センターの運営、子育て情報発信プロジェクト「キヨスマ」の推進、保育・幼児教育の無償化の推進、児童手当の支給、医療費助成の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○公立保育園を利用しています。あきらかに正規職員が足りていません。個別の支援が必要とされる子もいますが、加配で人が付いている様子もないです。

○求職中でも保育園に一次募集で入れるようにして欲しい。求職するにも決まらないとできないが私立は高い。幼稚園が一個しかないので遠くて送り迎えが大変である。

○まだまだ支援が足りていないように思う。妊娠した時の病院受診は助成ですべて窓口負担0円とか、保育料をもう少し安くするとか、給食費も考えてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 5.4 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 2.6 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 6 位から 2 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 11.6 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査と同じ 7 位となっている。

回答理由には、保育園の入園に関する不満や、幼稚園が少ないことへの不満の意見が多くみられる。また、医療費助成に関する意見や、無償化や助成金等の経済的支援についての意見もみられる。

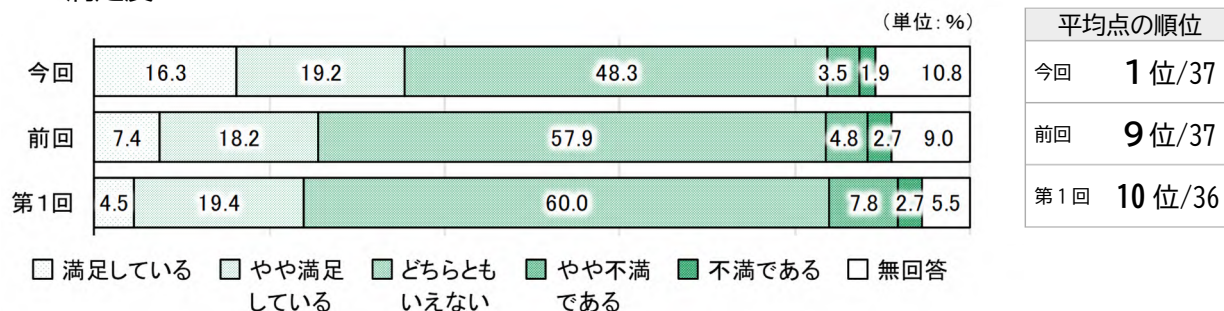
7 学校教育の充実

【目指す姿】 教育環境の充実により児童・生徒一人ひとりの学びへの意欲が高まり、未来社会を主体的に切り拓く資質と能力がはぐくまれています。

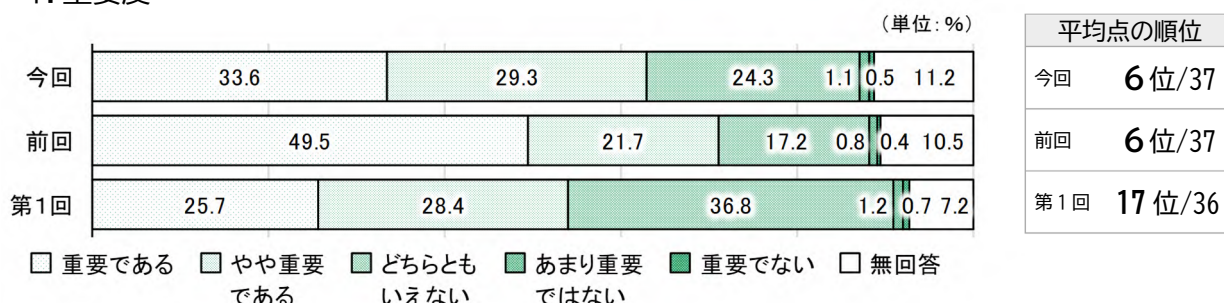
【具体的な取組】 きめ細やかな学習指導、学校・家庭・地域の連携強化、外国語教育の充実、地域のことを学ぶ機会の充実、相談支援体制の充実、特別支援体制の充実、いじめ問題への対策の実施、義務教育施設の整備・管理、学校給食の充実、就学困難な児童・生徒への支援、各種学校就学への支援、入学祝品・卒業記念品の支給

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

- 児童生徒の人数と教員の人数が釣り合っていない。子どもを見守る大人が少なすぎる。
- 学校内の備品や遊具や樹木等の老朽化や伐採などの予算をつける。
- いじめや不登校の子どもや保護者に対しての学校の対応に不満を感じる。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 9.9 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 2.1 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 9 位から 1 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 8.3 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査と同じ 6 位となっている。

回答理由には、児童数減少による学校区再編についての意見、学校施設・設備の改修等についての意見、不登校やいじめに関する意見が多くみられる。

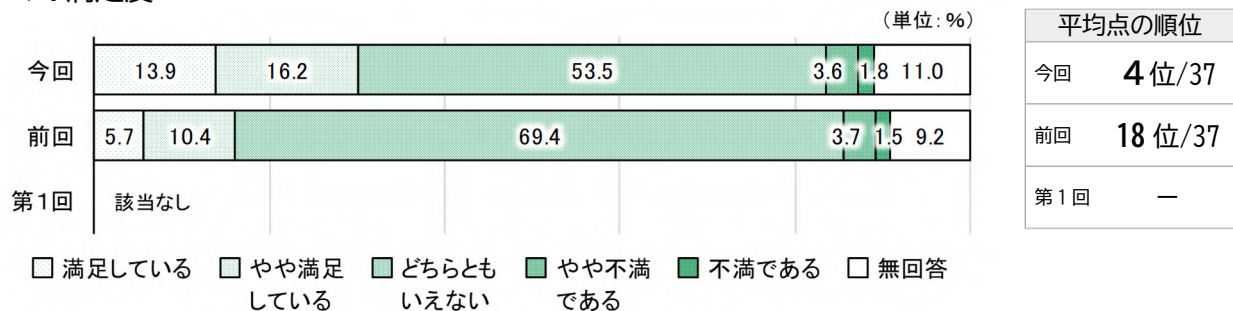
8 ひとり親家庭への支援の充実

【目指す姿】 生活に不安を抱えるひとり親家庭への自立支援の体制が充実し、ひとり親家庭が安心して暮らすことができるまちになっています。

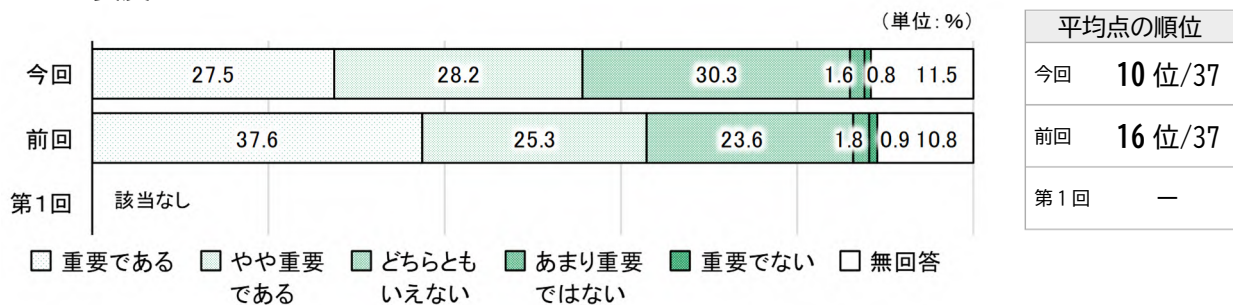
【具体的な取組】 家庭生活支援員の派遣、自立に向けた技能・資格取得への支援、相談支援体制の充実、施設における保護等の実施、各種手当の支給、医療費助成の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○ひとり親家庭への手当を充実してほしい。

○教育格差をつくらない。子の教育をサポートする余裕のないシングルマザー等や就学困難な児童生徒をどのように市と地域で救いあげ、サポートしていく政策が求められる。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 14.0 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 0.2 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 18 位から 4 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 7.2 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 16 位から 10 位に上昇している。

回答理由には、ひとり親家庭への支援の充実についての意見がみられる。

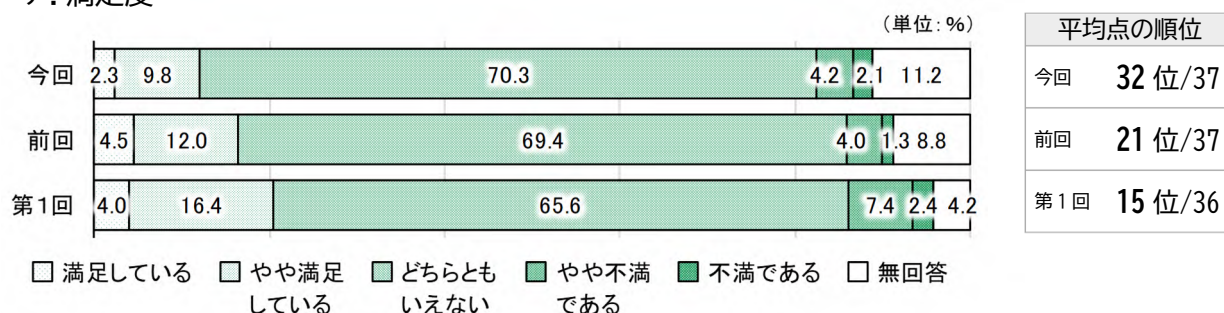
9 青少年健全育成の推進

【目指す姿】 青少年健全育成の重要性について市民一人ひとりの認識が深まり、学校・地域・家庭のつながりを通じて、青少年の健全な育成が推進されています。

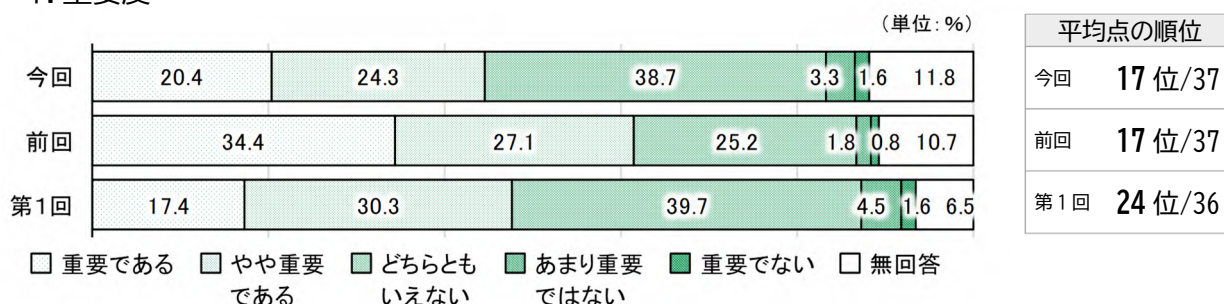
【具体的な取組】 青少年健全育成・家庭教育の啓発、地域人材を活用した家庭教育支援、成人式の開催、青少年健全育成活動を行う団体への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○ある程度大きくなったら、子ども自身も自分のことを考える必要はある。いつまでも市で面倒みるのは無理。

○成人式が青少年健全育成というのは疑問。青少年の問題については目に見えない場所で発生あるいは困難を抱えていることが多く、支援方法を考える必要がある。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 4.4 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 1.0 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 21 位から 32 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 16.8 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 17 位から 19 位に後退している。

回答理由には、青少年が抱える問題等についての支援方法についての意見等がみられる。

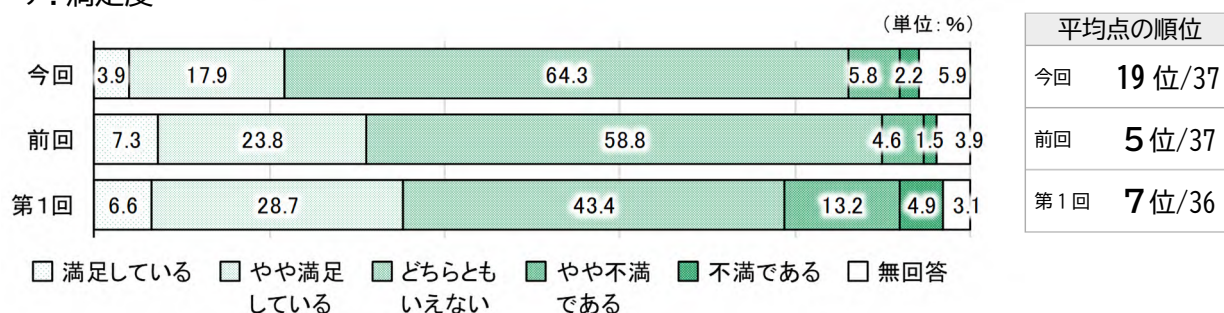
10 健康づくりの推進

【目指す姿】 市民一人ひとりの健康づくりが進み、こころもからだも元気なまちになっています。

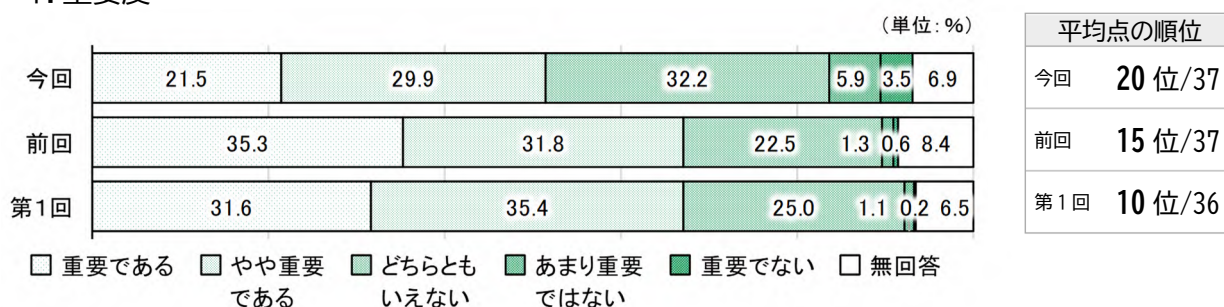
【具体的な取組】 各種健（検）診の推進、健康教育・健康相談の充実、心の健康相談体制の充実、自殺対策の推進、食生活改善推進員との連携、感染症対策の実施、骨髄提供者等への支援、保健センターの管理・運営

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○ 検診や予防接種の補助を増やして欲しいです。高齢化社会を向かえる未来は今の検診で医療費を抑えることができますと思います。補助や頻度が増えれば、気軽に受診でき、若い人の受診率も増えると思います。

○ 健診を受診したいが、曜日の設定が少なすぎて仕事との都合が付きません。

○ 自己負担額500円で受けられるがん検診があると早期発見につながり医療費もかからず、減少していくのではないかな。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 9.3 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 1.9 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 5 位から 19 位に後退している。

重要度は、「重要」と評価する割合が前回調査より 15.7 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 15 位から 20 位に後退している。

回答理由には、健（検）診や予防接種への助成、健（検）診を受けやすい体制整備を求める意見や、500 円検診の実施に関する意見がみられる。

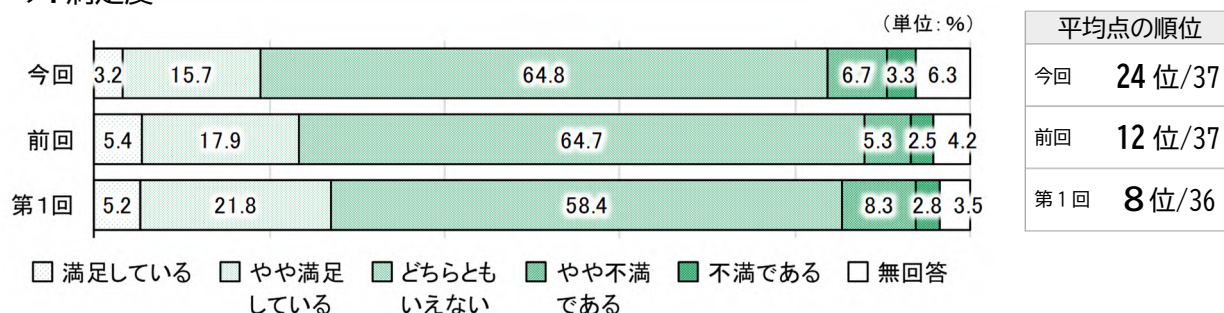
11 地域福祉の充実

【目指す姿】 民生委員・児童委員や人権擁護委員、社会福祉協議会の活動が充実し、地域におけるつながりの中で、誰もが安心できるまちになっています。

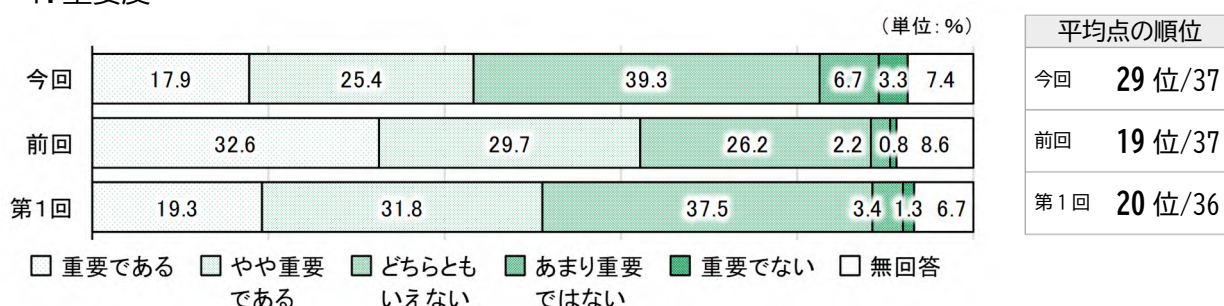
【具体的な取組】 民生委員・児童委員との連携、人権擁護委員との連携、民生委員・児童委員と人権擁護委員の活動内容の情報発信、社会福祉協議会への支援、ボランティア活動への支援、社会福祉施設の管理・運営

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○子どもや高齢者にできるボランティアに参加してみようと思える内容を考え、広く発信する。

○いずれの政策についても申請者の申請に対する受入れ態度はかなりできていると思うが、要求はあっても申請のできない人、あるいは申請しない人をどう救いあげて行くかが課題である。

○高齢者にも若者にも現役世代の人にも不満のないようお互いに理解し合え、納得できる地域福祉をしてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 4.4 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 2.2 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 12 位から 24 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 19.0 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 19 位から 29 位に後退している。

回答理由には、各世代が参加できるボランティアについてや、福祉施策全体で自発的に各種申請を行うことができない層に対する支援が必要といった意見がみられる。

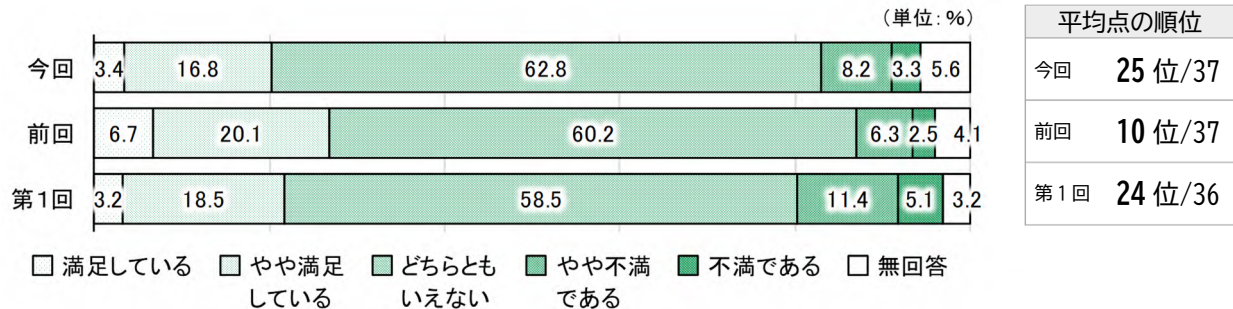
12 高齢者福祉の充実

【目指す姿】 市民一人ひとりが支え合い、福祉の担い手になるような地域づくりにより、高齢者が生涯現役として働き、暮らしていける元気なまちになっています。

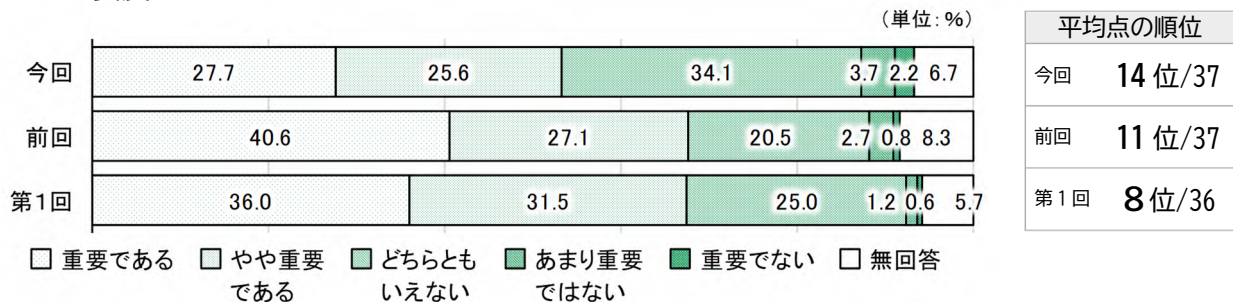
【具体的な取組】 在宅生活への各種支援、介護予防の推進、認知症施策の推進、地域包括ケアシステム構築の推進、介護保険事業の安定的な運営、生きがいづくり・社会参加の推進、医療費助成の実施、施設における保護等の実施、高齢者を対象とした各種教室・講座の開催

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○認知症はなく、1人で過ごしている。でも出歩くには徒歩くらいしか手段はない。そのような方がもっと楽しく集えるような仕組みを考えてはどうか。

○老老介護やひとり暮らし高齢者への支援を充実してほしい。

○一人暮らしの年寄りのケアが不十分だと思う。一人暮らしのお年寄りの方が病院に行くのも大変である。また、役場に行かないと補助金や援助を受けられないのに役場に行くことが大変であり、不親切だと感じる点が多い。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 6.6 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 2.7 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 10 位から 25 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 14.4 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 11 位から 14 位に後退している。

回答理由には、様々な問題を抱えた高齢者の生活支援の充実や、高齢者同士の交流の場の創出を望む意見が多くみられる。また、移動支援の充実についての意見もみられる。

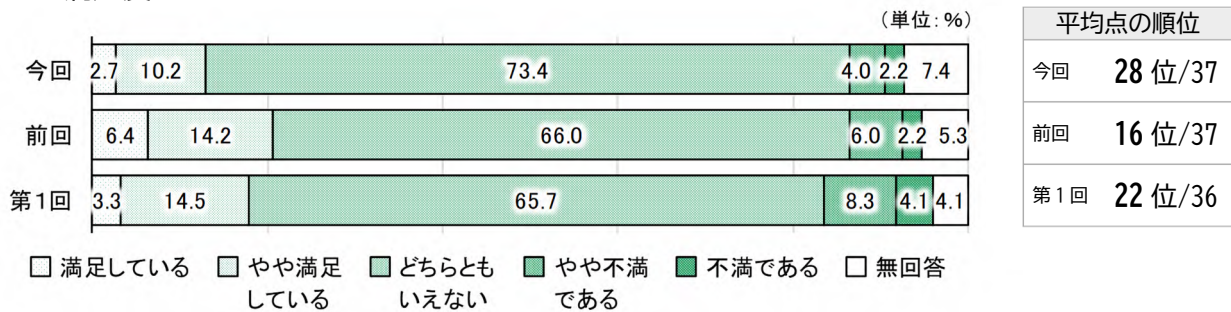
13 障害者(児)福祉の充実

【目指す姿】 障害者(児)が地域で安心して暮らせる体制が整備されるとともに、障害に対する理解が進み、障害の有無に関わらず全ての人がとくみ支えあうまちになっています。

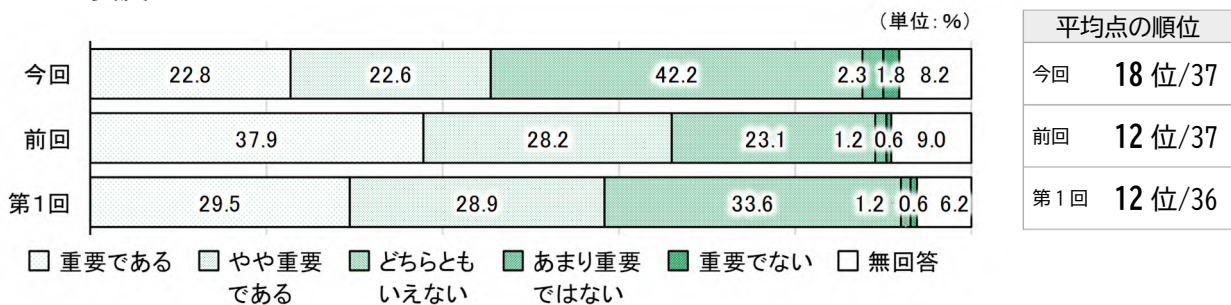
【具体的な取組】 総合的な障害者支援、障害のある児童への支援、相談支援体制の充実、障害者支援施設の整備・運営への支援、各種手当の支給、各種助成の実施、医療費助成の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○同行援護体制の充実。就職への支援の充実

○子どもが発達障害なのですが、市が運営する母子分離型の療育園のようなものや、発達の専門的な訓練等や相談できる所が、一つにまとまっている施設があればいいなと思いました。

○発達障害があるかもと言われたが、どんぐり教室やチューリップ教室に入れるまでに待ちが長くて実際にたんぽぽ園に入れるまでが凄く時間がかかった。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 7.7 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 2.0 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 16 位から 28 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 20.7 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 12 位から 18 位に後退している。

回答理由には、障がい児施設の充実、相談支援体制の整備を求める意見がみられる。

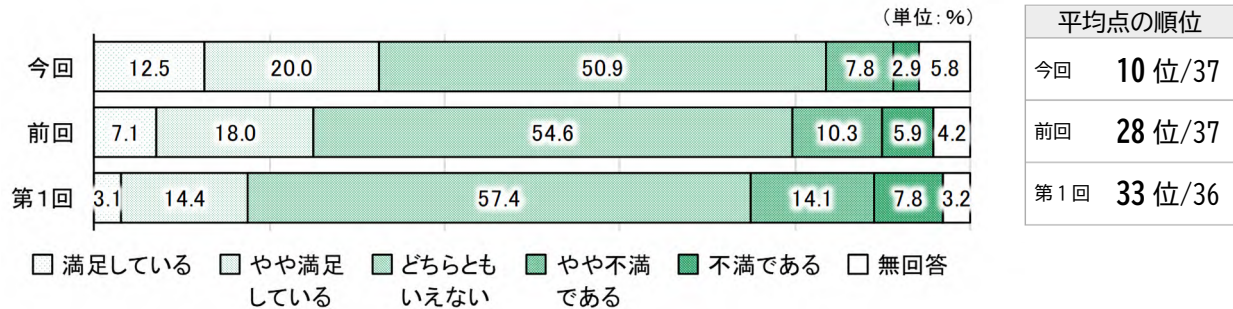
14 医療保険・年金制度の適正運営

【目指す姿】 安定的な財政運営や医療費増加の抑制などにより、持続可能な制度運営が行われている。

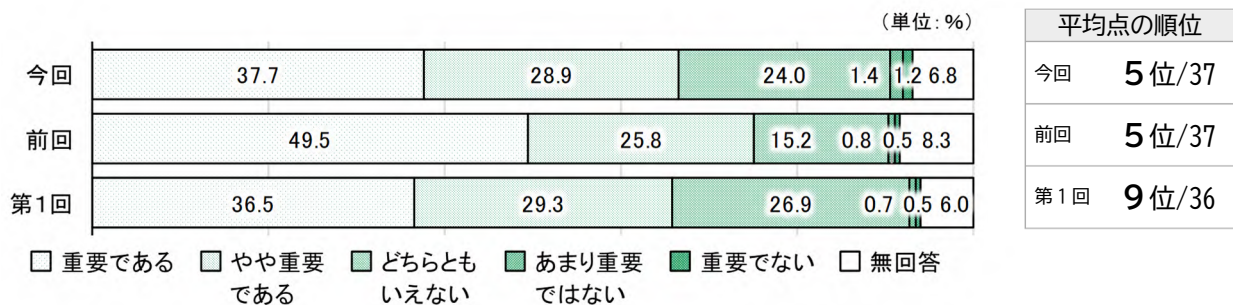
【具体的な取組】 国民健康保険事業の安定的な運営、国民健康保険税の適正確保、国民健康保険加入者への保健事業の推進、後期高齢者医療事業の安定的な運営、後期高齢者医療保険加入者への健康診査の推進、国民年金制度の周知等

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○医療費を減らすための施策に乏しい。他市には健康に過ごすため努力している人にポイントを与えるなどして、市ぐるみで病気を減らすようしているところがある。

○医療保険を抑える為には、高齢者の薬の管理が必要である(残っているのに貰う飲み薬、張り薬)。人薬に頼らず、日頃の生活、食事で、サプリも活用すべきである。

○医療費や国民健康保険税にかかる費用の増大が家計に響いている。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 7.4 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 5.5 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 28 位から 10 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 8.7 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査同様の 5 位となっている。

回答理由には、医療費の削減等に関する意見が多くみられる。

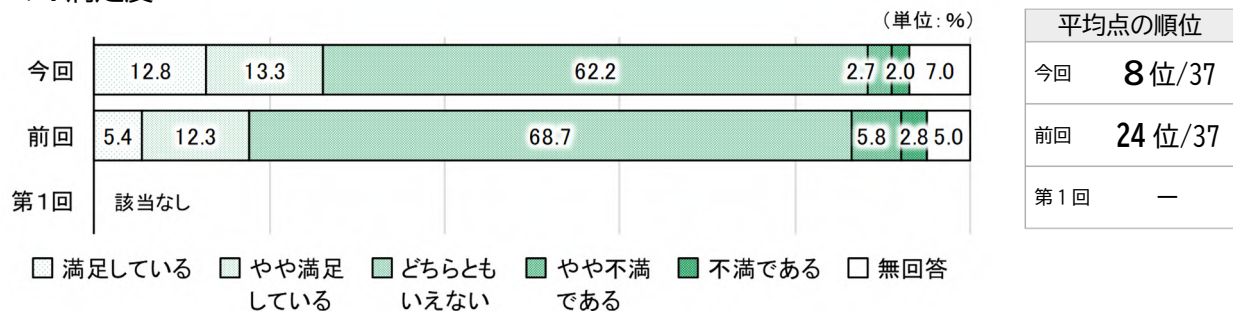
15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施

【目指す姿】 生活保護制度と生活困窮者自立支援制度が適正に実施され、生活困窮者のセーフティネットが確立しています。

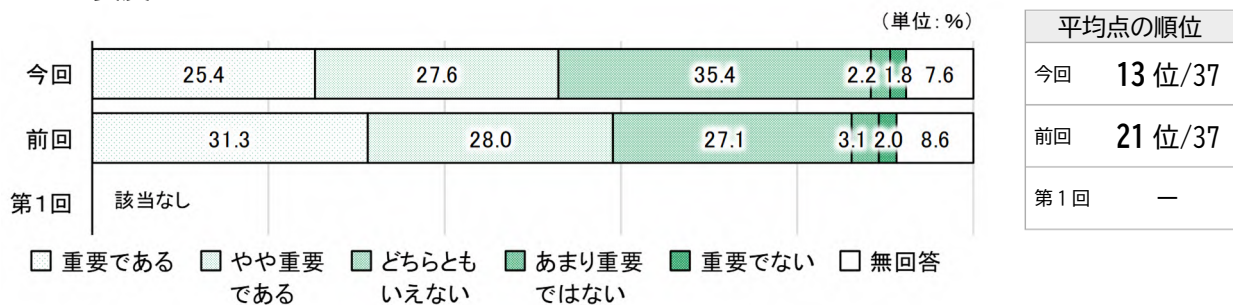
【具体的な取組】 生活保護制度の適正な実施、生活困窮者自立支援制度の適正な実施、生活困窮者世帯等の子どもへの学習支援等の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○生活保護は難しい問題である。適正に実施されることが重要である。

○不当な生活保護者がいないよう、しっかり職員が確認して欲しいです。

○貧困家庭の子どもで塾に行けない子どもの対策が必要。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 8.4 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 3.9 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 24 位から 8 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 6.3 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 21 位から 13 位に上昇している。

回答理由には、生活保護制度の適正な実施を求める意見、生活困窮者に対する自立支援の取組の充実についての意見がみられる。

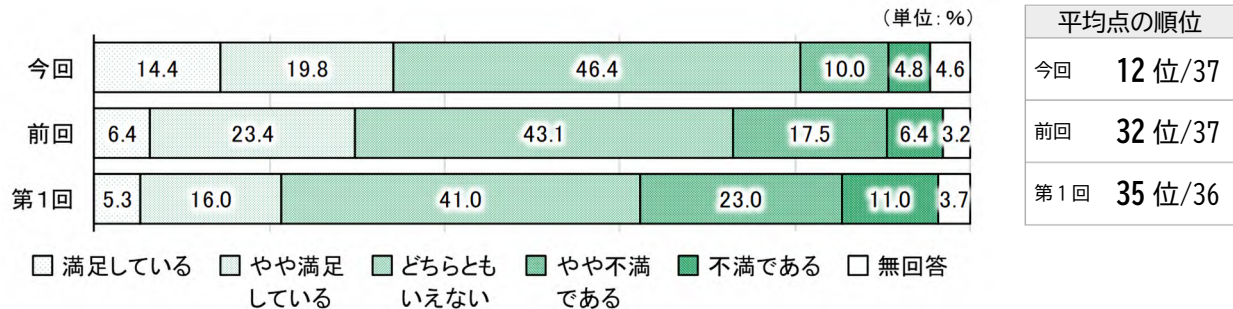
16 市街地整備の推進

【目指す姿】 駅周辺を中心とする市街地整備が着実に進展し、土地の有効利用が進み、安心して快適な生活基盤がつくられています。

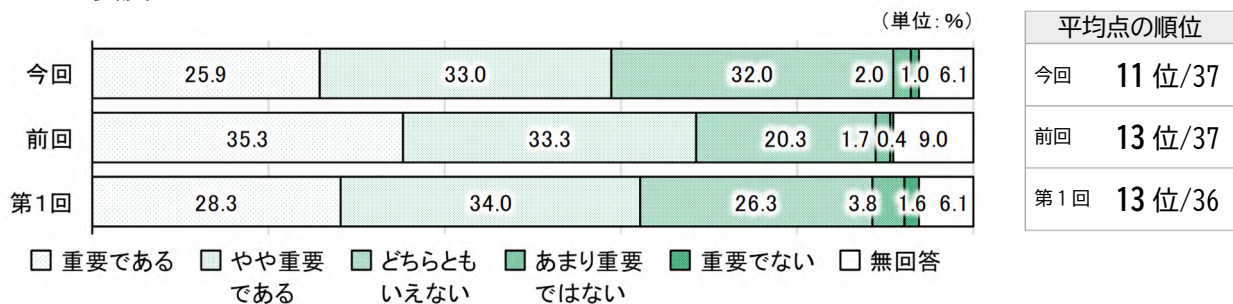
【具体的な取組】 名鉄新清洲駅周辺整備の推進、J R 清洲駅周辺整備の推進、鉄道高架化整備の推進、春日地区の市街地整備の推進、地域に応じた市街地整備の検討、土地利用の見直し等の検討、地籍調査の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

- J R、名鉄の各駅周辺の整備促進が必要。駅周辺に店舗が少なく活気・魅力がない。
- 自転車の置き場所が少ない。
- J R 清洲駅の有料駐輪場が駅に隣接しておらず遠くにあるため不便です。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 4.4 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 9.1 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 32 位から 12 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 9.7 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 13 位から 11 位に上昇している。

回答理由には、J R や名鉄の各駅や周辺の施設・設備等の充実・活性化、駅の利便性向上に向けた整備を望む意見が多くみられる。

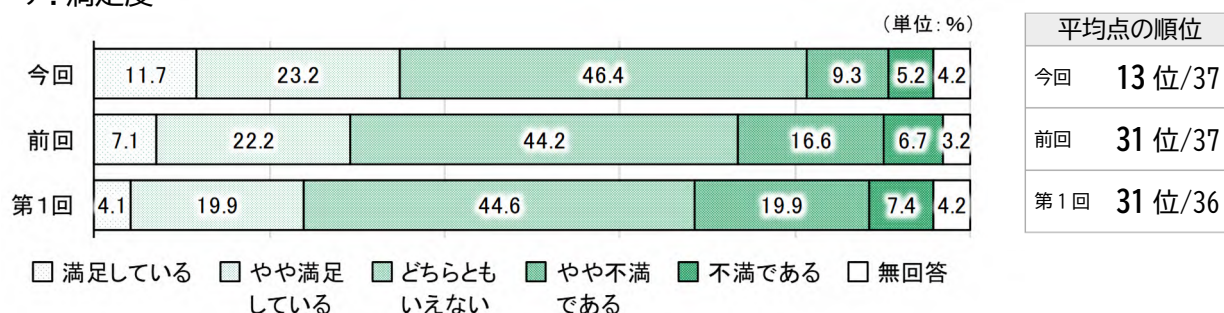
17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進

【目指す姿】 国や県と連携した道路網の整備と、道路・橋梁の計画的な修繕が着実に進展し、道路利用者の利便の増進と安全確保が図られています。

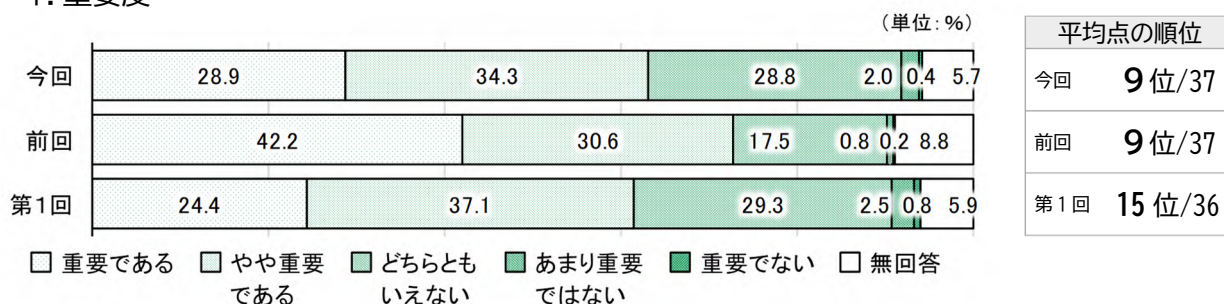
【具体的な取組】 道路の適正な管理、道路の計画的な修繕、広域幹線道路・地域内連絡幹線道路の整備、通学路・生活道路の整備、橋梁の予防的・計画的な修繕、橋梁の整備

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○道路が狭すぎる・路面に凹凸ができていて走りにくいし危険。歩道がない。

○子どもの通学路としての道路・歩道が危険。

○川沿いの道路や十字路等の雑草が生い茂り視認性が悪く、危険である

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 5.6 ポイント増加しており、「不満」「やや不満」と評価する割合が前回調査より 8.8 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 31 位から 13 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 9.6 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査と同じ 9 位となっている。

回答理由には、道路環境に関して危険性を訴える意見や道路整備を求める意見、交通渋滞の解消を求める意見が多くみられる。

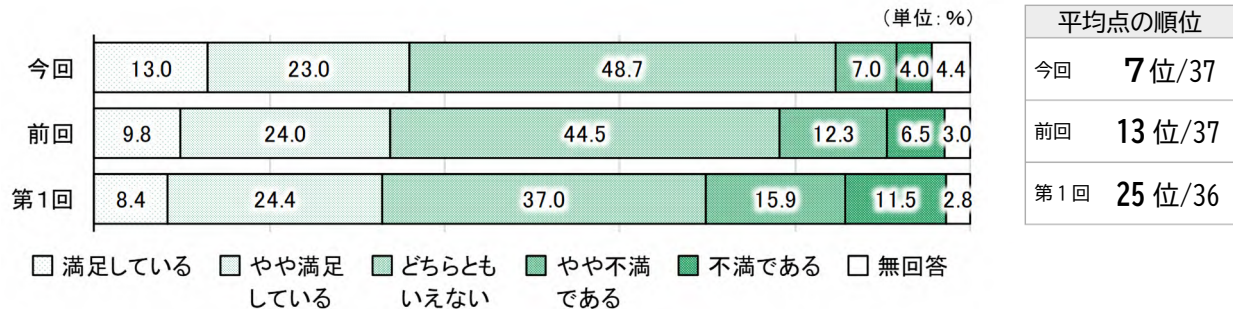
18 上水道の安定供給・下水道の充実

【目指す姿】 水道管の耐震化が着実に進展するとともに、水道事業が適正に運営され、水道水が安定的に供給されています。下水道の計画的な整備が着実に進展し、生活環境の向上と公共用水域の水質保全が図られています。

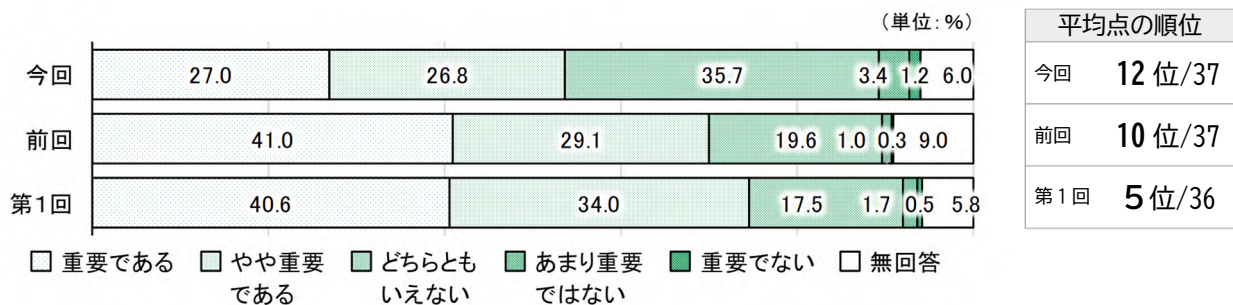
【具体的な取組】 健全な公営企業経営の推進、水の安定供給、水道管の耐震化整備、下水道（汚水）の整備、各種助成の実施、流域下水道関連施設の管理・運営

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○いまだ、私の住んでいる地域やその周辺地域は、浄化槽のままであり、下水道がくる話は来ているが、何年も結局こないまま放置されてしまっているのが、大変不満です。

○下水道工事費用や使用料金にいくらかかるか心配。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 2.2 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 7.8 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 13 位から 7 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 16.3 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 10 位から 12 位に後退している。

回答理由には、市内全域の下水道の早期整備を求める意見、下水道料金に対する不満や、整備に伴う費用負担の軽減を求める意見もみられる。

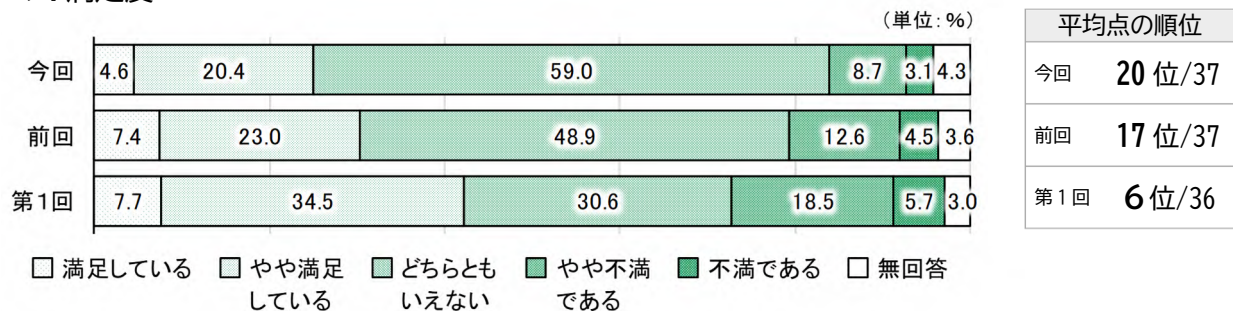
19 水辺空間と緑地の充実

【目指す姿】 市民協働による河川環境美化や都市緑化が進展し、市民が水と緑を感じ、ふれあうことができる空間が形成されています。

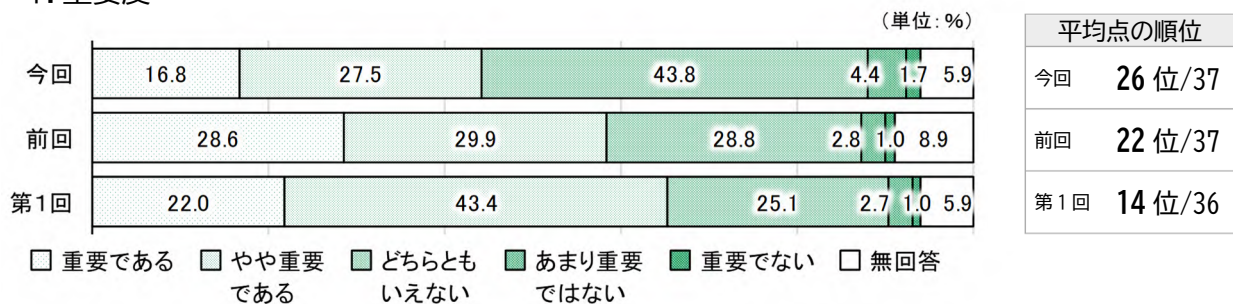
【具体的な取組】 公園・緑地の整備・管理、遊具施設等の整備、水辺の散策路の管理、河川環境美化活動への支援、かわまちづくり事業の推進、清須アダプト・プログラムの実施、都市緑化への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○五条川沿いの歩道の整備をぜひお願いしたい。

○清須市には遊具も少ない小さい公園が多く、長い時間遊べて子どもが楽しめる大きな公園がありません。子どもが楽しめる大きな公園があるといいなと思います。

○城の周辺、清洲公園を市民の憩いの場となるように工夫してほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 5.4 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 5.3 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 17 位から 20 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 14.2 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 22 位から 26 位に後退している。

回答理由には、河川環境の改善や周辺環境の整備を求める意見が多くみられる。また、公園・緑地の整備や施設の充実を求める意見もみられる。

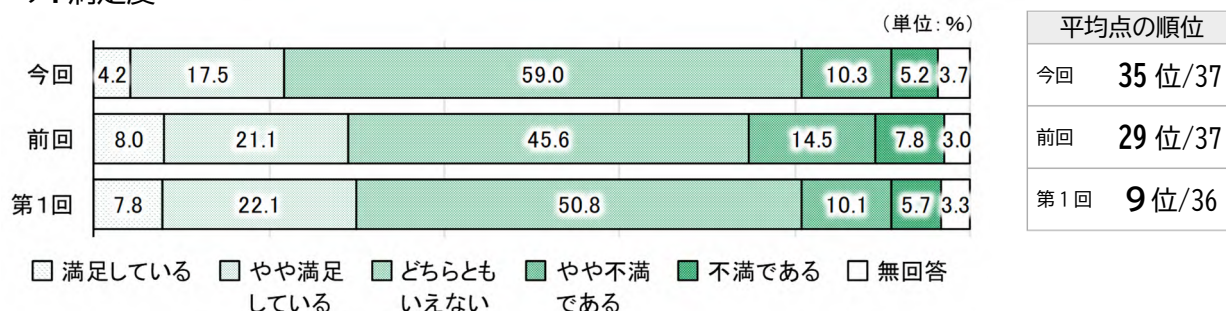
20 公共交通の充実

【目指す姿】 「あしがるバス」を中心とした公共交通網が充実し、市内移動の利便性が向上しています。

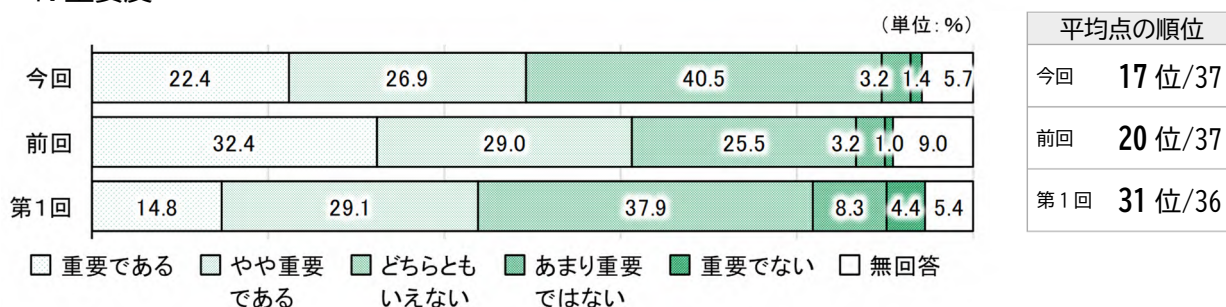
【具体的な取組】 コミュニティバスの運行、各種イベント等を通じた利用促進、利用環境整備の推進、ルート・ダイヤ等の見直し、福祉有償運送制度の運用

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

- コミュニティバスの運行ダイヤが少なすぎるため、もう少し増やしてほしい。
- コミュニティバスが40分に1本は使えない。乗り換えがわからず使わない方もいる。
- コミュニティバスの近隣市町村との乗り継ぎ等利便性の向上。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より7.4ポイント減少しているものの、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より6.8ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の29位から35位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より12.1ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の20位から17位に上昇している。

回答理由には、現在運行しているあしがるバスの運行本数・バス停・ダイヤ・ルート・近隣市町との接続などの改善に関する意見が多くみられる。また、公共施設へのアクセスに関する公共交通の充実や利便性の向上を求める意見もみられる。

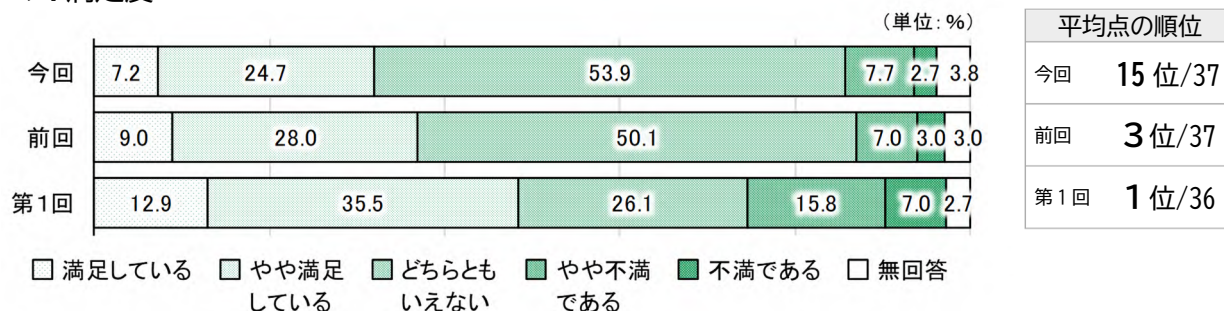
21 ごみの減量化と資源化の推進

【目指す姿】 市民・事業者・行政が一体となったごみの減量化と資源化の取組がより一層浸透し、循環型社会が構築されています。

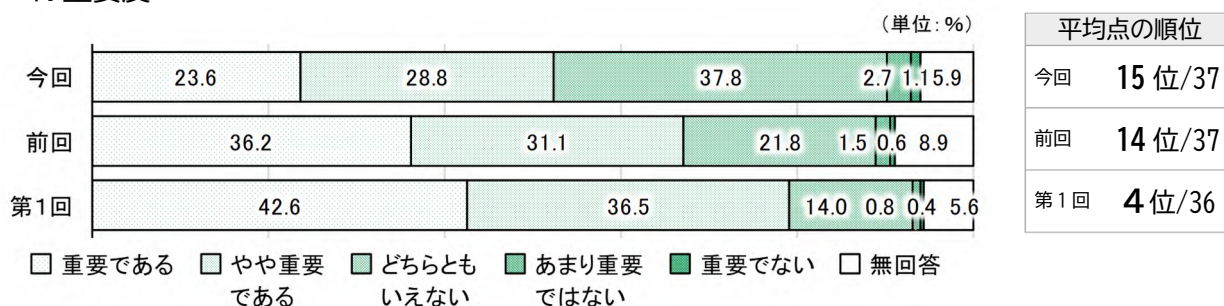
【具体的な取組】 ごみの適正な処理、ごみ減量化・再資源化の啓発、市民に分かりやすいごみの分別情報等の発信、資源回収活動への支援、ごみ減量化活動への支援、資源回収施設の管理・運営、し尿の適正な処理

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○不燃ごみの分別表を文字だけでは判断に迷う物もあるので、写真等があると判りやすい。

○ごみの分別判断基準表を見ても、一覧に掲載されていないことが多い。

○生ゴミの回収日は、多くの集積場でカラスがゴミを荒らし悪臭被害が出るので、地区毎に小ステーションを設けていただきたい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 5.1 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 0.4 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 3 位から 15 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 14.9 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 14 位から 15 位に後退している。

回答理由には、ごみの分別や出し方が分かりにくいという意見や、集積所の周辺環境の改善を求める意見がみられる。

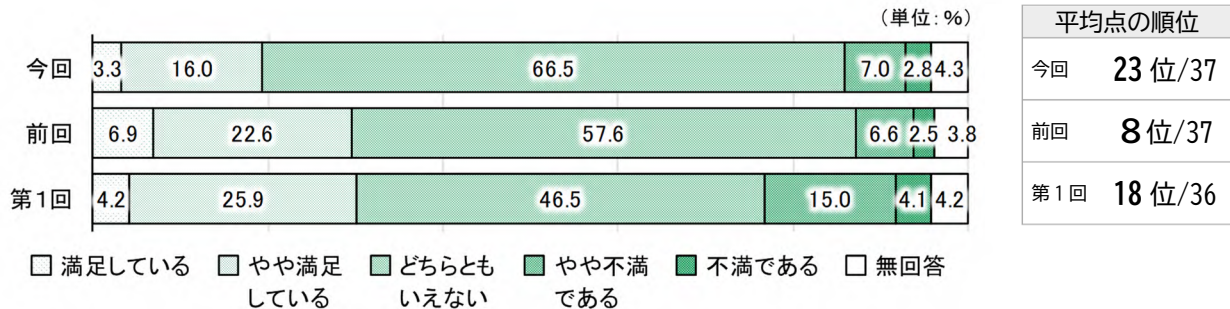
22 環境保全の推進

【目指す姿】 環境の保全や公害の未然防止が図られ、市民にとって良好な生活環境が保たれています。

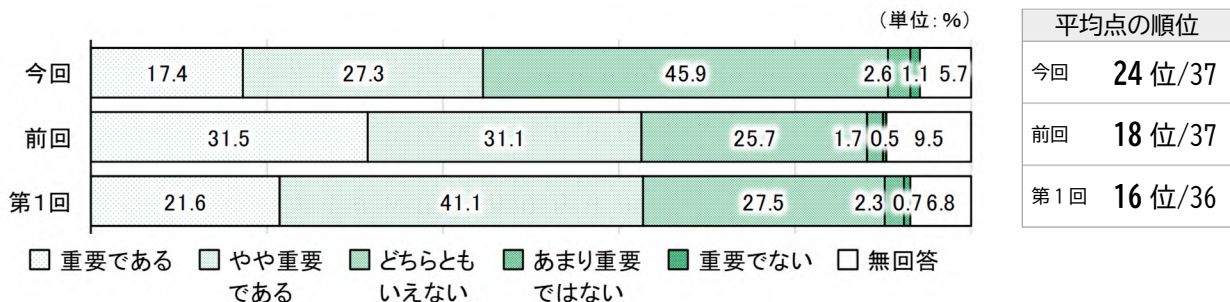
【具体的な取組】 地域環境の保全、公害調査等の実施、浄化槽清掃への支援、住宅用地球温暖化対策設備の導入への支援、環境負荷低減対策の推進、墓地の管理・運営

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○工場等からの悪臭の低減して欲しい。

○五条川の水質をきれいにすると、桜の季節など、川沿いの桜を見る時に映えるようになるのではないかと考えています。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 10.2 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 0.7 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 8 位から 23 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 17.9 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 18 位から 24 位に後退している。

回答理由には、悪臭への対策を求める意見や河川・堤防等の環境整備への対策を望む意見が多くみられる。

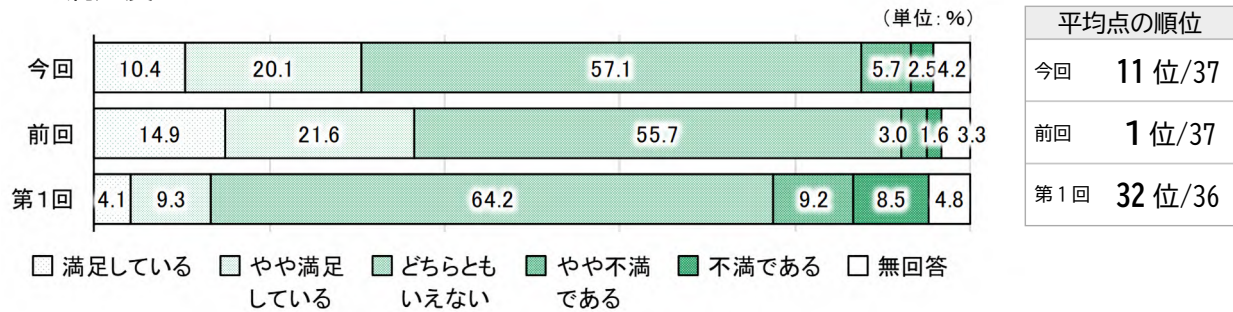
23 斎苑施設の整備・運営

【目指す姿】 斎苑施設が整備され、適切に施設の運営が行われています。

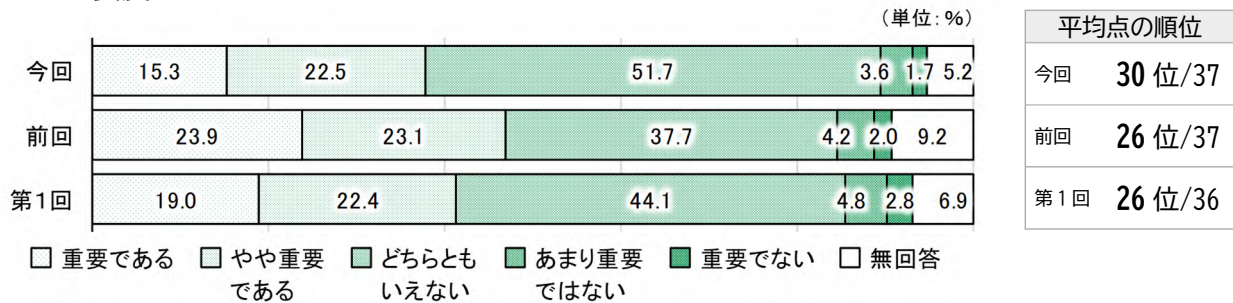
【具体的な取組】 斎苑施設の整備・運営、斎苑施設周辺環境改善事業の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○火葬場は軽食禁止なのに周りには何もない。1～2時間の間、茶菓子ぐらい購入できたり食べたりできるようにしてほしい。

○斎苑施設周辺の空間は市民の貴重な空間と思う。この空間を基調とした環境の維持、充実を進めてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 6.0 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 3.6 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 1 位から 11 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 9.2 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 26 位から 30 位に後退している。

回答理由には、斎苑における待合スペースの整備（飲食できる場所や売店）に関する意見がみられる。

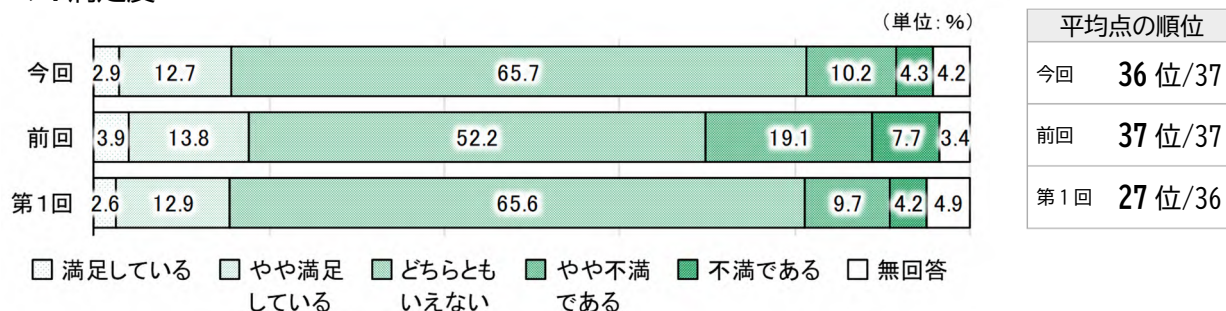
24 観光の振興

【目指す姿】 地域資源を活用した観光の振興が図られ、地域の活力が醸成されるとともに、市外からの来訪者が増加しています。

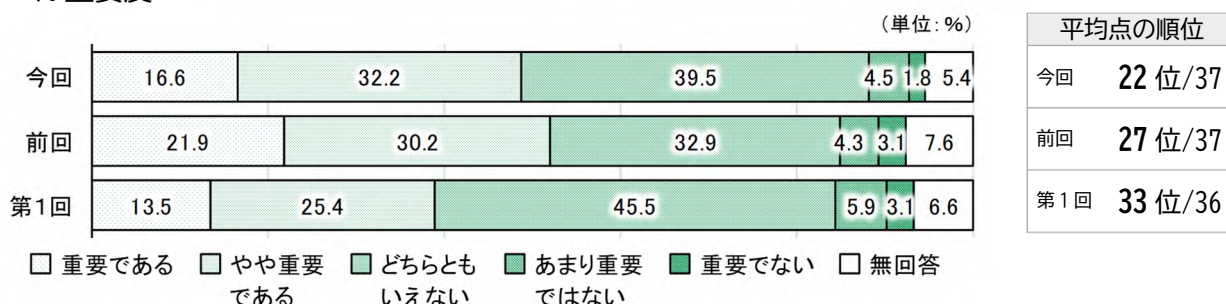
【具体的な取組】 魅力あるまつりの開催、観光施設の魅力向上の推進、オリジナル土産品の開発・情報発信、観光地域づくりの推進、レンタサイクルの運営、観光情報発信力の強化、観光活動を行う団体への支援、地域間交流・連携の推進

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○清須市の観光が城しかなく城下町や魅力的なお店もなく、人が来る要素がない。もっと観光に力を入れて、人を呼んでほしい。

○参加したいと思うようなイベントがあまりない。開催地も自宅からかなり遠いため、自転車で気軽に行ける距離ではなく、参加する気がなくなる。

○西枇杷島まつりの花火を再開してほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 2.1 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 12.3 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 37 位（最下位）から 36 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 3.3 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 27 位から 22 位に上昇している。

回答理由には、市内にある様々な観光資源を連動させ、周辺施設の活性化、観光情報の発信などにより積極的に観光を振興すべきという意見が多くみられる。また、地元の祭りの復活を願う意見がみられる。

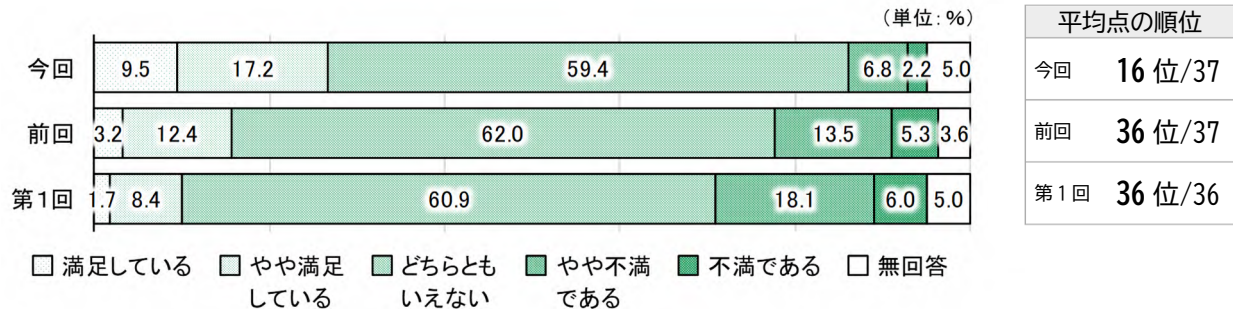
25 商業・工業の振興

【目指す姿】 商業・工業の振興と安定が図られ、中小事業者をはじめとする市内の商工業者がいきいきと活動しています。

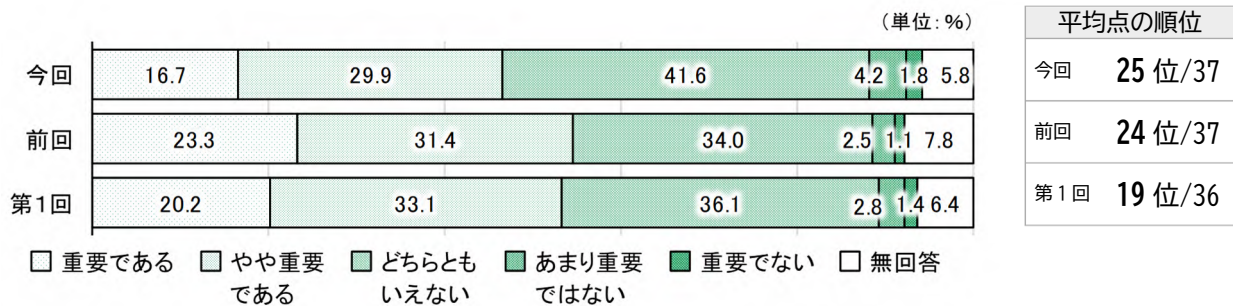
【具体的な取組】 商工会等への支援、高度先端産業立地の推進、企業の再投資への支援、資金融資制度の利用促進、創業に対する支援、東京圏から移住する起業・就業者に対する支援、オリジナル土産品の開発・情報発信

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

- 商業施設が少ない。個人の商店を支援し、にぎやかな市にしたい。
- オリジナル土産はPR不足だと思う。
- 企業の納税は重要な財源になるかと思うので、ここは力を入れるべきではないでしょうか。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 11.1 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 9.8 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 36 位から 16 位に大きく上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 8.1 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 24 位から 25 位に後退している。

回答理由には、市内に個人商店を含む商業施設が少ない、オリジナルの土産のPR不足、重要な財源となる商業施設や企業を誘致するべきという意見がみられる。

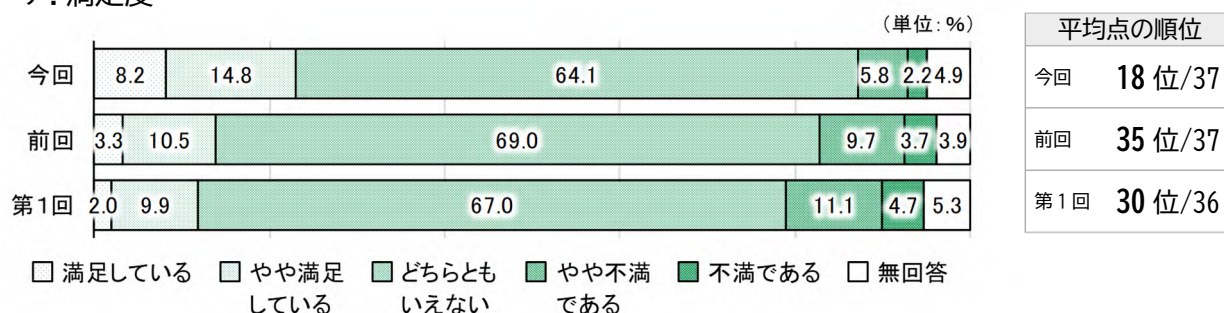
26 都市近郊農業の振興

【目指す姿】 農地の多面的機能を生かして、都市開発と均衡の取れた農業の振興が図られ、農家だけでなく市民全体がその利益を享受しています。

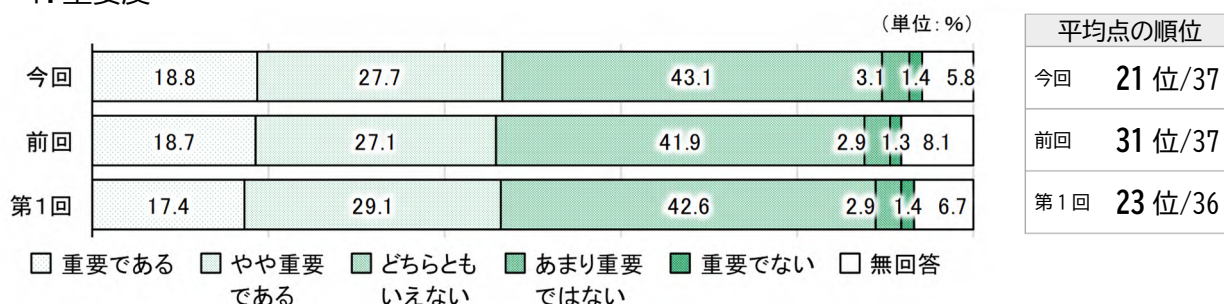
【具体的な取組】 農業関係団体等への支援、耕作放棄地対策の実施、農業体験の機会提供、食育の推進、農業用施設の整備、農地等保全活動への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○高齢化した農家への対策と耕作放棄地の活用は、地域活性化や治安に重要。

○市街化区域の農地への宅地並み課税施策は、「都市近郊農業の振興」と真逆となっている。

○小学生以下への農業体験などで、地域によってばらつきがある。農業体験も学校教育の一環として、しっかり取り組んでもらいたい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 9.2 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 5.4 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 35 位から 18 位に大きく上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 0.7 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 31 位から 21 位に大きく上昇している。

回答理由には、耕作放棄地の有効活用を望む意見や、水田への水の供給について、子どもへの農業体験を一律に実施してほしいなどの意見がみられる。

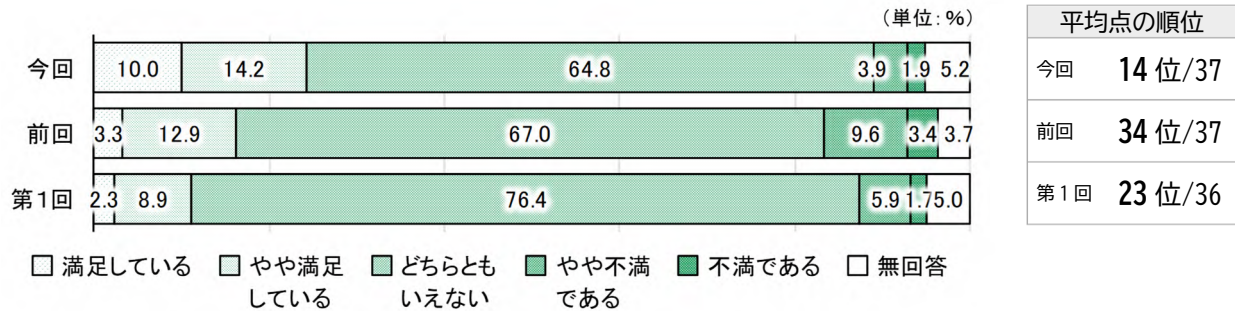
27 消費生活の擁護

【目指す姿】 市民が利用しやすい消費生活相談体制を通じて消費生活の擁護が図られ、市民が安心して豊かな消費生活を営むことができます。

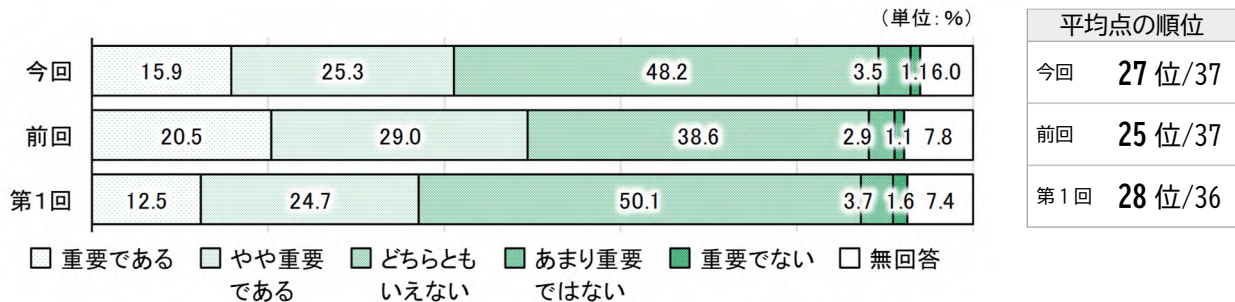
【具体的な取組】 相談支援体制の充実、消費者問題の啓発、金融信用貸付制度の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○消費者問題で特に気をつけたほうがいいことを、広報などに載せてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 8.0 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 7.2 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 34 位から 14 位に大きく上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 8.3 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 25 位から 27 位に後退している。

回答理由には、特に気をつけるべき消費者問題を広報等で周知してほしいという意見がみられる。

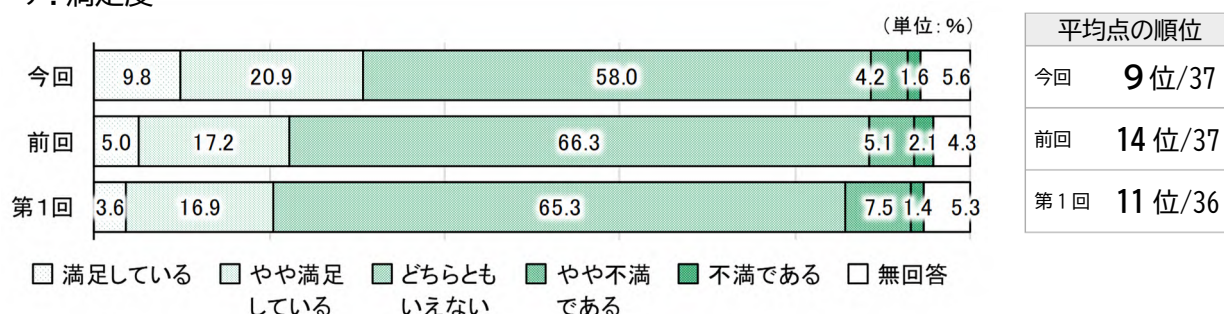
28 生涯学習の充実

【目指す姿】 生涯学習に関する講座と情報発信が充実し、学びを通じて広く市民によるこびや生きがいが増え、まわりの環境がよくなっています。

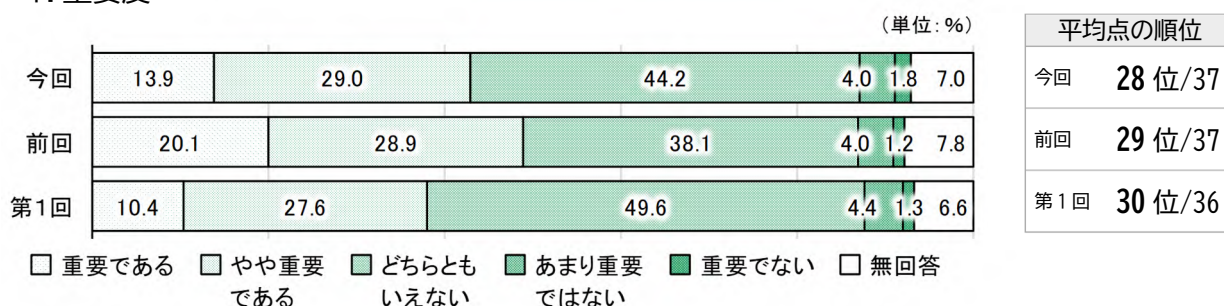
【具体的な取組】 生涯学習講座の開催、サタデーキッズクラブの開催、生涯学習を担う地域人材の育成・活用、平和学習の機会提供、公民館等の整備・管理、地域に根ざした図書館づくり

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○図書館や市役所が集約されて近づくがなく、車でしか行けない場所ばかりで不便になった。

○蔵書等や催しの充実。予算の限界があるとは思いますが、翻訳本などはそれなりに新しいものが入っているが、CDなどはまったくと言ってよいほど新しいものはない。

○公民館をもっと手軽に利用できるようにすれば、地域交流が増えて行くと思う。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 8.5 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 1.4 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 14 位から 9 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 6.1 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 29 位から 28 位に上昇している。

回答理由には、図書館について各地区に増設してほしいという意見や、蔵書等や催しの充実を求める意見、気軽に生涯学習等を行う場所の充実についての意見もみられる。

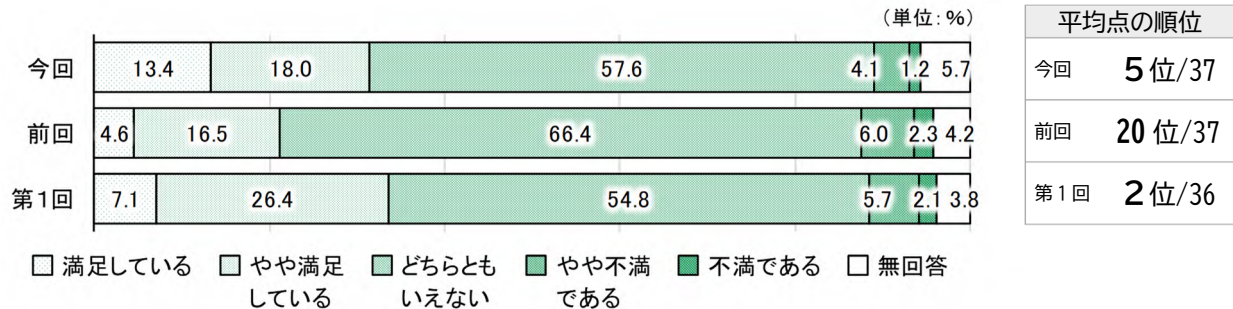
29 文化・芸術活動の振興

【目指す姿】 文化や芸術にふれる機会が充実し、市民が生活の潤いや心の豊かさを実感できています。

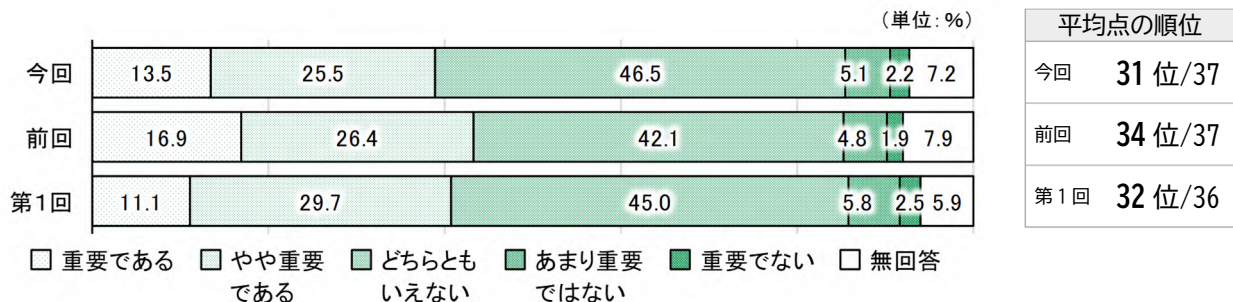
【具体的な取組】 芸術劇場等の開催、地域の歴史・文化の啓発、文化・芸術活動を行う団体への支援、魅力ある美術館づくり、絵画トリエンナーレの開催

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○歴史、文化的なものが意外と多くあるので、うまくPRできたらいいのにと感じることはあります。

○はるひ美術館は規模こそ小さいが、近隣地域の芸術系施設と比べてもまったく引けを取らない素晴らしい美術館。展示内容によってはかなり集客力のある施設となるのでは。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 10.3 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 3.0 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 20 位から 5 位に大きく上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 4.3 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 34 位から 31 位に上昇している。

回答理由には、市内の美術館や文化財を積極的に活用し、文化・芸術活動を振興すべきという意見が多くみられる。

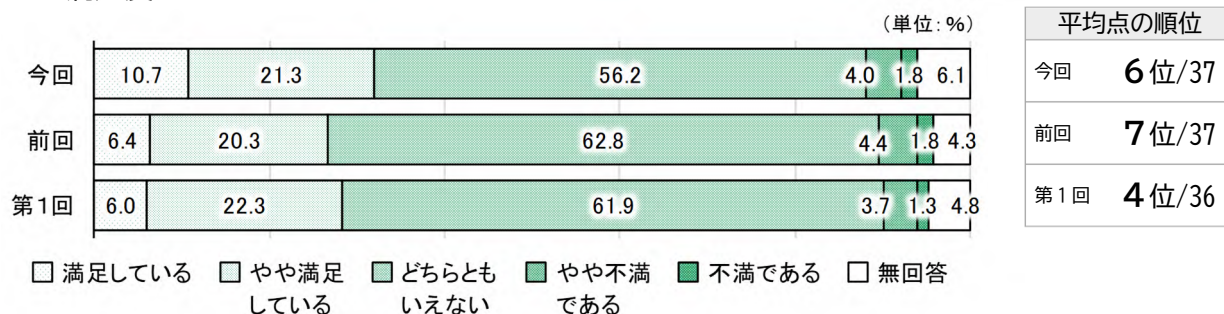
30 文化財保護の推進

【目指す姿】 市内に存在する文化財の保護と活用が適切に行われ、地域の歴史・文化が継承・発信されています。

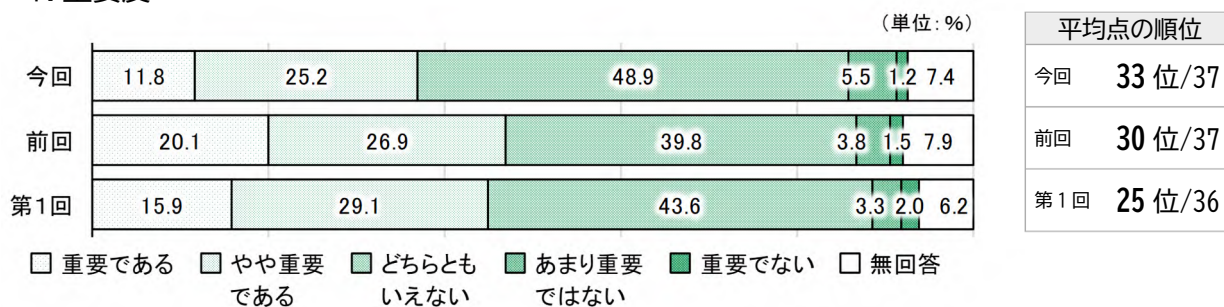
【具体的な取組】 文化財の適切な保護、文化財保護の啓発、歴史資料の公開・展示、指定文化財の修理等への支援、あいち朝日遺跡ミュージアムとの連携

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○文化財は、もっとみんなが見られる場があるといい。

○「焼け兜」「今川塚」「日吉神社」等ゆかりの物がたくさんあるのに、個々で調べていかないとわからないレベルの認知度。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 5.3 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 0.4 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 7 位から 6 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 10.0 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 30 位から 33 位に後退している。

回答理由には、文化財の認知度が低く、公開・展示の機会を求める意見がみられる。

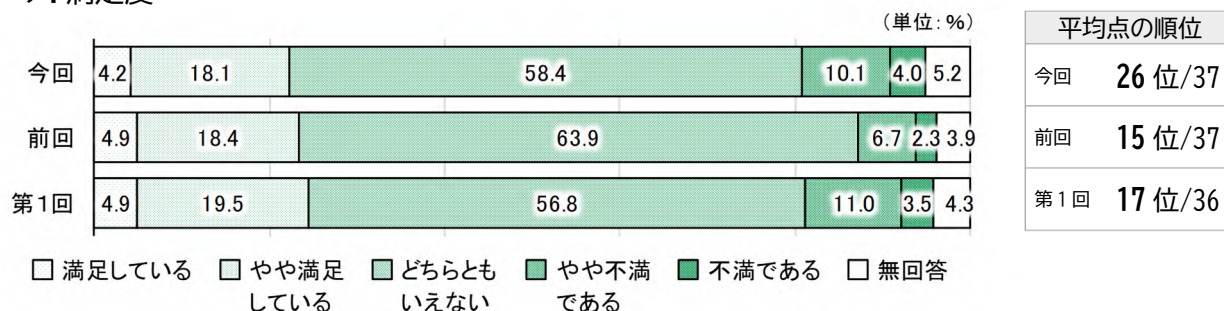
31 スポーツ・レクリエーション活動の振興

【目指す姿】 スポーツ・レクリエーションの普及と振興を通じて、健康で豊かな市民生活がはぐくまれています。

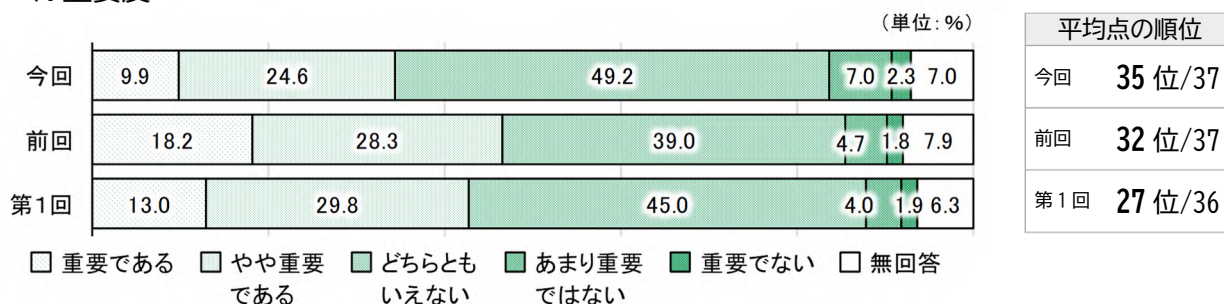
【具体的な取組】 スポーツの普及に向けた取組の推進、市民体育祭等の開催、清須ウオークの開催、スポーツ活動を行う団体への支援、総合型地域スポーツクラブへの支援、スポーツ・レクリエーション施設の管理・運営

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○市の施設の無料使用など、みんなが積極的に参加できるようになるといい。

○スポーツ・レクリエーションは良いと思うが、人それぞれの楽しく遊べる場所の充実。

○世の中便利なものが増えたので身体を動かして健康に目が向けられるようになって欲しいです。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 1.0 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 5.1 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 15 位から 27 位（「33 男女共同参画社会の推進」と同位）に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 12.0 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 32 位から 35 位に後退している。

回答理由には、人それぞれ気軽に楽しめるスポーツをできる施設や支援の充実を望む意見が多くみられる。

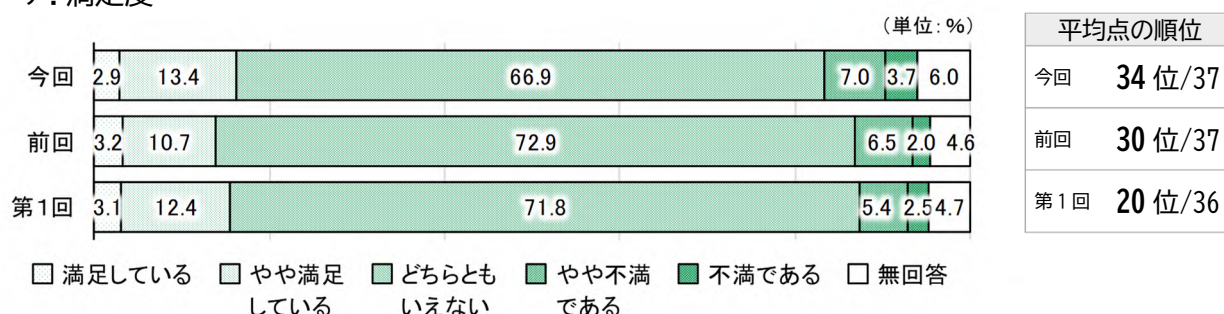
32 国際交流の振興

【目指す姿】 市民参加による国際交流が進展し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層において国際理解に対する関心が高まっています。

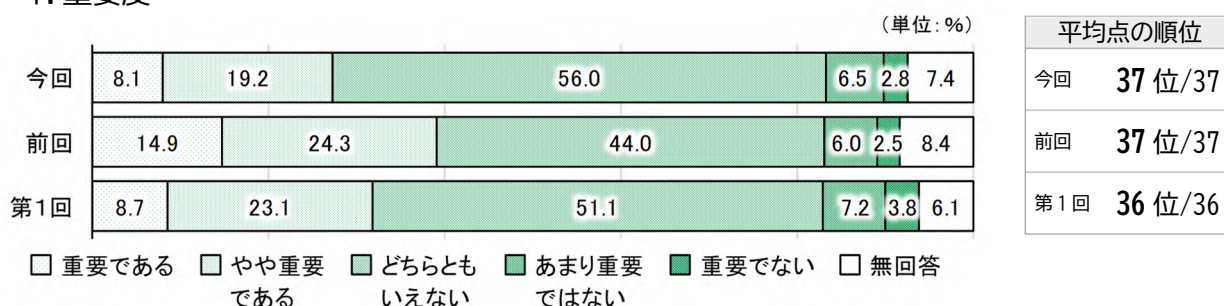
【具体的な取組】 国際交流に関するイベントの開催、国際理解の啓発、国際交流活動を行う団体への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○高校生の国際交流は、海外の方々と交流し出会い等が良い力になっていると思う。

○国際交流のイベント等の周知があまりされていない。学校を通して子どもが異文化にふれる機会を増やし、清洲城まつり等大きなイベントで国際交流をもてるブースを出すなど、多くの方が参加するイベントで国際交流の場を提供してほしい。

○英会話のまったくできない人が役員を占めており、外国人への理解もない。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 2.4 ポイント増加しているものの、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 2.2 ポイント増加しており、平均点の順位は前回調査の 30 位から 34 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 11.9 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査同様に 37 位（最下位）となっている。

回答理由には、子どもから高齢者まで幅広い年齢層において、国際交流ができる機会や場の充実や、国際理解を深めるための支援を望む意見がみられる。

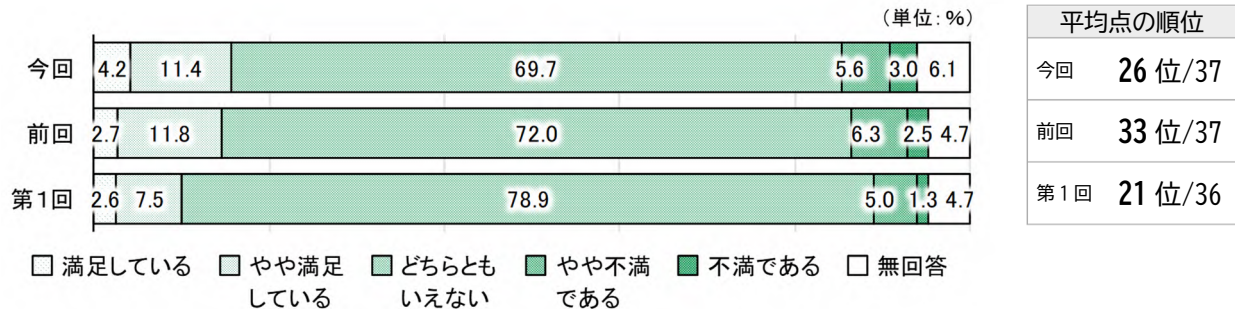
33 男女共同参画社会の推進

【目指す姿】 男女共同参画社会の重要性について市民一人ひとりの理解が深まり、社会のあらゆる分野において男女が互いに理解し、個人としての個性と能力を発揮できる環境が整っています。

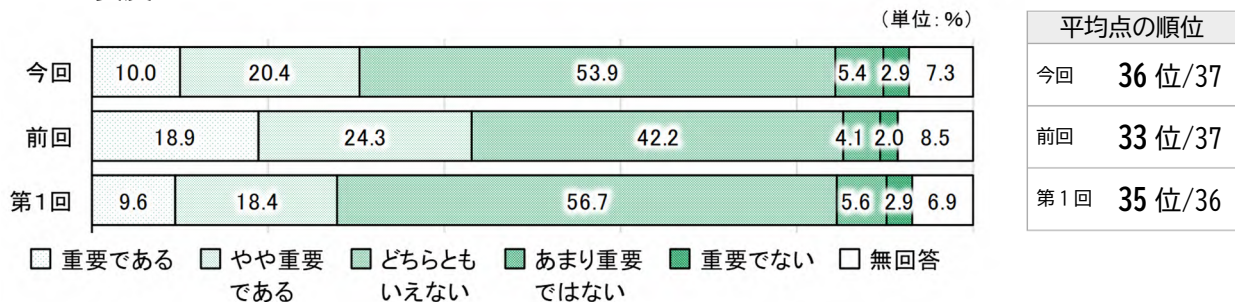
【具体的な取組】 男女共同参画社会の啓発、男女共同参画推進懇話会の開催、相談支援体制の充実、委員会・附属機関等への女性の登用促進、特定事業主行動計画の推進、女性の社会参加等を推進する団体への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○女性参画というより適材適所で、有能な人を配置すべき。そこに男であるか女であるかは関係ない。

○社会から無理やりハードルを上げられ、女性は疲弊してしまっている。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 1.1 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 0.2 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 33 位から 26 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 12.8 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 33 位から 36 位に後退している。

回答理由には、男性、女性ではなく、適材適所を望む意見や、多様性の社会を訴える意見がみられる。

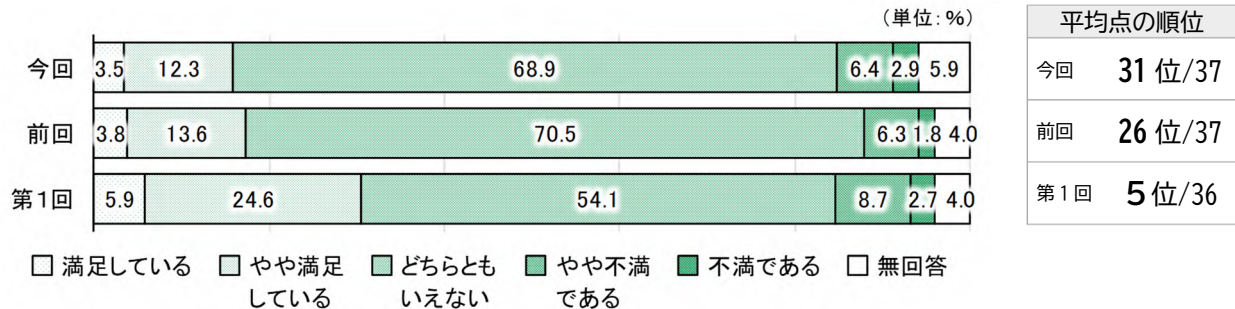
34 市民参加・市民協働の推進

【目指す姿】 多様な機会・場所を通じて市民が積極的に市政に参加できる環境づくりや市民協働の取組が進み、市民と市の交流が活性化しています。

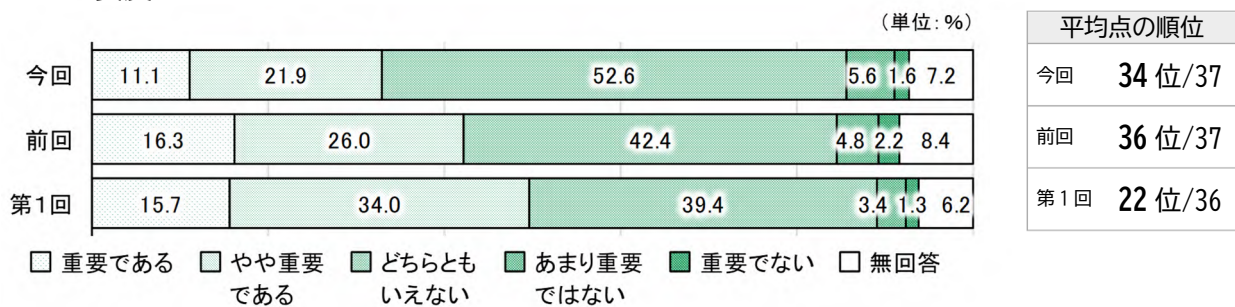
【具体的な取組】 市民ワークショップ等の開催、市民協働による事業実施の検討、市民参加・市民協働に係る情報発信力の強化、市民交流の場づくりの推進、市民協働推進体制の強化、行政出前講座の実施

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○市政と一人ひとりをつなぐ組織として、町内会は極めて重要。その情報交換、人間的関係を大切に心がけていただきたい。

○協働でどのようなことをしているのかよく分からない。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 1.6 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 1.2 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 26 位から 31 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 9.3 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 36 位から 34 位に上昇している。

回答理由には、市民参加を促進するための組織として、自治会との情報交換等が大切であるといった意見がみられる。

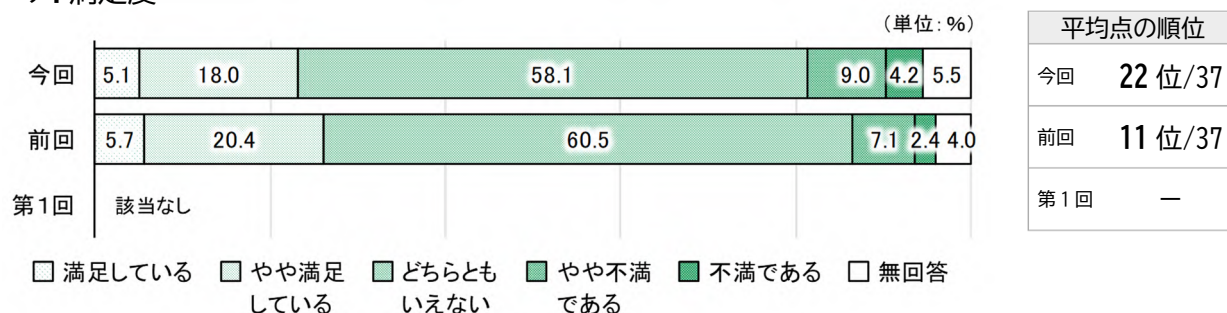
35 広報・広聴活動の充実

【目指す姿】 多様な広報媒体を通じて、市民に市政情報が届けられ、アクセシビリティも向上し、市民の市政に対する関心や参加の意識が高まっています。

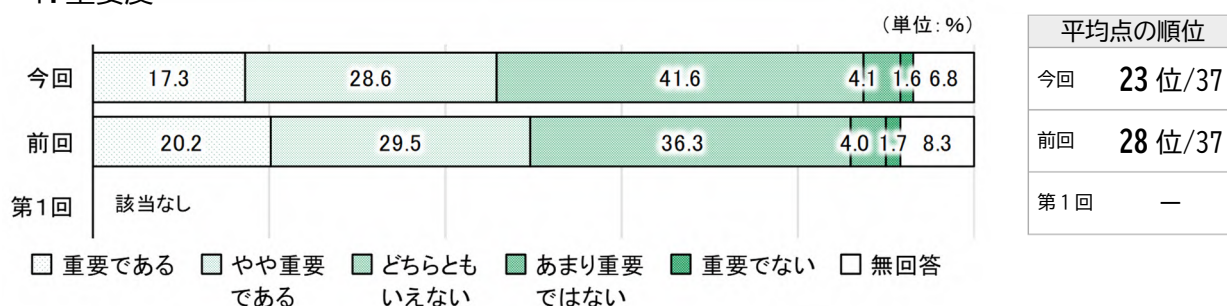
【具体的な取組】 市民が必要とする情報の積極的な発信、市民が読みやすい広報づくり、広聴活動の充実、市民満足度調査の実施、「きよ丸」と「うるるん」の積極的な活用、ふるさと納税制度を通じたPRの推進

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

- スマホでの表示が見づらい。高齢者のみの世帯などは困っているのでは。
- 若者向け、歴史好き、年齢層に合わせたPR方法を充実させて頂けたら嬉しいです。
- 知名度向上のため、地域の特産品や観光施設などの市外への積極的な広報活動を期待したい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 3.0 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 3.7 ポイント増加しているため、平均点の順位は前回調査の 11 位から 22 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 3.8 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 28 位から 23 位に上昇している。

回答理由には、広報誌については、読みやすいという評価がみられる一方で、幅広い年齢層への対応や読みやすさの向上を求める意見も多くみられる。また、市の魅力を発信する活動への期待についての意見もみられる。

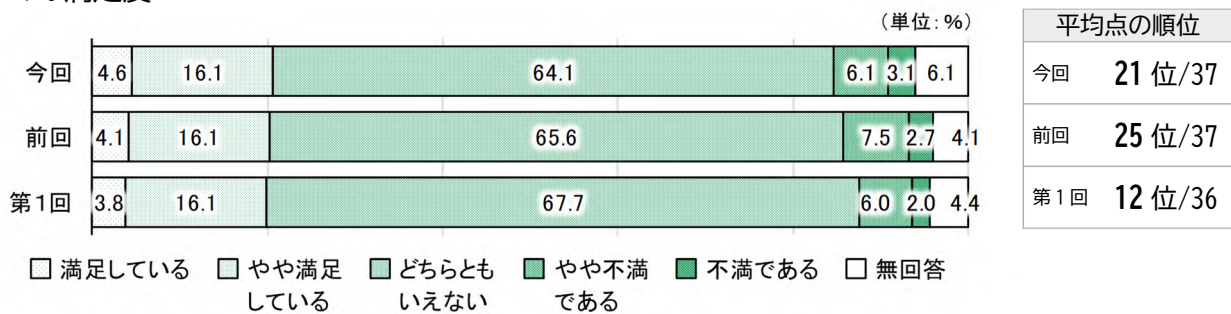
36 自治・コミュニティ活動の振興

【目指す姿】 自治・コミュニティ活動が活発化し、住民自治の促進と地域住民の融和が図られている。

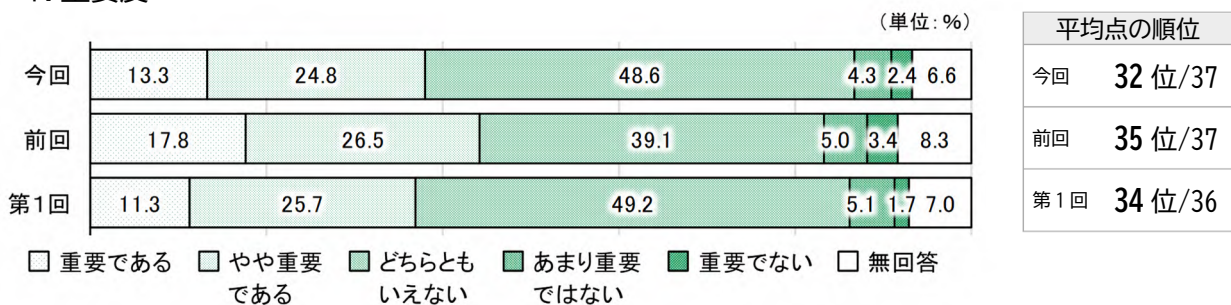
【具体的な取組】 自治・コミュニティ活動への支援、自治・コミュニティ意識の啓発、地区集会所整備への支援

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○町内会活動への住民間の温度差が大きく、一部の住民への負担が重くなっているので時代に添った組織、内容にした方がいいと思う。

○自治会に払っているお金を何に使っているかわからない。最近自治会を抜けたら昔から住んでいた人たちの態度が変わった。そのようなつながりなら必要ないと思った。

○誰も町内会長、組長、子ども会会長などやりたがらない。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 0.5 ポイント増加し、「不満」「やや不満」と評価する割合は前回調査より 1.0 ポイント減少しているため、平均点の順位は前回調査の 25 位から 21 位に上昇している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 6.2 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 35 位から 32 位に上昇している。

回答理由には、自治会における役員等の担い手の不足、活動内容が分かりづらいといった理由から、自治会の在り方を考えるべきという意見がみられる。

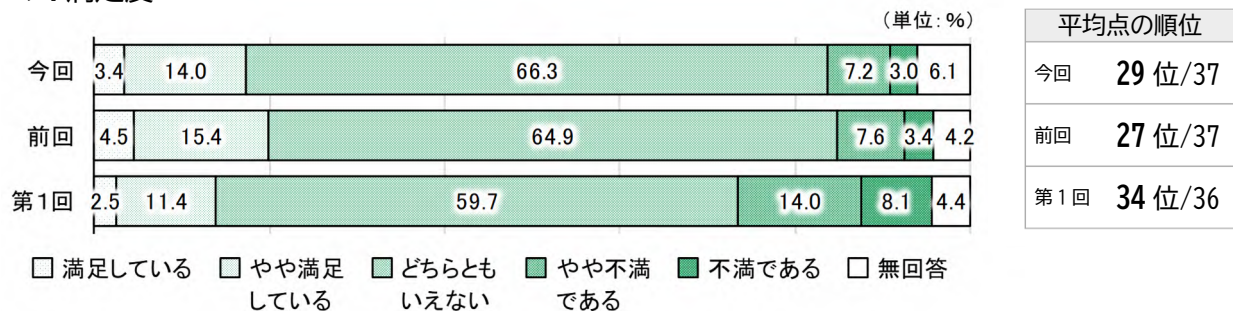
37 市民ニーズに応える行政運営の推進

【目指す姿】 市民のニーズにきめ細やかに対応しながら、計画的・効率的な行政運営と持続可能な財政運営が行われ、市民サービスの質が向上しています。

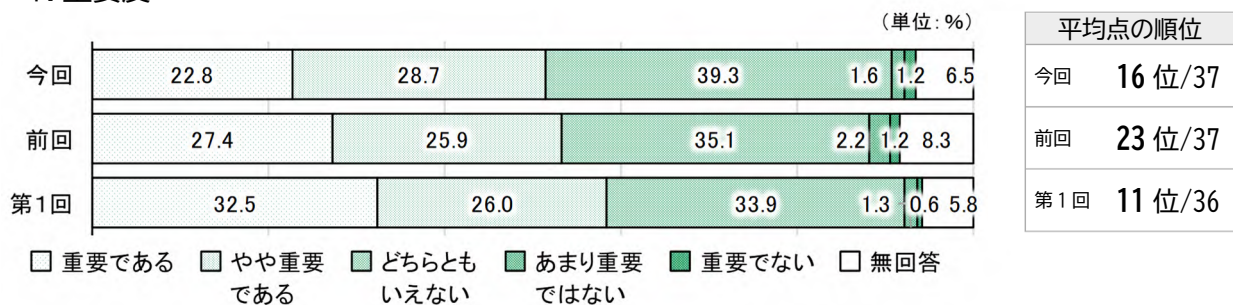
【具体的な取組】 電子自治体の推進、行政改革の推進、公共施設等の総合的かつ計画的な管理、職員の育成、市民が利用しやすい市役所づくりの推進

(1)満足度・重要度調査結果

ア. 満足度



イ. 重要度



(2)主な回答理由

○各申請など基本平日に役所に行く必要があり、そのために有休を使う必要がある。オンラインでできるようにしてほしい。

○デジタル、AIは必要ということは理解しているが、電話対応や窓口受付も残しておいてほしい。

○清須市は適度に自然も残っており、とても良いまちだが、前時代的思考が色濃く残っている田舎であるので、他の市の良い所を積極的に取り入れてほしい。

(3)所見

満足度は、「満足」「やや満足」と評価する割合が前回調査より 2.5 ポイント減少し、「不満」「やや不満」と評価する割合も前回調査より 0.8 ポイント減少しており、平均点の順位は前回調査の 27 位から 29 位に後退している。

重要度は、「重要」「やや重要」と評価する割合が前回調査より 1.8 ポイント減少しているものの、平均点の順位は前回調査の 23 位から 16 位に上昇している。

回答理由には、電子自治体の推進を求める意見がみられる一方で、電話や窓口対応の存続についての意見もみられる。また、他の自治体の先進的な良い取組を取り入れていくべきという意見も見られる。

4 参考資料

(1) 調査票

第8回（令和5年度）市民満足度調査

ご協力をお願い

日頃は、市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

この市民満足度調査は、清須市の施策に対して、市民の皆様が現在どの程度満足と感じているか、そして今後どれくらい重要と感じているかを統計的に整理するとともに、施策に関連する市民の皆様の生活実感等を把握し、今後のまちづくりに活用していくことを目的として、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した3,000人の方にご協力をお願いしています。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

清須市長 永田 純夫

ご記入にあたって

回答にかかる時間は 15 分程度です。

◎ できる限りあて名のご本人様が、ご回答くださいますようお願いいたします。
ご本人様が回答できない場合は、ご家族がお答えいただいても結構です。

◎ 調査の結果は、統計的に処理し、他の目的に使用することはいたしません。

回答方法

<回答方法① 郵送での回答の場合>

◎ 回答は、この調査票に直接ご記入ください。

◎ この調査票にご記入が済みましたら、回答期限までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

<回答方法② Web での回答の場合>

◎ パソコンやスマートフォンでも回答することができます。

◎ URL またはQRコードからアクセスし、回答期限までにご回答ください。

https://questant.jp/q/city-kiyosu_siminmanzokudo



<回答サイトの QR コード>

回答期限:令和5年11月22日(水)

<問合せ先>

清須市役所 企画部 企画政策課 電話：052（400）2911（代表）

1 あなた(回答者)ご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

※ 調査の集計に使用しますので、自認する性別を選択してください。回答したくない場合は、回答の必要はありません。

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代
4. 50 歳代 5. 60 歳代 6. 70 歳以上

問3 あなたのお住まいの中学校区をお答えください。(○は1つだけ)

1. 西枇杷島中学校 2. 清洲中学校区
3. 新川中学校区 4. 春日中学校区
5. わからない ()

※中学校区がわからない方は () 内に字名を記入してください。《記入例》清須市須ヶ口

問4 あなたの職業をお答えください。(○は1つだけ)

1. 会社員・公務員 (フルタイムの派遣社員を含む)
2. アルバイト・パート (短時間勤務)
3. 自営・自由業 (家族従事者含む)
4. 家事専業 (主夫・主婦) 5. 学生
6. 無職 7. その他 ()

問5 あなたの婚姻状況をお答えください。(○は1つだけ)

1. 既婚 (事実婚を含む) 2. 未婚 3. 離別・死別

問6 あなたと一緒に住んでいる家族の構成をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 2 歳以下の同居家族がいる
2. 3～18 歳の同居家族がいる
3. 19～64 歳の同居家族がいる
4. 65 歳以上の同居家族がいる
5. 配偶者 (事実婚等のパートナーを含む) のみである
6. 同居家族はいない (単身である)

問7 あなたは、清須市 (旧町を含む) にいつからお住まいですか。(○は1つだけ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 一度市外に出たが、再び戻ってきた
3. 他の地域から転入してきた

2 ふだんの生活実感や行動、市の施策に関する認知度等について

問 8 あなたのふだんの生活を通じての実感についておたずねします。

(①～⑪のそれぞれの項目で、○は1つずつ)

	思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	思わない
① あなたは、市内の道路網が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
② あなたは、市内には良好な水辺空間が保たれていると思いますか。	1	2	3	4	5
③ あなたは、大雨でも自宅には浸水の心配がないと思いますか。	1	2	3	4	5
④ あなたは、「広報清須」の紙面は読みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
⑤ あなたは、市から市民の必要な情報が発信されていると思いますか。	1	2	3	4	5
⑥ あなたは、市の施策全般について、事業効果を高める工夫や、効率的な事業実施の工夫ができていると思いますか。	1	2	3	4	5
⑦ あなたは、市の施策全般について、デジタル技術を活用して市民の利便性の向上・行政サービスの質の向上ができていると思いますか。	1	2	3	4	5
⑧ あなたは、社会全体で男女が平等であると思いますか。	1	2	3	4	5
⑨ <u>18歳以下のご家族がいらっしゃる方におたずねします。</u> あなたは、身近にいる18歳以下の方が健やかに成長していると思いますか。	1	2	3	4	5
⑩ <u>65歳以上の方におたずねします。</u> あなたは、ご自身が元気であると思いますか。	1	2	3	4	5
⑪ あなたは、ふだんから睡眠による休養が十分にとれていると思いますか。	1	2	3	4	5

問9 あなたは、ふだんから地域のつながりを感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというと感じていない |
| 5. 感じていない | |

3 ふだんの行動や意識等について

問10 あなたは、お住まいの地域でのブロックや自治会等の活動に参加していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問11 あなたは、これまでボランティアや会議等を通じて、市の取り組みに参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問12 あなたは、「きよす あしがるバス」を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問13 あなたは、週に1回以上のスポーツ・レクリエーション活動をしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問14 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|------------------|---------|
| 1. 吸う | 2. 以前は吸っていたが、やめた | 3. 吸わない |
|-------|------------------|---------|

問15 あなたは、ふだんから地域で生産された農産物等を、その地域で消費する地産地消を心がけていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 心がけている | 2. どちらかという心がけている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという心がけていない |
| 5. 心がけていない | |

問16 あなたは、ふだんから地球環境に負担をかけないように心がけていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 心がけている | 2. どちらかという心がけている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという心がけていない |
| 5. 心がけていない | |

問 17 あなたは、ふだんから健康的な生活習慣を心がけていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 心がけている | 2. どちらかという心がけている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという心がけていない |
| 5. 心がけていない | |

問 18 あなたのお宅では、日頃から災害への備えを行っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 行っている | 2. どちらかという行っている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという行っていない |
| 5. 行っていない | |

問 19 あなたのお宅では、日頃から住宅侵入盗への備えを行っていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 行っている | 2. どちらかという行っている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという行っていない |
| 5. 行っていない | |

問 20 あなたは清須市が住みやすいまちだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問 21 あなたは今後も清須市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問 22 20 歳代後半から 30 歳代で、近くの市に転出する清須市民がみられますが、どのような理由だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 清須市は職場から遠いから
2. 魅力ある住まいの確保が難しいから
3. 住宅の費用が高いから
4. 名古屋市の方がイメージがよいから
5. 交通の利便性がよくないから
6. 魅力的な店舗や飲食店がないから
7. できるだけ親の近くに住みたいから
8. 子育て支援策が少ないから
9. 子どもの教育を考えて
10. その他 ()

問 23 清須市で暮らすことについて、どのような魅力があると思いますか。
(〇は3つまで)

1. 友人や家族がいること
2. 近所づきあいや助け合いが充実していること
3. 働きやすいこと、職場へのアクセスがよいこと
4. 手ごろな価格で住宅が確保しやすいこと
5. 買い物や外食が便利なこと
6. 都市基盤（道路、公園、下水道等が整っていること）
7. 交通の利便性が高いこと
8. 名古屋市に近いこと
9. 都市と自然のバランスがよいこと
10. 人やまちが元気なこと
11. 地域住民の人柄がよいこと
12. 子どもを育てやすいこと
13. 行政サービスがよいこと
14. その他（)
15. 特になし

問 24 若い世代にとって暮らしやすい清須市をつくるために、特に市が充実させる必要があると思うことは何ですか。(○は5つまで)

1. 市外からの企業等の誘致
2. 市内の企業等の育成
3. 若い世代の就労・正社員化の支援
4. 婚活の支援
5. 子育て支援
6. 教育の充実
7. 仕事と家庭の両立の推進
8. 職場における女性の活躍支援
9. 住宅用地の確保
10. 移住希望者の募集・支援
11. 歴史・文化などまちの魅力の向上
12. 観光振興
13. 特産品の充実
14. 商業・娯楽施設の充実
15. 都市基盤（道路、公園、下水道等）の整備
16. 公共交通の充実
17. 防災対策の充実
18. 河川・排水対策の充実
19. その他（ ）
20. 特になし

<20 歳代・30 歳代・40 歳代の方におたずねします>

問 25 あなたにとって「理想の子どもの人数」は何人ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|-------|
| 1. 0人 | 2. 1人 |
| 3. 2人 | 4. 3人 |
| 5. 4人以上 | |

<20 歳代・30 歳代・40 歳代の方におたずねします>

問 26 理想のお子さんの数を結果的に持てなかった場合、それはどのような原因が考えられますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 収入が不安定だから
2. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
3. 自分や配偶者の仕事に差し支えるから
4. 家事・育児の協力者がいないから
5. 保育園など子どもの預け先がないから
6. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
7. 育児の心理的、肉体的負担が大きいから
8. 夫婦の年齢が高いから
9. 健康上の理由から
10. 欲しいけれどもできないから
11. 配偶者が望まないから
12. 今後予定している、もう少し先にしたい
13. その他 ()

<20 歳代・30 歳代・40 歳代の方で、結婚していない方におたずねします>

問 27 結婚について、今後どのようにお考えですか。(○は1つだけ)

1. いずれ結婚するつもり (ある程度の年齢までには結婚するつもり)
2. いずれ結婚するつもり (理想的な相手が見つかるまで結婚しなくても構わない)
3. 一生結婚するつもりはない

<20 歳代・30 歳代・40 歳代の方で、結婚していない方におたずねします>

問 28 あなたが現在、結婚していない理由について、近いものを選択してください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. まだ若すぎる | 2. 仕事や勉強に専念したい |
| 3. 趣味や娯楽を楽しみたい | 4. 自由さや気楽さを失いたくない |
| 5. 良い相手にめぐり会わない | 6. 経済的な余裕がない |
| 7. 異性とうまく付き合えない | 8. 住居のめどが立たない |
| 9. 親や周囲が結婚に同意しない | 10. 婚約中、結婚を考えているところである |
| 11. 必要性を感じない | |
| 12. その他 () | |

4 清須市の取り組みなどに関する認知度について

問 29 あなたの清須市の取り組みなどに関する認知度についておたずねします。
(①～⑨のそれぞれの項目で、○は1つずつ)

	知っている	知らない
① 「きよす あしがるバス」	1	2
② 市の消費生活相談窓口	1	2
③ お住まいの地域での民生委員や児童委員の活動	1	2
④ お住まいの地域での人権擁護委員の活動	1	2
⑤ 市や市国際交流協会が実施する国際交流に関する講座・イベント等	1	2
⑥ 市が作成・配布している水害対応ガイドブック	1	2
⑦ 市が作成・配布している地震防災ハザードマップ	1	2
⑧ 妊娠・出産期から子育て期にわたる相談や支援をワンストップで行う、市の子育て世代包括支援センター	1	2
⑨ 子育てアプリ・Webサイト・ガイドブックによる市の子育て情報発信プロジェクト「キヨスマ」	1	2

5 市の施策に対する満足度・重要度について

問 30 以下の現在市が取り組んでいる7つの政策につながる37の施策と、それぞれの具体的な取り組みをお読みいただき、各施策の「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

(各施策の「現状の満足度」・「今後の重要度」のそれぞれに○は1つ)

また、お答えいただいた理由や施策に関する要望等がありましたら、どのようなことでも構いませんので、回答理由欄にご記入ください。

《記入イメージ》

施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
政策1 安全で安心に暮らせるまちをつくる										
1 治水対策 市民に分かりやすい水害対応情報の発信…	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 防災・減災対策 防災体制の強化、市民に分かりやすい防災情報の発信…	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

政策1 安全で安心に暮らせるまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1 治水対策の推進 市民に分かりやすい水害対応情報の発信、排水ポンプ場・雨水幹線等の整備・管理、水害に強い安全な河川づくり、雨水貯留施設の整備・管理、民間雨水貯留浸透施設の設置支援、水防施設の管理・運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 防災・減災対策の推進 防災体制の強化、市民に分かりやすい防災情報の発信、多様な媒体による防災情報の発信、地域防災リーダー養成講座の開催、市民が行う防災活動への支援、民間住宅耐震化等の啓発・支援、防災施設の管理・運営、避難行動要支援者名簿の管理等、災害時支援の実施、空家等対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯・交通安全対策の推進 街路灯（防犯灯）の整備・管理、見守りカメラの設置支援、多様な媒体による防犯情報の発信、防犯活動等を行う団体への支援、交通安全活動の実施、放置自転車等防止対策の実施、交通安全活動を行う団体への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 消防・救急医療体制の充実 常備消防力・救急機能の確保、非常備消防力の確保、防火の啓発、救急医療体制の確保、応急手当技能の普及	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

政策2 子育てのしやすいまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
5 母子保健の充実 子育て世代包括支援センターの運営、一般不妊治療への支援、妊婦等健診の実施、乳幼児健診等の実施、乳幼児訪問指導等の実施、母子の健康教育・健康相談の充実、ホームヘルパーの派遣、母子保健推進員との連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

政策2 子育てのしやすいまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
6 子育て支援の充実 保育・幼児教育の充実、多様化する保育ニーズへの対応、子育て支援サービスの充実、放課後等における活動の場の充実、子育て世代包括支援センターの運営、子育て情報発信プロジェクト「キヨスマ」の推進、保育・幼児教育の無償化の推進、児童手当の支給、医療費助成の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 学校教育の充実 きめ細やかな学習指導、学校・家庭・地域の連携強化、外国語教育の充実、地域のことを学ぶ機会の充実、相談支援体制の充実、特別支援体制の充実、いじめ問題への対策の実施、義務教育施設の整備・管理、学校給食の充実、就学困難な児童・生徒への支援、各種学校就学への支援、入学祝品・卒業記念品の支給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 ひとり親家庭への支援の充実 家庭生活支援員の派遣、自立に向けた技能・資格取得への支援、相談支援体制の充実、施設における保護等の実施、各種手当の支給、医療費助成の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 青少年健全育成の推進 青少年健全育成・家庭教育の啓発、地域人材を活用した家庭教育支援、成人式の開催、青少年健全育成活動を行う団体への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

政策3 誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
10 健康づくりの推進 各種健（検）診の推進、健康教育・健康相談の充実、心の健康相談体制の充実、自殺対策の推進、食生活改善推進員との連携、感染症対策の実施、骨髄提供者等への支援、保健センターの管理・運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 地域福祉の充実 民生委員・児童委員との連携、人権擁護委員との連携、民生委員・児童委員と人権擁護委員の活動内容の情報発信、社会福祉協議会への支援、ボランティア活動への支援、社会福祉施設の管理・運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 高齢者福祉の充実 在宅生活への各種支援、介護予防の推進、認知症施策の推進、地域包括ケアシステム構築の推進、介護保険事業の安定的な運営、生きがいづくり・社会参加の推進、医療費助成の実施、施設における保護等の実施、高齢者を対象とした各種教室・講座の開催	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 障害者（児）福祉の充実 総合的な障害者支援、障害のある児童への支援、相談支援体制の充実、障害者支援施設の整備・運営への支援、各種手当の支給、各種助成の実施、医療費助成の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 医療保険・年金制度の適正運営 国民健康保険事業の安定的な運営、国民健康保険税の適正確保、国民健康保険加入者への保健事業の推進、後期高齢者医療事業の安定的な運営、後期高齢者医療保険加入者への健康診査の推進、国民年金制度の周知等	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 生活保護・生活困窮者自立支援制度の適正実施 生活保護制度の適正な実施、生活困窮者自立支援制度の適正な実施、生活困窮者世帯等の子どもへの学習支援等の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

政策4 便利で快適に暮らせるまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
16 市街地整備の推進 名鉄新清洲駅周辺整備の推進、J R 清洲駅周辺整備の推進、鉄道高架化整備の推進、春日地区の市街地整備の推進、地域に応じた市街地整備の検討、土地利用の見直し等の検討、地籍調査の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 道路・橋梁の整備・適正管理の推進 道路の適正な管理、道路の計画的な修繕、広域幹線道路・地域内連絡幹線道路の整備、通学路・生活道路の整備、橋梁の予防的・計画的な修繕、橋梁の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 上水道の安定供給・下水道の充実 健全な公営企業経営の推進、水の安定供給、水道管の耐震化整備、下水道(汚水)の整備、各種助成の実施、流域下水道関連施設の管理・運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 水辺空間と緑地の充実 公園・緑地の整備・管理、遊具施設等の整備、水辺の散策路の管理、河川環境美化活動への支援、かわまちづくり事業の推進、清須アダプト・プログラムの実施、都市緑化への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 公共交通の充実 コミュニティバスの運行、各種イベント等を通じた利用促進、利用環境整備の推進、ルート・ダイヤ等の見直し、福祉有償運送制度の運用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 ごみの減量化と資源化の推進 ごみの適正な処理、ごみ減量化・再資源化の啓発、市民に分かりやすいごみの分別情報等の発信、資源回収活動への支援、ごみ減量化活動への支援、資源回収施設の管理・運営、し尿の適正な処理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 環境保全の推進 地域環境の保全、公害調査等の実施、浄化槽清掃への支援、住宅用地球温暖化対策設備の導入への支援、環境負荷低減対策の推進、墓地の管理・運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

政策4 便利で快適に暮らせるまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
23 斎苑施設の整備・運営 斎苑施設の整備・運営、斎苑施設周辺環境改善事業の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

政策5 魅力に満ちた活力のあるまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
24 観光の振興 魅力あるまつりの開催、観光施設の魅力向上の推進、オリジナル土産品の開発・情報発信、観光地域づくりの推進、レンタサイクルの運営、観光情報発信力の強化、観光活動を行う団体への支援、地域間交流・連携の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 商業・工業の振興 商工会等への支援、高度先端産業立地の推進、企業の再投資への支援、資金融資制度の利用促進、創業に対する支援、東京圏から移住する起業・就業者に対する支援、オリジナル土産品の開発・情報発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 都市近郊農業の振興 農業関係団体等への支援、耕作放棄地対策の実施、農業体験の機会提供、食育の推進、農業用施設の整備、農地等保全活動への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27 消費生活の擁護 相談支援体制の充実、消費者問題の啓発、金融信用貸付制度の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
28 生涯学習の充実 生涯学習講座の開催、サタデーキッズクラブの開催、生涯学習を担う地域人材の育成・活用、平和学習の機会提供、公民館等の整備・管理、地域に根ざした図書館づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 文化・芸術活動の振興 芸術劇場等の開催、地域の歴史・文化の啓発、文化・芸術活動を行う団体への支援、魅力ある美術館づくり、絵画トリエンナーレの開催	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 文化財保護の推進 文化財の適切な保護、文化財保護の啓発、歴史資料の公開・展示、指定文化財の修理等への支援、あいち朝日遺跡ミュージアムとの連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 スポーツ・レクリエーション活動の振興 スポーツの普及に向けた取組の推進、市民体育祭等の開催、清須ウォークの開催、スポーツ活動を行う団体への支援、総合型地域スポーツクラブへの支援、スポーツ・レクリエーション施設の管理・運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32 国際交流の振興 国際交流に関するイベントの開催、国際理解の啓発、国際交流活動を行う団体への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33 男女共同参画社会の推進 男女共同参画社会の啓発、男女共同参画推進懇話会の開催、相談支援体制の充実、委員会・附属機関等への女性の登用促進、特定事業主行動計画の推進、女性の社会参加等を推進する団体への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

政策7 つながり大切にまちをつくる										
施策	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
34 市民参加・市民協働の推進 市民ワークショップ等の開催、市民協働による事業実施の検討、市民参加・市民協働に係る情報発信力の強化、市民交流の場づくりの推進、市民協働推進体制の強化、行政出前講座の実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35 広報・広聴活動の充実 市民が必要とする情報の積極的な発信、市民が読みやすい広報づくり、広聴活動の充実、市民満足度調査の実施、「きよ丸」と「うるるん」の積極的な活用、ふるさと納税制度を通じたPRの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36 自治・コミュニティ活動の振興 自治・コミュニティ活動への支援、自治・コミュニティ意識の啓発、地区集会所整備への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37 市民ニーズに応える行政運営の推進 電子自治体の推進、行政改革の推進、公共施設等の総合的かつ計画的な管理、職員の育成、市民が利用しやすい市役所づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【上記施策に対する回答理由欄】 満足度等の具体的な理由や、施策への要望等がありましたらご記入下さい。										
施策番号										

その他・自由意見

清須市の施策全般について、ご意見・ご提案等がございましたらご記入ください。

[illegible]

アンケート調査へのご協力、どうもありがとうございました！

記入もれがないか、もう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、
切手を貼らずに **11月22日（水）** までにポストにご投函ください。

第8回（令和5年度）市民満足度調査報告書

発行年月：令和6年3月

編集・発行：清須市 企画部 企画政策課

〒452-8569 愛知県清須市須ヶ口 1238 番地

電話 052-400-2911（代表）
